



CARIBOO CHILCOTIN COAST

TRAVEL GUIDE

SUPER,
NATURAL
BRITISH
COLUMBIA
CANADA





BE A DEER
AND SUPPORT
OUR LOCAL
BUSINESSES

Unique. Eclectic. Diverse.

Northern BC is one of the most colourful, diverse and eclectic regions in Canada.

The character of the area is largely shaped by the unique businesses and entrepreneurs that are at the heart of our vibrant communities.

Enjoy a true northern experience by discovering some of the 1,500 locally owned, independent businesses that call one of our 34 communities throughout the region home.



GO LOCAL.
GO HERE

LOVENORTHERNBC.COM

CONTENTS

- フレーザーバレー
- カリブー
- チルコーティン地方
- コースト地方
- 地域図
- 先住民
- 林業&鉱業
- カウボーイ&鉄道
- ゴールドラッシュ・トレイル
- グレートベア温帯雨林
- ツーリング&キャンプ
- バイクツーリング
- サイクリング&ハイキング
- 野生動物&エコツアー
- ゴルフ・スパ・湖
- アート&文化
- アグリツーリズム
- 食
- 牧場&ロデオ
- 釣り&狩猟
- 冬の体験
- フェスティバル&イベント
- 観光情報
- ディレクトリ



Kari Medig

表紙写真:ヌーハルクの人々、ソルセンクreek、グレートベア温帯雨林

写真提供: Callum Snape

著者: Kerry Banks, Brad McGuire, BC Parks, Amy Thacker, Amy Reid, Daniela Dyck, Barbara Roden, Sue Baerg, Deb Zervini, Helen Kennedy, Jerry Sucharyna and Patti Gerhardi

編集: Amy Thacker

デザイン&レイアウト: Jill Schick

BC州内宿泊施設および旅行案内については以下を参照:

HelloBC.com

現地の旅行案内については、カリブー・チルコーティン・コースト地方観光協会にお問い合わせください

1-800-663-5885 | www.landwithoutlimits.com

©2017 – Cariboo Chilcotin Coast Tourism Association (the “Region”). All rights reserved. 無断転載を禁じます。このガイドブックはBC州の特定のホテル、レストラン、その他の施設、催し物、活動などを推薦・支持することを目的としているわけではありません。Destination BC CorpおよびRegionはそれに関する一切の責任を負わないものとします。Super, Natural British Columbia®, Hello BC®, Visitor Centreをはじめ、関連するすべてのロゴやトレードマークは、Destination BC Corpのトレードマークまたはオフィシャルマークです。Cariboo Chilcotin Coast Tourism Association®をはじめ、関連するすべてのトレードマークとロゴはRegionのトレードマークまたはオフィシャルマークです。入場料その他の条件および規約はこのガイドに掲載されている催し物や施設に準じます。誤記脱漏はこの限りではありません。Photography©: ガイドブックに掲載されているすべての写真は歴史的背景に基づいた情報を提供し、この地域の活動を公平に表すものです。

Share with us



Facebook.com/CaribooChilcotinCoast
[Twitter@CarChiCoo](https://Twitter/@CarChiCoo)
[Instagram@CarChiCoo](https://Instagram/@CarChiCoo)
YouTube.com/theCCCTA

Facebook.com/GoldRushTrail
Instagram@goldrushtrail

あなたの冒険を見つけに来てください.....

険しくも美しい地形、威厳ある野生動物、さまざまなアウトドア・アドベンチャー.....BC州の手つかずの自然が残る土地で冒険をしている姿を思い描いてください。ガイドブックのページをめくりながら文字や写真を目で追っているうちに、旅のプランやアイデアが形作られていくはずです。そう、あなたは「限らない世界」に足を踏み入れようとしているのです。

独特な風景と多種多様な世界のほんの一部をガイドブックに載せてお届けします。深い緑の針葉樹林、数々のフィヨルド、砂漠、乾いた風が吹き抜ける渓谷、落葉樹の森、高山、氷河の生態系.....カリブー・チルコーティン・コースト地方とフレーザーバレーには冒険の舞台がすべて揃っています。あらゆる地形と気候を有することで、BC州のどの地域よりも多岐にわたったアクティビティができる、まさに世界中の人々が夢見る場所です。

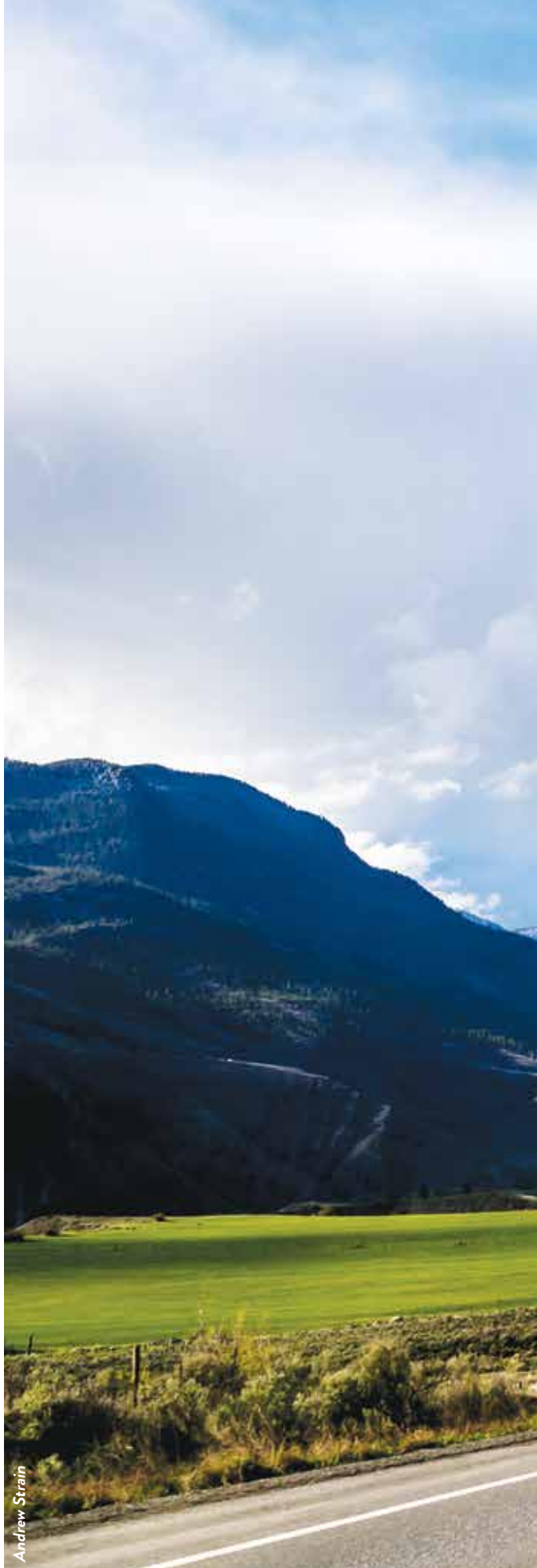
もちろんここにあるのは広い空と素朴な風景だけではありません。洗練されたスタイルの自然体験、環境に優しいリゾート、最高のゴルフコース、文化と知性と冒険に満ちたさまざまなアクティビティがあなたを待っています。多くのリゾート、ゲストランチ、フェスティバルやイベントには、先住民、毛皮交易、ゴールドラッシュ、牧畜や農業にちなんだカナダ西海岸の歴史が反映されています。壮大で劇的な風景のなか、古くからの伝統と現代の生活が相補い、先住民の文化と現代のライフスタイルが調和し共存する世界が、ここにあります。

マウンテンバイク、スキー、登山やハイキング、スノーモービル、ゴルフ、キャンプ、写真、バードウォッチング、釣り、カヤックやカヌー.....旅の目的が何であろうと、ここに来れば至福の時間が見つかるはずです。小さい町や集落の豊かな歴史に触れ、さまざまなアクティビティを楽しみ、大胆なアウトドア・アドベンチャーに挑んでください。

人里離れた湾、フィヨルド、入り組んだ入江、手つかずのビーチ、岩もあらわな海岸が続くグレートベア温帯雨林の何千キロにおよぶ海岸線を旅すれば、世界レベルの海釣りやエコ・アドベンチャーを体験することができ、クマ、ウミドリ、クジラ、ネズミイルカを間近に見るチャンスもあります。先住民の集落では、地元の人々が伝統について教えてくれるでしょう。また、コースト地方の多くの河川、フレーザーバレーからカリブー、チルコーティンの全域で、サケは産卵するために自分が生まれた場所へ戻ってきます。訪れる時期によって、自然界の偉業、サケの遡上を目にすることができるかもしれません。

ガイドブックにじっくり目を通したなら、つぎはあなたの冒険を見つけに来てください。ゴールドラッシュ・トレイルを旅するもよし、隠れたパラダイスへと逃げ込むのもよし。あなたとあなたの大切な人やご家族をおもてなしできるのを楽しみにしています。

ようこそ、限らない世界へ！





フレーザーバレー

@Michael Bednar

ALEXANDRA BRIDGE







@ Michael Bednar

LILLOOET



数千年前、カスケード山脈とコースト山脈の境界に流れ込んだフレイザー川によって壮大な渓谷が形づくられ、いくつもの大滝が激しく流れ落ちる険しい岩壁や夕日に映える雄大な風景が生まれました。フレイザー川の急流は渓谷を削るようにうねりながら流れ、最大の見どころヘルズゲートに到達します。そこは、もっとも深く、川幅がもっとも狭い点で、幅わずか33メートルの谷間を激流が駆け落ちていきます。ゴールドラッシュ・トレイルに重なるトランスカナダ・ハイウェイに沿って、ストロー (Sto:lo) の人々、インクラカップム (Nlaka'pamux) の人々、シーフェップムク (Secwepemc) の人々が昔から住んでいた地域を抜けると、ホープからハットクリークへとつづく雄大な地へと足を踏み入れていくことになります。

かつて多くの人々が宝を求めた場所で砂金を探してみたいと思ったことはありませんか。先住民が描いた象形文様を見たいと思いませんか。BC州最難関の9ホールに挑戦してみませんか。先住民の伝統で、皮を剥いだり模様を入れた木を知っていますか。歴史の勉強をしたい人から、日帰りのできる冒険をしたい人まで、フレイザーバレーにはすべてが揃っています。この夏、世界有数のサケが遡上する川の畔で、かつての偉大な冒険者たちが歩んだ道を辿り、冷たい水に足を浸して、地元の人々と触れ合ってみませんか。

フレイザーバレーは長いあいだ、重要な輸送路の役割を担ってきました。先住民の交易路として、毛皮商たちのトレイルとして、内陸部の金鉱へと赴く探鉱者たちが苦労して辿った路として、そして岩山を間近に感じられるカナディアンナショナル鉄道の路線として。今日ではフレイザーバレーそのものが旅の目的地です。ナハトラッチ川の渦巻く急流でスリルあふれるラフティング、夏のトンプソン川でニジマスのフライフィッシング、隠れた宝物を探しにジオキャッシング。これまでに32を超える映画やテレビの舞台となったアッシュクロフトの町中を歩けば、ロケ現場に出会えるかもしれません。先住民インクラカップム (Nlaka'pamux) の人々の土地であるスタインリバ・バレーでハイキングをしたり、キャッシュクリークにある州内最難関の9ホールでゴルフをするのもよいでしょう。

先住民は1万年以上前からフレイザーバレーを流れる川や陸地を移動しながら暮らしてきました。渡るには危険な流域には、小高い道を作って移動をしていましたが、それは今でも目にすることができます。ヨーロッパ人としてはじめてサイモン・フレイザーが渓谷に分け入った時には、先住民の人たちによって内陸部とコースト地方を結ぶ交易路がすでに確立されていました。地元の先住民たちが案内役となって、1808年、フレイザー率いる探検隊はプリンスジョージから現在のバンクーバーまで旅しました。

1808年から1858年まで、ヨーロッパの人たちがフレイザーバレーを利用することはあまりなく、フォートカムループスからフォートラングレイまでの道沿いの、人里離れたハドソンベイ・カンパニーの交易所に毛皮商人が留

まる程度でした。1858年春、バンクーバー島植民地総督ダグラスは内陸部からサンフランシスコに金800オンスを送ります。金鉱の町に秘密はありません。金に魅せられて人々が押し寄せてくることをバンクーバー島植民地総督ダグラスはわかっていたのです。予想通り、裕福な暮らしを夢見た人々がフレイザー川に沿って内陸を旅し、春が終わる頃には続々と到着し始めました。フォートエールの近くでまとまった金が見つかったことで、ゴールドラッシュに一気に火がつき、ホープからリレットの少し北まで、フレイザー川の河原に3万人という数の一旗組が押し掛け、新興の町が一晩のうちに数多くできあがりました。このゴールドラッシュは1860年にはいったん勢いを失くすものの、富を夢見る人々がBC州内陸部全域に散らばって、特にバーカービル近郊やカリブーで金以外の鉱床を見つけ始めました。

人々が押し寄せ、金と物資があふれたことで、フレイザーバレーの交通を見直す必要が出てきました。この金ブームが活性剤となり、道路の整備が進み、町がつくられるなど、BC州の基盤ができあがっていきました。フレイザーバレーを通して走る最初の道路となったのがカリブー・ワゴンロードで、その一部は今日も残っています。

渓谷には、トランスカナダ・ハイウェイに加え、カナディアンパシフィック鉄道とカナディアンナショナル鉄道の線路も通っています。岩石を削って7つのトンネルができたことで、今ではトランスカナダ・ハイウェイ沿いを誰もが気楽に旅することができるようになりました。数々のトンネルや構脚橋は鉄道マニアの目も楽しませくれます。川はかつてのような交路ではなくなりましたが、その代わりに北米一のラフティングが楽しめる場所となっています。

まるで通過儀礼のように、ここを訪れる人たちの誰もがフレイザー川とその支流でのラフティングに挑みます。透き通ったトンプソン川では、スペンス橋からリットンまでの36キロメートルの流域に1から5にランク付けされた急流が18もあります。フレイザー川のヘルズゲートを下るときにはラフトにしっかりとつかまるのを忘れなく。ナハトラッチ川の翡翠色の早瀬もおすすりめです。連なった湖



を次々と流れ下りながらボストンバーの北でフレーザー川に入る12キロ間では、1、4、4プラスとランク付けされた37の急流が体験できます。ウォータースポーツ好きならナハトラッチリバー・バレーの湖に出かけるのもよいでしょう。穏やかな湖でカヌー、のどかな水面でゆったりと水に浮かび、湖の岸辺で釣り。贅沢な自然のなかで、バックカントリー・ハイキング、バードウォッチングや野生動物観察、キャンプも楽しめます。

陸地を観光したい人には、リットンの西にあるスタインバレー・インクラカピウム (Nlaka'pamux) ・ヘリテージパークがお勧めです。伐採を免れたここBC州南西部の流域には、手つかずの生態系が残っています。また、四方を山に囲まれたスタインバレーには3つの小さな氷河、4つの大きな湖、そして美しい亜高山性の草地もあります。道路はなく、キャンプ場もわずかですが、トレイルは日帰りや泊りがけでいくハイキングにもよし、一週間じっくりと時間をかけて山歩きをするにも最適です。スタインバレーの南にあるメハトルクリーク州立公園には、高い尾根が並び、亜高山の草地や原生林もあり、アウトドア上級者におすすめです。ホープの北50キロ地点にあるティクウェイラス (Tikwalus) ヘリテージ・トレイルは、インクラカピウム (Nlaka'pamux) の人々がつくった小高い道10キロを最近修復したもので、ここからの眺めは絶景です。

科学者や環境専門家もフレーザー川における生態系の重要性を指摘しています。サケの遡上が世界最大規模と言われる川には、毎年産卵のために何百万という数のサケが遡上し、その様子はヘルズゲート・インターナショナル・フィッシュウェイで見ることができます。釣りのシーズンは8月初めから9月半ばまでがサケ、10月がスティールヘッドで、フレーザー川とトンプソン川のどちらでも、リットンからスペンシス橋までのあいだで釣りが楽しめます。また、フレーザー川はシロチョウザメも多く、この巨大な古代魚を釣りにさまざまな地域からアングラーが集まってきます。

ホープ

フレーザー川とコカハラ川が合流し、コースト山脈がカスケード山脈へと移りゆくフレーザーバレー南端部にある街ホープ。トランスカナダ・ハイウェイ、州道3号線、5号線、7号線が合流し、カナディアンパシフィック鉄道とカナディアンナ



シヨナル鉄道の両方が通る場所にあることから、ホープは、長いあいだフレイザーバレーの輸送路の中核地点であり、補給地点でもありました。

1848年にハドソンベイ・カンパニーがフォートホープを設立するまでその役割を担ったのは、ツカールス (Ts'qol:s) の人々の暮らすストローの集落でした。今でもホープは周辺交通路の中心的な存在ですが、アドベンチャー業やレクリエーション業も盛んです。フレイザーバレーとカリブー・チルコーティン・コースト地方への冒険の旅はここから始まります。

ホープの町中や周辺では、サイクリング、マウンテンバイク、キャンプ、スキー、ハイキング、ボルダリング、貴重な石を探すロックハウンドイングが楽しめます。体力を使わずにのんびり過ごしたい人にも名所は多く、観光には困りません。コカハラキャニオン州立公園のオセロトンネルも名所のひとつです。ここは、すでに廃止されているケトルバレー鉄道の一部で、線路を引く際にもっとも費用がかかった場所だといわれています。1915年に開通したトンネルには驚くほど高度な技術が使われています。訪れる人は線路に沿って旅することで、今に残る歴史と自然の美しさの両方を満喫することができます。

ホープはまた「チェーンソー彫刻の町」としても知られ、チェーンソーでつくられた彫刻が街中に60点以上も飾られています。後のひと時にダウンタウンの緑地を歩けば、チェーンソーだけを使って杉の木を削った作品が数多く見られるでしょう。ホープ・ビジターセンター&ミュージアムにもぜひ立ち寄ってください。地図もここで手に入ります。

イエール

小さな町イエールは、かつて、サンフランシスコより北、シカゴより西に位置する町の中でもっとも大きな街でした。1848年にハドソンベイの交易所がつけられ、1858年のゴールドラッシュ時には人口が3万人に膨れあがったと言われています。1860年代にカリブー・ワゴンロードが建設されるとともに、イエールは船尾外輪船の北米最大ルートの終点となり、1880年にはカナディ

アンパシフィック鉄道が通りました。

かつてゴールドラッシュで栄えた町には当時の建物がわずかに残っています。イエール・ヒストリックサイトでは、1870年代に建てられたクレイトンハウスのなかに、工芸品や蒐集品が展示されています。1863年に建てられたセント・ジョン・ザ・デヴァインは、BC州最古の教会のひとつで、建設当時の祭壇の一部とオールハロウズ・ガールズスクールの学生が刺繍した『エンデュアリング・スレッド』が収蔵されています。1858リビングヒストリー「テント・シティ」に立ち寄ってテント脇の木道を通れば、当時日用品などが売られていたジェネラルストア、サロン、ゴールドコミッショナー、診療所、刑務所、鍛冶屋、中国人が経営した下宿屋が並んでいて、昔の暮らしをかい見ることができます。ワードハウスでは夏季期間中、庭でランチや飲み物が楽しめます。イエールのフレイザー川岸には一般の人が砂金採りを体験できるエリアがあり、ガイドブックや選鉱鍋が用意されています。

歴史好きな人は、パイオニア墓地を訪れたり、旧市街でウォーキング・ツアーに参加するのがお勧めです。セルフガイドブックはイエール・ヒストリックサイトで手に入ります。トランスカナダ・ハイウェイ上のパイオニア墓地の真向いにある日帰りハイキングにぴったりのスピリットケープ・トレイルからは、イエールの町が一望できます。昔の人々と同じように渓谷を旅したいなら、やはり川を下るのがよいでしょう。フレイザー川は日帰りでも、ゆっくりと数日泊まって旅をしても存分に楽しめます。

アレクサンドラブリッジ

この歩道橋はフレイザー川に架かる最古の橋のひとつで、イエールの北22キロにあり、アレクサンドラ州立公園に隣接しています。1984年に設立されたアレクサンドラ州立公園にはピクニックエリアがあり、ここからトレイルを歩いてアレクサンドラブリッジへ行くことができます。当時のゴールドラッシュ・トレイルはこのアレクサンドラブリッジを通りフレイザー川を渡っていました。



Geoff Moore



Blake Jorgenson



Geoff Moore



Geoff Moore



@TeamCMedia



Miriam Schilling

ヘルズゲート

イエールの北27キロ地点には、フレーザー川でもっとも深く危険な激流があります。断崖の高さは1000メートル、崖下では急流が岩肌に打ちつけるように駆け落ちていきます。川幅がもっとも狭くわずか33メートルしかない場所では、毎分757ミリリットルの水が轟音を立てて流れていきます。1808年、ヨーロッパ人ではじめて渓谷に分け入ったサイモン・フレーザーは、先住民ガイドが用意した縄の梯子を使って崖沿いをやっとの思いで進んだ際に、ここを「地獄の門」と呼びました。

今日、ヘルズゲートは観光客に人気のユニークな観光スポットです。ゴンドラに乗って峡谷の上から渦巻く激流を見下ろしたり、遡上するサケのために川に設置されたフィッシュウェイを見ることが出来ます。また水産展示施設では、フレーザー川に棲息するサケについての、賞に輝くドキュメンタリーが上映されています。サイモンズ・カフェでチャウダーを味わい、30種類以上のおいしいファッジが並ぶファッジ・ファクトリーにも立ち寄ってみてください。

ボストンバー

ボストンバーは1860年代ゴールドラッシュ時にロードハウスとして賑わいました。金を含んだ砂地の川岸は「バー」と呼ばれ、当時、ボストンバーの向かい側から少し下った砂洲は、おもにボストンからやってきた金採掘者であふれかえっていました。このことから地元先住民はアメリカ人をボストンの人と呼ぶようになり、ボストンバーという町の名前がつけました。

フレーザー川を挟んだボストンバーの真向いにはノースベンドという小さな町があります。車が1台だけ乗船できる空中カーフェリーの代わりに橋が建てられたことで、ノースベンドへは1986年になってはじめて車でアクセスできるようになりました（現在、空中カーフェリーはトランスカナダ・ハイウェイ上のフランシスハリントン・パークに展示されています）。ノースベンドからウェストサイド・ロードを通れば、のどかなナハトラッチリバー・バレーを観光することができ、ナハトラッチ川ではスリル満点のホワイトウォーター・ラフティングが楽しめます。

ボストンバーの南5キロ地点にはタックウェオーム (Tuckkwiowhum) の集落あり、ヨーロッパ人が入植する前のインクラカピウム (Nlakapamux) 式の生活をかいま見

ることができます。フレーザー川の轟音を聞きながらティーピーのテントで一晩過ごしたり、先住民のドラムやジュエリーをつくったり、サケを捌いたり、皮を鞣したりといった体験ができます。

カナカバー

ボストンバーの北32キロに位置し、1858年にハワイの人々（カナカ）が金を採掘した砂洲（バー）だったことから名前がついたカナカバー。ここは、先住民インクラカピウム (Nlakapamux) の人々が先祖代々住んできた土地です。また、カウイッククリーク水力発電所もあり、49.9メガワットの流れ込み式水力発電はカナカバー・インディアンバンドの共同事業です。コミュニティ南端部には歴史ある町の名前にちなんだカフェもあります。

リットン

フレーザー川とトンプソン川の合流地点にあるリットンにはもともとアクェムシン (A'q'emcín: 川が出合う) と呼ばれる先住民の集落があり、インクラカピウム (Nlakapamux) の人々が1年以上暮らしてきました。のちに名前はカムシーンと英語化されました。1858年、フレーザーバレーでゴールドラッシュが起きた際にBC州内陸南部で先住民以外の人たちが最初に住み着いた場所でもあります。同年、金を求めて町に住み着いた白人と先住民のあいだでフレーザーバレー戦争が勃発しかけますが、バンクーバー島植民地総督ダグラスと良好な関係にあったクムシンの首長デビッド・スピントラムは、平和会議で白人と先住民が共存することが大切だと訴え、争いはなんとか回避されました。

絶好のロケーションにあることから、リットンはカナダにおける「ホワイトウォーター・ラフティングのメッカ」と呼ばれ、ラフティングの会社が急流でホワイトウォーター・ラフティングのツアーを行っています。ゆっくりしたい人は町の近くでキャンプや釣り、ハイキングをするのもよいでしょう。リットンにはBC州にわずかしかなかったリアクションフェリー（ケーブルフェリー）もあります。今世紀のはじめに川を渡る手段として使われていたこのフェリーは、川の流れを利用して対岸へ渡るものです。この無料のフェリーに乗って川の対岸へ渡れば、スタインリバー・バレーのトレイルの入口は目の前です。トンプソンリバー・バレーを旅するには、スキヒスト州立公園のキャンプ場を拠点にす

ると便利でしょう。ここではきれいな景色を眺めながら、ゴールドラッシュ・トレイルに重なるカリブー・ワゴンロードを散歩するのもお勧めです。

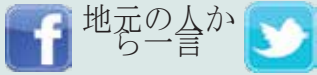
川の合流地点に向かって町を散歩すれば、スピントラム首長の墓石、リットンミュージアム、車掌車博物館、ジョージア・レスリー・アートギャラリーに立ち寄ることもできます。少し変わったところでは、野外に展示されているケン・グラスゴーのアート作品が有名です。ボタニッククリーク・ロードを北上すると、サイズが60フィートもあるウィンチェスター銃のレプリカがゲートの上に現れ、訪れる人を驚かせてくれます。

リットンでは、毎年秋のレイバードーに、ふたつの川を称えるリバフェスティバルが開催されていて、子供連れの家族も楽しめます。金曜の夜に始まり、日曜の午後まで続くフェスティバルでは、先住民によるパウウ（伝統的な交歓会）やさまざまな催しが行われます。夏のあいだは、毎週金曜日にトゥーリバーズ・ファーマーズマーケットもあり、地元の産物が軒を並べます。ここからリレットに行くには、トランスカナダ・ハイウェイをトンプソン川に沿ってスペンシズ橋まで北上するか、州道12号線をフレーザー川に沿って行くといでしょう。

ショウスプリングス

ショウスプリングスは、1930年に水利権を得たW.H.ショウにちなんで名前がつけられました。名前のスプリングスに象徴される湧き水はトンプソン川のはずれにあります。1880年代、カナディアンパシフィック鉄道で働いていた人たちがキャンプ（当時はドライノックと呼ばれた）としてこの場所を利用していましたが、1920年代後半、ウィリアム・ヒューとローズ・ショウが入植してからは、湧き水は庭に使われたり、リゾート開発のための飲料水として利用されました。このリゾートは1962年までショウ家によって運営されていました。

ショウスプリングスの周辺はメノウやオパールなどの貴重な石がとれるロックハウディングの場所として知られています。石が好きな人や収集家が毎年多く訪れるトンプソン川のこの一帯には、採掘権が登記されている場所もたくさんあります。



フレーザー川が曲がりうねって流れていくのを見るが大好きです。どれだけ見ても飽きません。

～ビル・マンデア

よくセイトンリッジに座り、湖を見下ろしては山中に行くヤギやヒツジを見ていました。

～バーナス・バス

五つ星！ 昨日、フレーザーバレーのトランスカナダ・ハイウェイを10年ぶりにドライブしてきました。本当に素晴らしいところ。カボットトレイルに匹敵します。カナダでNo.1のドライブです。行って後悔することなし。

～デーブ・イデオム

今、フレーザーバレーに来了います。息を飲む美しさ。あまりにきれいで涙が出てきます。

～スー・ピークロフト

リットンリバー・フェスティバルが間近に迫ったこの季節が好きです！ リットンで週末を過ごしても、また戻りたい。素敵などころだから！

～サマンサ・スコット

スペンシス橋で見る日の出は格別です。冬だって笑顔になります。

～ドウェイン・ロルケ

ゴールドラッシュ・トレイルのことや、BC州にどうやってラクダがやってきたのかを知るのが楽しいです。それにオーグメンティッド・リアリティでそれを見ることができなんて。歴史って最高！

～タミー・メイヤーズ



@TeamCMedia



@Michael Bednar

シヨウスプリングスの南にあるゴールドパン州立公園からはトンブソン川へ簡単にアクセスでき、メノウを探しに行くのにも便利です。この公園は、ロックハウディングをする人たちやゴールドラッシュ・トレイルを訪れる観光客に人気があるだけでなく、ニジマスやスティールヘッド、サケの釣り場としても知られています。

スペンシスブリッジ

見晴らしのよいスペンシスブリッジには、9月から12月のピークシーズンに世界中からアングラーが集まり、スティールヘッド釣りに挑みます。キャッチ&リリースを前提としたスポーツフィッシングが楽しめるトンブソン川は、大きさ、力強さ、スタミナを合わせ持ったスティールヘッドが釣れることで知られています。

また、これまで世界に誇ってきた農業は今も衰えることなく、道路沿いや町中で地元産の野菜や果物が手に入ります。この地に移り住み果樹園を営んだスミス未亡人にゆかりある建物で、今はレストランとなっているパッキングハウスに寄ってお腹を満たすのもよいでしょう。

スペンシスブリッジでは、カリフォルニア・ビッグホーン・シープが一年中周辺を歩き回っています（トランスカナダ・ハイウェイをドライブする際には要注意）。町から東へ、そしてニコラバレーを経てメリットまで、現在は使われていないケトルバレー鉄道の線路が残っていて、そのすばらしい眺めに鉄道ファンは感

激するでしょう。町の西、絵に描いたような砂漠の谷間にふたつの滝が並んで流れるマレークリーク滝と、スミス未亡人墓地は撮影スポットにも最適です。もしかするとジオキャッシングの宝が隠されているかもしれません。

毎年8月、3日間にわたって学校の校庭で行われるデザートデイズ・ミュージックフェスティバルでは、20組以上のミュージシャンによるライブが聴けます。子供たちはプレイゾーンで遊んだり、参加者はさまざまなワークショップに参加することができます。先住民による催し、食べ物やアート・クラフト作品のお店が出たりと賑やかです。

また、トランスカナダ・ハイウェイから州道8号線（ニコラバレーやローガン湖へアクセスできる）が分岐するところにあるスペンシスブリッジからは景色のよいルートを周遊することができます。州道8号線から州道97C号線を通りローガン湖へ行くルートはアッシュクロフトのゴールドラッシュ・トレイルにつながっていて、バイカーたちに人気です。

アッシュクロフト

アーティストやクラフトメーカー、またレクリエーションを楽しみたい人たちにとって、砂漠のような乾燥地帯にあるアッシュクロフトは天国のようなところ。澄んだ空気、おいしい水、地元で採れた食べ物、各種のマッサージやトリートメントも受けられることから、昨今では「健康の町アッシュクロフト」という

スローガンを掲げています。しかし、このイメージはももとの町からは想像もつきません。1880年代、アッシュクロフトは中継点の町として賑わっていました。ここで、カナディアンパシフィック鉄道の車両から積み荷が降ろされたり、採掘のための物資が積み込まれてはがカリブーの金鉱地がある北部へと運ばれていきました。当初はBXと呼ばれたバーナードエクスプレス社の駅馬車が使われていましたが、バーナードエクスプレス社はのちにBCエクスプレスカンパニーと名前が変わりました。アッシュクロフト・ミュージアムは1917年に建てられた郵便局のなかにあり、地域鉄道や牧場、金鉱、農業、中国人や先住民の歴史が展示されています。ヘリテージプレイス・パークでは、アッシュクロフト特有のソッドハウス（芝生の家）、現在も稼働中の水車、古い新聞印刷機を備えた鉄道車掌車が見られます。

町の南、トランスカナダ・ハイウェイ沿いにあるアッシュクロフト邸は、1800年代、金を探しに北上する人たちが賑わうロードハウスでした。ここはのちにこのあたりで最初の裁判所となり、「首つり裁判官」の異名を持つマシュー・ベグビーが裁判官になりました。現在は喫茶店、ミュージアム、アートギャラリーになっています。

現地のオペレーターは、乗馬、ゲストランチでの宿泊、ハイキング、野生動物を見に行くガイド付きツアーやバードウォッチング・ツアーを用

地元の人から一言

フレーザー川とトンプソン川沿いの砂漠地帯にある岩柱の美しいこと！ニコラ川がトンプソンとリットンへ流れ込むスペンシス橋から先のBC州の風景は一瞬たりとも同じ表情をしていません。カナダで最高の場所.....

～パット・コルベット

ボストンバーの暮らしについて。なんて恵まれた子供時代を送ったことか。夏は毎日プールで過ごしました。メイデーの週末がプール開きの日で、氷のような冷たい水に飛び込んでみんな凍えそうになったのを覚えています。そういえば、ブラシを持ってみんなで掃除もしました。最高の思い出です。

～ウェンディ・サヘイダック

あと45日で今シーズン初のゲストがやってきます。(数えるなって?!)楽しみにしているのはゲストなのか私たちがのかわかったものじゃありません! ゲストの人たちはここでの乗馬がどんなにすばらしいのかもう知ってるんです。

～サンダンス・ゲストランチ

私からの旅のヒントを少し.....渓谷を走っているときに路上駐車している車を見かけたら停まってください。きっとすばらしい眺めがあって停まったか、そこが歴史的な場所なので停まったのだと思うから。ホープ・ビジターセンター&ミュージアムとオセロトンネルにも必ず立ち寄ってください。イェールの町ではイェール・ヒストリックサイトに行ってください。アレクサンドラ橋とロッジにも。ノースベンドの中古品店とミュージアムも忘れないで。リットンでは川の合流点を眺めて、リアクションフェリーで西側に渡ってみてください。スペンシス橋では滝とかわいいヒツジたちも必見。アッシュクロフト邸と、クリントンの中古品店も見逃さないでくださいね。

～ダイアナ・アゼベド

まるで砂漠のなかにいるかのようなこの小さなコミュニティで子供たちを育てるのが大好きです。自然がたくさんあって、新鮮な野菜や果物が豊富で、友人や家族がいるところ。小さなコミュニティなので、いつも何かしら自分たちが運営するイベントがあって、お互いに助けあえるのも嬉しいです。

～ミシェル・ホーラー・アントイン



意しています。歴史をめぐるセルフガイド・ツアー(車椅子でも可)やジオキャッシングも楽しめます。毎年カーショウが開催されていて、冬にはバーンズ湖で氷上カーレースもあります。ユニークなところでは、デザートヒルズ・ランチもお勧めです。ビニールハウスを見学したり、ファームマーケットでお買い物ができるほかに、子供向けのプレイエリアも用意されています。トンプソン川ではニジマスやスティールヘッド、周辺の湖ではニジマス、カワマスが釣れることから、アッシュクロフトはアングラーにも人気です。アッシュクロフト・ミュージアムに行ったら事前にイベント情報を入手するのをお忘れなく。

キャッシュクリーク

キャッシュクリークの風変わった名前の由来はいまだにはっきりしていません。1800年代の毛皮商が物資をこの場所に保管したか、あるいはここで現金に換えたことに由来するという人もいれば、ゴールドラッシュ時に起こった駅馬車強盗事件で、強盗が川床に沿って略奪品を埋めたことでその名がついたという人もいます。

本当のところはわかりませんが、現在のキャッシュクリークは、数多くのユニークな観光スポットで知られています。新鮮な野菜や果物、焼き立てのパンやパイが買えるだけでなく、カフェもあり、ツアー季節ごとのイベントも行われているホースティングス・ファームもそのひとつです。また、BC州指定の歴史遺産でもあるヒストリック・ハットクリークランチでは、ゴールドラッシュ時代から残る貴重なロードハウスを見ることができます。州道97号線と99号線の交差点に位置するここには、昔のゴールドラッシュ・トレイルが残っています。ガイド付きツアーに参加したり、駅馬車に乗ったり、西部劇をテーマに結婚式を行うこともできます。先住民村ではシュスワップ(Shuswap)の人々が歴史や文化を説明してくれるでしょう。

トランスカナダ・ハイウェイと州道97号線の合流点にあるキャッシュクリークには、宿泊施設、キャンプ場、自動車整備施設、レストラン、ギフトショップが数多くあり、旅に必要なものも揃えられます。ここを拠点として、ロックハウディング



に出かけたり、乾いた草原で乗馬やハイキングをしたり、湖や川でカヌーや釣り、砂漠のような風景のなかに点在する牧場やマーケットガーデンを訪れてみてください。街や周辺で宝さがしをするジオキャッシングも人気を呼んでいます。ゴールドカントリーのジオツアーリズム・プログラムでテーマキャッシングをすれば、探す努力が報われるような宝に出会えるはずですよ。また、セムリンバレーにあるBC州で一番難しい9ホールゴルフコースにチャレンジしてみるのもよいでしょう。

キャッシュクリークはまた、毎年6月のグラフィティ・デーに行われる50～60年代を懐かしむイベントが車好きのあいだで知られています。1987年に始まったこのイベントには、多くの参加者や見学者が集まり、カーショーやスモークショー、ドラッグレース、ポーカーラン、ソックホップダンスを楽しみます。

ルーンレイク

釣り天国でもあるルーンレイク・バレーは、ゴールドラッシュ・トレイルに隠されたまさに宝物のような場所です。老若男女を問わず多くの人がニジマス釣りにこの湖を訪れます。魚が放流されていない自然のままの湖には淡水エビ、トンボ、昆虫の幼虫やユスリカが棲息しているため、フライフィッシングだけでなく、引き釣りや投げ釣りも楽しめます。湖は全長14キロメートルで幅が狭いものの水深は深く、春、夏、秋を通じて多くの魚が育っています。

ボナパルトの台地とアロストーン丘陵地に挟まれたこの湖と渓谷では子供から大人まで楽しめるアウトドア・

アクティビティがたくさんあります。湖は、釣りだけでなくカヌーやカヤックもでき、渓谷には多くのリゾート、牧場、サマーハウスなどがあり、高台では背丈の低い落葉樹が混じる針葉樹林のなかで、ハイキング、ウォーキング、乗馬やバードウォッチングが楽しめます。

先住民たちはこの地域で何世代にもわたって集い、釣りをし、狩りや採集をして暮らしてきました。毛皮商はハドソンベイ・カンパニーの交易路を徐々に切り拓きながら、ボナパルト台地を横切り、周辺の豊かな流域へと進んでいきました。ほどなくして、これにゴールドラッシュが続きます。州道97号線、ゴールドラッシュ・トレイル、ルーンレイク・ロードの合流点には、バーナードエクスプレス社の停留所だったところに納屋と鍛冶屋の跡が残っています。ゴールドラッシュの時代に、人々は富を求めてここからさらにカリブー・ワゴンロードをアシシクロフトへと北上していきました。渓谷は牧畜の歴史も長く、開拓民たちはここに住み着き、家畜を飼い、家族を持って暮らしてきました。

現地のツアーオペレーターは年間を通して営業しています。手つかずの自然のなかでのスノーシューや穴釣りといった冬の観光もお勧めです。定住者のいるコミュニティでは冬のイベントも多くあります。詳細はリゾートにお尋ねください。

カリブー





カリブー



@ Michael Bednar

108 MILE MARSHES

乾いた風が走り抜ける草原、果てしなく広がるマツやヤマナラシの森、静けさに包まれた湖、深い谷を刻む奔流……さまざまな表情を持つ風景がモザイク模様をつくるカリブー地方は、レクリエーションや観光スポットもバラエティに富んでいます。古い西部劇から抜け出してきたような風景とともに、今日のカリブーにはまだしっかりとカウボーイの文化が息づいています。BC州のカウボーイ文化の中心地として、最上級の牧場やロデオ博物館だけでなく、カナダ最大級のロデオの開催地としても知られるカリブーは、ゲストランチと呼ばれる、観光客が滞在しながら馬と遊べる牧場がBC州でもっとも多い地域でもあります。

以前は数多く棲息していたウッドランド・カリブーにちなんで名づけられたカリブー地方は、BC州の内陸部で最初に先住民以外の人たちが住み着いた地域です。1860年代のゴールドラッシュの拠点として、金に魅せられた人たちが世界中から集まり、当時は金鉱の町やロードハウスと呼ばれる居酒屋宿が一晩でできあがってしまうほどでした。こうしてヨーロッパからたくさん入植者がやってきたカリブー地方は、BC州の開拓史において重要な役割を果たしてきました。今日でも、カリブーに住む人々には、当時から変わることのないフロンティア精神が生きています。伝説的なゴールドラッシュ・トレイルでもある州道97号線には、開拓史に名を刻むコミュニティや再建されたゴーストタウンが点在しています。

ゴールドラッシュ・トレイルが始まるリルエットを0マイルと呼び、そこからの距離を示す道標にちなんで名前が呼ばれている町が、この道沿いにはいくつもあります。開拓時代、採掘師、物資の搬入業者、ほろ馬車で旅する人たちが、片道130ドルもした馬車の乗客たちに食べ物や飲み物や宿を提供したのが、旅の中継点として便利などころに建てられたロードハウスでした。現存するロードハウスのなかでも規模が大きいハットクリーク・ランチは、キャッシュクリークから北に7マイル（11キロ）行った97号線と99号線が合流する地点、セージに覆われたおだやかに波打つ丘陵地帯のまんなかになっています。BC州指定の歴史遺産であるハットクリーク・ランチには、毛皮交易、牧畜、ゴールドラッシュ、先住民の文化が交錯して織りなすカリブー地方独特の歴史が展示されています。

リルエット
まわりを山に囲まれたリルエットのライフスタイルは四季を通してまさにアクティブ。文字どおり「タフでワイルドな世界」です。切り立った崖、険しい岩山、刻々と表情が変わるフレーザー川、山腹を刻むように走る道路……地元の人はもちろんこの土地を訪れる人は皆、この土地の力強い自然に魅了されてしまいます。

北からも南からもアクセスがよいリルエットは、レストランや宿泊施設も数多く、文化・レクリエーションともにさまざまなアクティビティを楽しむことができます。春から秋にかけてはボート、マウンテンバイク、バックパッキング、また冬はアイスクライミング、ヘリスキー、スノーモービルなど、アウトドア派

には最高のスポットです。また文化に興味のある人には、カリブー地方の先住民スタッフリーアムの人たち

(St'át'imc)の歴史、伝統や慣習、昔ながらの料理が体験できる、ホイシュテン・エクスペリエンス・ツアー社(Xwisten Experience Tours)の企画する文化ツアー、また毎年7月に開催されるアプリコット・チョコム・フェスティバル(Apricot Tsaqwen Festival)もお勧めです。

リルエット周辺にはたくさんのハイキングトレイルがあります。ガイドブックを手にハイキングに行ったり、100個以上のキャッシュが隠されているトレイルでジオキャッシングをやってみませんか。もう少しゆっくり、という人には、シープパスチャー・ゴルフコース(放牧されたヒツジは動く障害物!)でゴルフをしたり、希少な石を探しながらフレーザー川の河原を散歩したり、リルエットのダウンタウンに点在する翡翠の石柱を巡るジェイド・ウォーク(翡翠採掘の歴史を記念した散歩道)を楽しんだり。またリルエットからカオハム・シャトルに乗り、トルコ石色をしたセイトーン湖を経て、国際的にも有名なロッキーマウンテニアも走行する線路を通過してセイトーンポルターージュに至る往復2時間の列車の旅もあります。歴史に興味があれば、ミュージアムとビジターセンターに立ち寄り、ゴールドラッシュ時代の歴史展示を見たり、1890年代に建てられた貴重な建造物を見て回るセルフガイド・ツアーはいかがでしょう。美しいミヤザキ・ハウスも建築ツアーで訪れることができます。ミヤザキ・ハウスは、戦争が始まって日系人の強制収容が行われた1942年から現地で医師として働いたミヤザキ博士が住宅兼診療所として使っていた建物で、1983年に町に寄贈されました。7月と8月の毎週金曜日には、ここでコンサートが催されます。またフォートベレンズ・エステートワイナリーには、世界からワイン好きが訪れます。

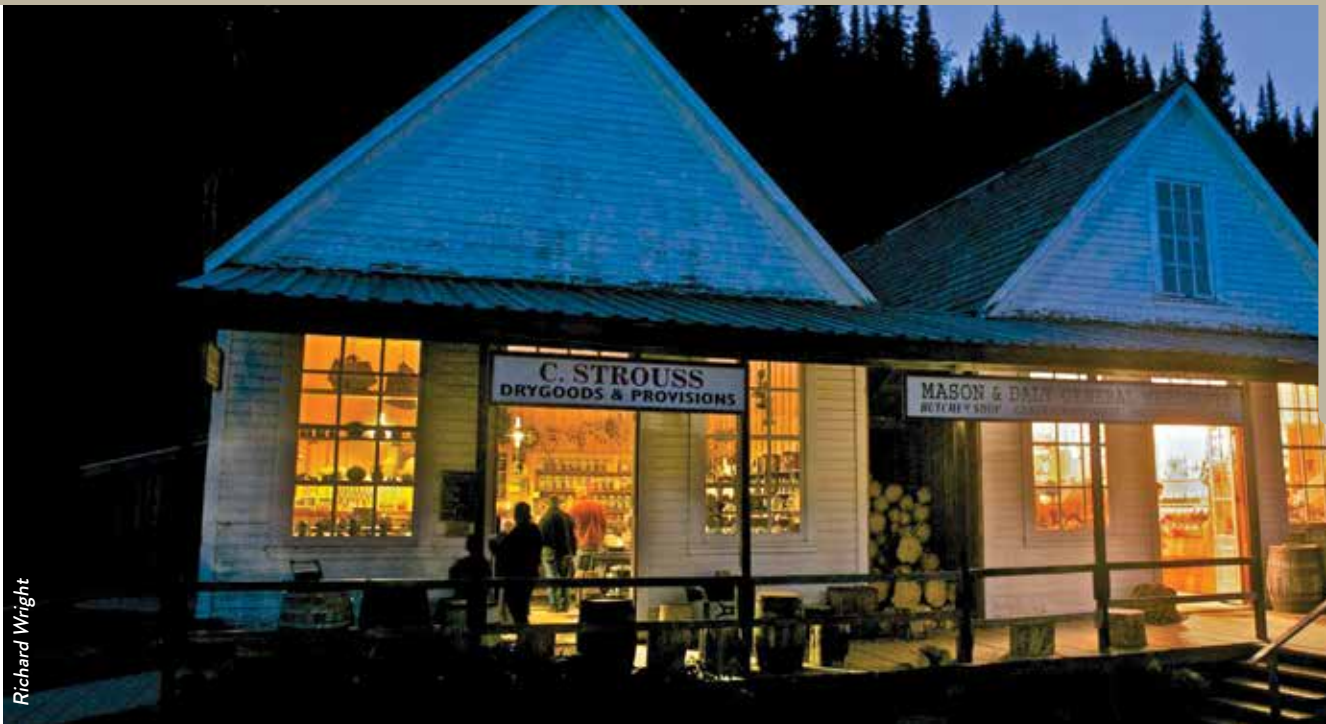
クリントン

いろいろなアウトドア・アクティビティが楽しめるのがクリントンです。周辺は石灰石の大地がつくるカルスト地形で、郊外にある石灰岩の採掘場には珍しい石や化石を探しに各地から収集家が訪れます。州立公園でもあるマーブル・レンジにはカルスト地形特有の岩壁、洞窟、地中に流れ込む溪流などがあり、ロッククライミング、ケイビング、ハイキングや乗馬などのアクティビティが楽しめます。地元の人たちが「ホール・イン・ザ・ウォール」と呼ぶめずらしい石灰岩地形を見に行ったり、NASAが湖底の珊瑚



Blake Jorganson

FAWN LAKE



瑚に似た微生物の活動を探索して有名になったケリー湖へピクニック、というオプションもあります。近くの湖で泳いだり、ニジマスを釣ったり、のんびりカヌーやカヤックで遊んだあとは、開拓時代の面影が残るクリントンの小さな町で、ゆっくりとくつろいでください。

クリントンは開拓時代の初期からゴールドラッシュにかけて興った小さな町で、西部劇に出てくるような雰囲気の店やレストラン、当時の骨董を売る店などがあります。クリントンに滞在するなら、町の歴史を見て回るウォーキングツアーや、歴史展示が充実しているミュージアム（1892年に建てられた学校の校舎）見学も欠かせません。クリントン周辺の見どころは、さまざまに異なる地形がつくり出す独特な風景です。特にクリントンの北東にあるチャズム州立公園のペインテッド・チャズムは、オレンジ、ピンク、黄色、ラベンダー色の層をなした美

しい岩盤が8キロにわたって露出した渓谷で、後退する氷河によってはるか昔に生み出された大自然の芸術品です。

クリントン周辺はまた、BC州で有数のゲストランチ（滞在型牧場）が集る地域でもあります。多くの賞に輝くタイ風スパと宿泊施設のある牧場、馬の扱い方の指導やトレイル・ライディングの支度・ガイドもやってくれる家族経営の小さな牧場など、ゲストランチもバラエティに富んでいます。冬には全長60キロのノルディックスキー・トレイルに、5月の連休には1868年からつづく恒例のダンスパーティに、8月には開拓時代の慣習や技術の実演、カントリー音楽、ダンスとさまざまなイベントが行われるジャンボリーに、たくさんの方が訪れます。

70マイルハウス
1862年に幌馬車の道だったカリブー・ワゴンロードで働く人たちの宿舎が建て

られたことから興った70マイルハウス。当時、この地域が将来ゲストランチやアウトドア・レクリエーションの拠点になるなど誰が想像したでしょう。70マイルハウスの町からは、ウォータースポーツで知られたグリーンレイク・レクリエーションエリア、たくさん水鳥や猛禽類が棲息するウォッチ湖へアクセスすることができます。ハイキング、マウンテンバイク、乗馬、ノルディックスキー、スノーモービル、カヌーやカヤック、バードウォッチング、野生動物観察、釣り、冬には穴釣りなど、アクティビティはまさに多種多様です。

70マイルハウスに近く、アクセスのよいビッグバーレイク州立公園では、ゆったりとした山並みを背景に広がる美しい湖で、手軽に釣り、ボートや水遊びを楽しむことができます。フレーザー台地の南端、典型的なカリブー地方の牧場地帯に位置するビッグバー湖とその周

Quesnel & Williams Lake, BC

BIG CANYON RAFTING
www.bigcanyonrafting.com

Donna Barnett
MLA for Cariboo-Chilcotin

Williams Lake Office
102-383 Oliver Street
P: (250) 305-3800

100 Mile House Office
7-530 Horse Lake Road
P: (250) 395-3916

donnabarnettmla.bc.ca
donna.barnett.mla@leg.bc.ca

HISTORIC HAT CREEK

New Gift Shop

Junction of Highways 97 & 99, 11 km north of Cache Creek

Step back in time to the 1860s Gold Rush

Historic Roadhouse Tours • Native Interpretation Site
Stagecoach Rides • Gold Panning • Archery
Licensed Restaurant • Gift Store
Scenic RV and Tent Sites; cozy cabins, kekuli
Covered Wagon sleeps 4

Open daily May through September

Tel. 1-800-782-0922
www.hatcreekranch.ca



Soda Creek Sweet Corn



@MichaelBednar



Thomas Drasdauskis



Blake Jorgenson



@MichaelBednar



Thomas Drasdauskis

辺は、500年以上前に溶岩流によって形成されました。ピクニック用のエリアで1日を過ごしたり、キャンプ場にテントを張って滞在しながら、周辺のレストランに足を延ばしたり、近くのいろいろな湖をゆっくり探索するのもいいでしょう。バックカントリーへは州道97号線沿いの数カ所から、またクリントンからビッグバー/ジェズモンドを経た先にあるドッグクリークやアルカライ湖の小さなコミュニティから入ることができます。

フィッシング・ハイウェイとインターレイクス州道24号線と97号線の合流地点から、93マイルハウス、リトルフォートを経由し、州道5号線に至る道程は、フィッシング・ハイウェイとして知られています。ウィスラーとジャスパー・バンフ国立公園をつなぐこのルートは、歴史に残るハドソンベイ・カンパニーのファーブリゲード・トレイル（カヌーを使って湖を移動した毛皮交易ルート）の一部と重なり、周辺にある100以上の湖にアクセスすることができます。フライフィッシング、ルアー釣り、トローリング、冬は穴釣りが楽しめるという、アングラーなら一度は訪れたいところです。6月と9月にはそれぞれ1カ月つづくフィッシング・ダービーが開催されます。このルート沿いにあるホース、ブリッジ、デカ、ラック・デ・ロッシュの各湖は水量も野生動物も豊かなうえ、アクセスもよいことから、インターレイクスの雰囲気を手軽に味わうことができます。

フィッシング・ハイウェイの西端に位置するローンビュートは、地元の人たちが「ビュート」と呼ぶ、ぼつんと突き出した火山性孤立丘にちなんで名付けられた小さな町ですが、乗馬、スノーモービル、ウォータースポーツ、ATVなどのアウトドアスポーツを楽しむため各地からたくさんの人が訪れます。州道24号線に沿って点在するレストラン、カフェ、リゾート、ファーマーズマーケット、レストランはもちろん、ローンビュートの貯水塔、200キロにおよぶウェストジェリダン・トレイルシステム、ハックルベリー・ビュート、ピリッジレイク氷洞、ブリッジレイク州立公園など、数限りないアクティビティに、ここを訪れる人はなにをしたらよいか迷うという贅沢な悩みを抱えることとなります。加えて、夏のあいだインターレイクス周辺で定期的開催される音楽イベント『ミュージック・アット・ザ・レイクス』では、無料で新進ミュージシャンの音楽を聴くことができます。

100マイルハウス

「北米の手作りログハウスの中心地」、「世界のノルディックスキーの中心地」等々、100マイルハウスには立派な肩書きがいくつもあります。ノルディックスキーでいえば、活発な活動で知られるスキークラブや、カナダでも最長クラスのスキートレイルがあるのが、ここ100マイルハウスです。ビジターセンターの外には、「最長」にちなんで世界でもっとも長いクロスカントリー用のスキーが展示されています。スノーモービル・ファンにはよく知られたゴールドラッシュ・スノーモービルトレイルに町からすぐにアクセスできるのも、100マイルハウスの魅力です。このスノーモービルトレイルは、ホースフライと70マイルハウスをつなぐ、よく整備され、道標も設置されたルートで、沿線のスノーモービル・クラブの本拠地となっています。春から秋にかけて、スキーやスノーモービル用のトレイルはそのままマウンテンバイクやハイキング、乗馬に使われ、自然や野生動物を観察したり、写真を撮るためにたくさんの人が訪れます。またトレイルは夏場、周辺の湖へのアクセスとして釣りやカヌーなどの水遊びをする人たちにも利用されます。たくさんの水鳥が棲息するこの地域はバードウッチングに最適で、100マイル湿原野生動物保護区には車椅子で訪れる人のために、州道97号線沿いのビジターセンターの駐車場から車椅子用の道が整備されています。

アートに興味のある人はパークサイド・アートギャラリー（センチニアル・パークの入口にある）、音楽や演劇が好きならさまざまなコミュニティのイベントが催されるマーチン・エグセター・ホールをのぞいてみてください。歴史が好きなら、毛皮交易の中継地としてはじまり、1860年代、ゴールドラッシュ・トレイルを行き来した駅馬車の停車駅として重要な役割を果たした100マイルハウスの歴史を探索するのもおもしろいでしょう。町の中心街の建物に描かれた、開拓初期の入植者を描いた壁画や、当時バーナード・エクスプレス社が使った本物の駅馬車の展示を見ながら、散策を楽しんでください。

フォレストグローブ

フォレストグローブのコミュニティは100マイルハウスの北東、カニムヘンドリックス・レイクロード沿いに位置します。初期の入植者オリバー・フィリップによって、オレゴン州にある町の名前にちなんで命名されました。第一次世界大戦以前は小さい農家や毛皮交易で生計を立てる人たちが入植し、1917年までには宿屋、ジェネラルストア、郵便局、ピリヤード場、交易所、大きな家畜小屋が建てられました。その後はカリブー地方の多くのコミュニティと同じく、一時は林業が経済の中心となりましたが、今日のフォレストグローブには、家族農園や観光業、レクリエーション業に携わる人たちが暮らしています。数えきれないほどの湖とたくさんのキャンプ場に恵まれたフォレストグローブで、旅に必要なものを調達してください。

カニムレイク

カリブー地方に数ある湖のなかでも大きなカニム湖は、100マイルハウスからフォレストグローブを経て北東35キロに位置します。緑豊かな山並みと草地に囲まれたカニム湖の景観は

The Drummond Lodge
Williams Lake, BC, Canada
250-392-5334 or 800-667-4555

Our rooms and kitchen units have a marvelous view of Williams Lake and the Scout Island wildlife sanctuary.
Take a leisurely walk on a nature trail to the lake, or enjoy the view while relaxing in our peaceful gardens.
We have clean, reasonably priced, air-conditioned rooms and kitchen units (fully equipped) all with Cable TV, direct dial phones, high speed internet, soft water, comfortable beds, and complimentary continental breakfast

www.drummondlodge.com

Canada Select
Approved by Accommodation
5 Star Hotel



ECHO VALLEY

RANCH & SPA

Heaven on Earth. Closer than you think.

Only 2.5 hours from Kamloops, 5 hours from Vancouver

evranch.com • info@evranch.com • 1.800.253.8831

すばらしく、氷河期の名残の小石がつくる砂浜に沿って、ここここにリゾートが建っています。澄み切った青空の日々がつづく夏のカニム湖はまさにパラダイス。カヌーやカヤックで遊んだり、泳いだり、釣りをしたり、水遊びに飽きたら、大きな滝や火山円すい丘（スパニッシュ・クリークの近く）、石に描かれた大昔の象形模様や先住民の住居跡など（ディセプション・クリークの近く）、ハイキングのオプションにも困りません。冬にはスノーモービル、氷の上で穴釣り、バックカントリー・スキーやスノーシューなども楽しめます。

108マイルハウス

108マイルハウスの周辺には、1800年代後半にここでホテルを運営していたマックビー夫妻が悪事で手に入れた何万ドルにも相当する金が眠っていると言われ、その噂どおり隠されていた金が地元の建築現場などで何度か見つかっています。歴史建造物を湖畔に集めた108マイルハウ斯拉ンチ・ヒストリックサイトには、ログハウス形式ではカナダでも最大規模の納屋（1908年に建てられ、クライスデル種の大馬を200頭収容した）をはじめ、105マイル・ロードハウス、108マイル電報局、1867年建造のホテルと店舗、わな猟師の小屋、134マイルの学校校舎や当時の道具などを見ることができます。108マイルハウス・レストエリアは、ハイキング、マウンテンバイク、冬はクロスカントリー・スキーができるトレイルに直結しています。

ラック・ラ・アシェ

リゾートや牧場、レストランや貸別荘が19キロもある湖畔に沿って点々とつづくラック・ラ・アシェは、カリブー地方で一番細長い町といわれています。毛皮交易でヨーロッパから人が入ってくる以前は、先住民であるシーフェップムク（Secwepemc）の人たちがこの地域に堅穴式住居をつくって住んでいました。また、このあたりを旅した先住民チルコティーンの人たちは、現在は「ラック・ラ・アシェ」と呼ばれている湖を彼らの言葉で水の女王を意味する「クマタワ」と名づけました。

農業と牧畜で発展してきたラック・ラ・アシェは、今日州道97号線に沿った湖のなかでも訪れる人がもっとも多く、特に夏は釣り、水上スキー、モーターボートなどのウォータースポーツを楽しむ人たちににぎわいます。食べることが大好きなら、8月の終わりに開催される南カリブー・ガーリックフェスティバル、冬は身も凍てつく晴天がつづき、穴釣り、スノーシュー、ポンドホッケー、スケート、子供も楽しめるマウントティモシー・スキー場でスキーをしたりと、バラエティに富んだアクティビティが楽しめます。

150マイルハウス

ゴールドラッシュや開拓史、ログハウスで知られる150マイルハウスは、牧場経営でなりたつ静かなコミュニティです。ここにはまた、カリブー・チルコティーン地方でもっとも古い学校校舎リトルレッド・スクールハウスがあります。1896年にカリブー・ワゴンロード沿いに建てられた、教室がたったひとつの木造校舎は、現在は歴史建造物として夏のあいだ一般に公開されています。この町でもうひとつ有名なのは、州道97号線沿いにある昔ながらのイギリス風ティーハウス、イエローアンブレラ・アンド・タイム・フォー・ティーで、メニューには100種類以上のお茶があり、簡単な食事でもできるほか、ギフトショップで買い物も楽しめます。

150マイルハウスは、北のウィリアムズ・レイクやクェネル方面と、北東につづくゴールドラッシュ・トレイルを経てホースフライやライクリー方面への分岐点です。ライクリーに行くなら、夏のあいだだけ通行可能な裏道を使って、クェネル・フォークス経路で歴史の町パーカービルへ足をのびしてみませんか。

ホースフライ

ホースフライは、カリブー山脈の懷に位置する人口1000人の小さなコミュニティで、ケネル湖、ホースフライ湖、クルックド湖、ゴースト湖、さらにはカリブー山脈へとつづくゴールドラッシュ・トレイルへの入口です。すばらしい景色とアクセスのよさから、夏はキャンプ、ハイキング、釣り、カヤック、カヌー、マウンテンバイク、冬はバックカントリー・スキー、スノーモービル、穴釣りなどを目的に、アーティストやアウトドアを楽しむ人たちがこの町を拠点にして周辺の湖、溪流や滝などを訪れます。

ホースフライでは、春はコメディ演劇祭フォースフライ・フォーリーズ、7月はアーツ・オン・ザ・フライ音楽祭、9月にはホースフライリバー・サーモンフェスティバルと、年間を通じてさまざまなイベントが催されます。またパイオニア・ミュージアムやビジターセンターでは、開拓時代の貴重な展示を見ることができます。特に、ロング・バブティステという名の先住民ガイドの案内で金の試掘にやってきた人たちが、たった1週間のあいだにホースフライ川から2835グラムの砂金を採集したことが発端になって、1859年のゴールドラッシュに至ったカリブー地方の歴史展示は見逃せません。

ライクリー

ライクリーは150マイルハウスから北東に85キロ、北米でもっとも深いフィヨルド湖であるケネル湖の西岸に位置します。以前はケネル・ダムと呼ばれていましたが、ケネル川での採掘が可能にするため1898年にダムが近くにつくられたことから、採掘で知られたジョン・プレイトー・ライクリーにちなんで1923年に名称が変わりました。

今日では観光、林業、鉱業が地域の経済を支えています。シーダーポイント州立公園には、ツーリストセンター、鉱脈を求めて山に入る人たちが使った古いトレイル、ケネル湖にアクセスできる公共のボートラウンジがあります。公園内にあるブリオンピット鉱山のシーダーシティ・マイニング・ミュージアムでは、蒸気機関を用いたバルカン社の採掘機など、さまざまな展示や情報を通して周辺の鉱業の歴史を知ることができます。

クマを熟知するガイドについて、威厳あるグリズリーなどのクマの生態をかいま見るエコツアーは、カナダでもライクリーでしかできない経験です。ライクリーはカリブー山脈や、荘厳なウェスタン・レッドシーダーが生えるBC州唯一の内陸性温帯雨林への入口であり、パークビルへと抜ける、景観のすばらし



い裏道の出発点でもあります。オートバイ、トラック、キャンピングカーでも通行できる未舗装の林道をドライブすると、美しい亜高山帯の草地、滝やカリブー川を吹き抜ける風をじかに感じることができます。この裏道を使ってライクリーからケネル・フォークスに行くことも可能です。万年雪をかぶった山々を背景に、氷河から流れ出る溪流が注ぎこむ湖でカヤックやカヌーを楽しんだり、絵がきにしたくなるような風景をカメラに収めたり、夏はサイクリングやハイキング、冬はスノーモービルでカリブー山脈が一望できるヤンクス・ピークに登って大自然を満喫してください。バックカントリーに入る道路は状態が常に変わります。出発前にならず地元ビジターセンターに問い合せてください。

ケネル・フォークス

ケネル・フォークスは、ライクリーから未舗装の道を9キロほど行ったところにゴーストタウンで、この地で1800年代後半に亡くなった人々を葬った墓地と開拓時代の入植者たちが建てたキャビンが残っています。入場料もなし、管理人もおらず、土産物屋もカフェもありません。1860年代5000人も金の採掘者たちがケネル川とカリブー川の合流点で繰り広げたドラマと町の繁栄の面影が残っています。採掘者たちがさらに北に

LIKELY

Your Premier Wilderness Destination



Home of the really BIG trout.

We have the little ones, too!

Pristine wilderness on the original Gold Rush Trail, Likely is rich in Gold Rush history.

- Quesnel Forks; Chinese Heritage site
- Class C Provincial campsite - hot showers
- Downhill Mountain Biking trail
- Wildlife viewing
- Grizzly bears
- Bird Watching, 250 species!
- Fishing for all ages and abilities
- Guided trips available
- Take the back road to Wells and Barkerville from June to October

For more info go to
www.likely-bc.ca
 Box 29, Likely, BC V0L 1N0





地元の人から一言



70マイルハウスのシュガーシャックに寄ったら、メープルシロップもメープル味のビーフジャーキーや綿菓子も、プティーンと呼ばれる肉汁とチーズがのったとんでもなくおいしいフライドポテトも全部すっとなおして、まず僕のミュージックCDコーナーに行き、聴いてみてください。みんながそうやって聴いてくれることが、僕の一番の励みです。70マイルハウスのあたりを通るなら、必ずシュガーシャックに寄ってくださいね。店の人はみんないい人だし、食べ物もおいしいですよ。

～キム・ゴウチイ

ブルーレイクと先住民のハツツルの人たちが運営するヘリテージ村をつなぐ新しいトレイル網が完成しました。州道97号線からスキューグリーベンチ・クロスカントリートレイルのゆるい坂をブルーレイクに向かって登ったあと、マウンテンバイク上級者なら、内陸部で一番規模の大きい木板スタントがあるヒップスター・ダウンヒルトレイルを使って下というオプションがあります。

～ミリアム・シリング

冬のカリブー地方 親友と一緒にほじめてクリスマスツリー探しに出かけました。すごく楽しかったです。

～ウェンディ・レニエ・キニー

私にとってカニム湖は心の故郷と呼べるところです。一番楽しい時間は、家族や友達と過ごす週末です。湖に張り出したドックに座って、孫たちに辛抱強く釣り糸の結び方を教える夫や、モーターボートに乗ってはじめて水上スキーをする子供たちを眺めたり、甘水が入ったフィーターのまわりを飛び交うハチドリを観察したり、湖から家に向かう小道で歩くシカに出くわしたり……。ここではコンピューターやスマートフォンから解放されて、充実した1日を過ごすことができます。

～バム・デフォー

クエネル湖にまだ行ったことがないなら是非行ってみてください。泳ぐにも、釣りに、ボート遊びにも、キャンプにも最高です。とにかく環境が素晴らしい。

～ジョスリン・バムベリー

冬のホースフライも大好きだけれど、暖かい春の日はいつも待ち遠しいです。

～ホースフライランディング・リゾート

移動したあとも、クエネル・フォークスはその立地から、金鉱への玄関口として栄えました。1865年に開通したカリブーワゴンロードはこの町を通らなかったため、1870年代の中頃までには大半の住人が去りましたが、少数の中国人の採掘者や商人がしばらくのあいだ居残って、鉱脈を探して広い地域に散らばった人々に物資の補給をしていました。2016年、クエネル・フォークスは、中国系カナダ人の歴史遺産として登録されています。

ウィリアムズレイク

州道97号線と20号線の合流地点に位置するウィリアムズレイクは、カリブー・チルコーティン地方でもっとも大きな街です。入植者たちが住み着く以前、ここはシーフェップムク (Secwepemc) の人々が集う場所で、町の名前は1800年代のシーフェップムクの首長の名にちなんでつけられました。「カリブー地方の壁画の中心地」でもあるウィリアムズレイクは、チルコーティンやベラクター・バレーへの玄関口であり、周辺でアクティビティをするにもちょうどよい拠点になります。

この街の西部開拓の歴史を反映するのがミュージアム・オブ・カリブー・チルコーティンです。ロデオと牧場についての展示ではBC州屈指の博物館で、BCカウボーイ・ホール・オブ・フェイムの本拠地でもあります。ウィリアムズレイクでは、国内最大規模のプロによるロデオ大会も開かれます。7月1日のカナダデーの連休に開催されるウィリアムズレイク・スタンピードは、カナダ・プロロデオ協会のメンバーや世界各地からロデオの名手が参加する大会で、伝統的なスタイルのロデオ、マウンテン・レースやランチ・チャレンジなどウィリアムズレイクならではの競技に、荒馬乗りの名手たちが技を競います。

ウィリアムズレイクの街にはどの角を曲がっても、入ってみたいくなるお店や地元のアーティストや先住民の人たちがつくるアートを扱うギャラリー、レストランやカフェがあります。3つのゴルフコースや大きなログハウスのビジターセンター、ステーションハウス・ギャラリーと呼ばれる1919年築の駅舎、ダウンタウンを飾る、地域の歴史を描いた数々の壁画も、ウィリアムズレイクのハイライトです。また全北米で放映の人気テレビ番組『ティンバーキング』と『カーバーキング』の舞台でもあります。

周辺の地域に足を延ばせば、バックカントリーでオフロードバイク、エスラーやアルカライブラフでロッククライミング、サンダーマウンテン・スピードウェイで北米独特のストックカー・レースなど、さらにアクティビティの幅が広がります。またウィリアムズレイクにはBC

州屈指のマウンテンバイク専用トレイルがあり、各地からサイクリストが訪れます。ウェストサイドリッジ、ディソウスマウンテン、フォックスマウンテンにつくられた専用トレイルのネットワークは、2台並行して走れるゆったりした初心者用ルートから、チャレンジ満載のクロスカントリーコース、急坂とカーブがつづくダウンヒルコースまで、さまざまなレベルに対応しています。街の中心から始まる12キロのリバーバレー・トレイルでは、サイクリングや乗馬、ハイキング、ランニングをしながら、シカ、ビーバー、猛禽類や水鳥などの鳥類、クマなどが棲息する多様な自然環境と景観を見ることができます。ウィリアムズレイク周辺の台地を一望する「ドーム」へのハイキングや、野生動物や鳥の観察に興味のある人にはウィリアムズ湖にあるスカウトアイランド野生動物保護区のトレイルもお勧めです。

アルカライレイク

周辺に釣りができる湖が点在するアルカライレイクとドッグクリークのふたつのコミュニティは、風景も環境もチルコーティン地方独特の雰囲気が漂っています。アルカライレイクは、感動的な実話の舞台となったところです。先住民のエスケテエム (Esk'etemc) のコミュニティは、半世紀ほど前までアルコール依存によって壊滅的な状態でした。彼らはそこから立ち上がり、互いに助け合いながら依存を克服して尊厳と希望を取り戻していきました。以降、エスケテエムの人たちは先住民の集いであるパウワウの会場を使って、アルコール依存がある人たちの集いを40年にわたって毎年行っています。集会にはいつも世界中から人が集り、悩みや葛藤、克服の経験を語り、分かち合います。エスケテエムのコミュニティの物語は、今でも世界の映画祭で上映されつづけている1985年製作の『ザ・オナー・オブ・オール』という映画になりました。

また毎年7月、アルカライレイクではBC州ロデオ協会認定のエスケット・ロデオ



が開催され、各地から訪れるたくさんのカウボーイやカウガールたちが技を競い合います。

1858年、ドイツ生まれの入植者オットー・ボーイーはこの美しい溪谷にBC州で最初の牧場を拓き、カリブー地方と北の金鉱とを結ぶ路として使われた川のほとりに、毛皮取引人やわな猟師を泊めるストッピングハウスと呼ばれる宿を建てました。アルカリを拠点とする先住民の首長の娘と結婚し、4人の子供をもうけたボーイーは家族とともに1万1177ヘクタールの広大な牧場を営みました。1908年、アルカリレイクの牧場はイギリス人のチャールズ・N・ウィン・ジョンソンの手に渡り、その最盛期には4000頭の牛と馬を飼育し、10人以上のカウボーイが働いたと言われています。現在、さらに大きくなった1万4973ヘクタールの牧場では昔と変わることなく牧畜が行われています。当時ボーイーから牧場を買取ったチャールズ・N・ウィン・ジョンソンは、BC州の有名なデパートチェーン、ウッドワーズの経営者で大富豪のチャールズ・N・"チャンキー"・ウッドワードの祖父にあたる人物です。チャールズ・N・"チャンキー"・ウッドワードは、馬と乗り手が一体となって2分30秒のあいだに牛を追う技を競う競技カッティングホース・ライドの



世界チャンピオンでもあります。ドッグクリークのコミュニティには、アルカリレイクとは異なる2つの先住民グループ、ステューヘケム (Stsweceme) とヒテテム (Xgat'tem) の人たちが(カヌー/ドッグクリークとも呼ばれる)が住んでいます。

マックリーズレイク
マックリーズレイクは、ウィリアムズレイクから北に30分ほど行ったところにある別荘地です。以前はマッドレイクと呼ばれていましたが、蒸気外輪船、ホテルや商店を持ち、近くにあるソーダクリ

ーク郵便局の局長を25年務め、議員でもあったロバート・マックリーズにちなんで1880年代に名称が変わりました。夏には、ウォータースポーツやマス釣り、8月に催されるBC州メイティース音楽祭とジャンボリー、ハイキングやキャンプなどのアクティビティを楽しむ人が訪れます。フレーザー川沿いにあるソーダクリーク・スイートコーン・ファームに足を延ばして、甘いトウモロコシや新鮮な野菜を自分で収穫してみても良いでしょう。冬にはハイキング用のトレイルがスノーモービルやノルディックスキーのコースに、湖は穴釣りやスケート天国

Williams Lake

Hub of the Cariboo

Come, stay, play and explore! Return again and again, or better yet choose to live here! Whether visiting or moving, we can help!

City of Williams Lake: info@williamslake.ca www.williamslake.ca
or Williams Lake & District Chamber of Commerce: visitors@telus.net
www.tourismwilliamslake.com Toll Free: 1-877-967-5253

Stay!

Brand Hotels, Quaint Motels, Camping! Cafes, Bistros, Restaurants to suit every taste!

Play!

Scout Island, Free Performances in the Park Thursday evenings, Farmers' Market Fridays, Splash Pad, Dog Park, River Valley Trail, Bike Trails, Indoor Pools, 3 Golf Courses, Stampede Weekend Street party!

Explore!

Amazing Festivals and events including the Stampede (July 1st weekend), Art Walk in August, Harvest Fair and many more, Scout Island, River Valley Trail, Circle Tours, Farwell Canyon, Villages of Likely or Horsefly, Fraser River, McLeese Lake and dozens of Provincial Parks and countless lakes.

カリブー地方のファンから一言

朝一番の光に照らされたカリブーの風景は、BC州のどことも比較できない美しさです。完璧な静けさというものを、私はクェネル湖で体験しました。

- @lindsayawnb (IG)

ハットクリークは、たくさんの物語が織り込まれた、驚きと美しさに満ちあふれた場所です。

～ジャン・ロス

カリブー地方を訪れるならまず歴史を知ってください。つぎにBC州や内陸部の自然について書かれた本を読んでください。そうすれば旅行はもっともっと実のあるものになるでしょう。私のような自然や歴史を愛する人間にとって、カリブー地方は圧倒的にすばらしいところですよ。

～デイビッド・ステュアート・キャンディ

夫とふたりでバウロン湖のカヌー周遊旅行をしました。アイザック湖のガラスのような湖水をカヌーで滑っていった経験は一生忘れないでしょう。何日もかけてカヌーを漕ぎますが、その価値は充分あります。すばらしい旅でした。絶対にお勧めです。

～シルビア・シラー

ここは本当に貴重な場所です。路の終点にはあの町があるはず……。さあバーカービルハイウェイに向けて出発！

～ドック・パウ

70マイルハウスのシュガーシャックは、知る人ぞ知るスポットです。店の人の対応は気持ちがいいし、食べ物もおいしいし、ショッピングもおもしろい。BC州でケベックの経験ができるのです。

～ハッピー・フーフアー

私はチャズムのこの場所が一番好きです……。まるで創造主の手のなかにいるような、そんな感じがするのです。ただ座って景色を眺めたり、鳥を見たり、本を読んだり、やりたいことをして、考えたいことに思いを馳せるには最高の場所です。

～ラッセル・W・ウェズリー



へと一変します。

クェネル
フレーザー川とクェネル川の合流点に位置するクェネルは、カリブー地方のさまざまなコミュニティ同様、マウンテンバイク、乗馬、キャンプ、釣り、クロスカントリーやダウンヒルスキー、スノーモービルなどのアウトドア・アクティビティの拠点として、四季を通じて訪れる人が絶えません。街の南、ドラゴンマウンテン・トレイルネットワークでは、ダグラスモミが生えるユニークな生態系のなかを抜けるトレイルや、カリブー地方唯一のスリックロックのコースをマウンテンバイクで走ることができます。またクェネルの西、街を一望する高台を過ぎたところにあるピナクルズ州立公園では、1200万年の年月をかけてつくられたフードゥーという浸食地形を見ることができます。食べ物に目がない人には、周辺の農場で採れた新鮮な野菜やイチゴを味わったり、白樺の木から採った甘いシロップを試飲したり、トウモロコシの畑につくられた迷路で遊んだり、北カリブーの農場をラマと一緒にハイキングしながら訪ねるツアーに参加するのもいいでしょう。5月から10月の毎週土曜日に街のヘレンディクソン・グラウンズで開かれるファーマーズ・マーケットもお勧めです。ミュージシャンの演奏を聴きながら、店の人が目の前でつくってくれるランチを食べたり、地元産の肉、野菜、花、ハチミツ、土地のアーティストの作品やクラフトのショッピングを楽し

んでください。

北カリブー地方がゴールドラッシュに湧いた時代、何千人もの入植者が集ってきたクェネルは、その後もしばらく、「ゴールドパン・シティ」と呼ばれていました（パンは砂金を探して砂を洗うときに使われた浅い鍋のこと）。ゴールドラッシュでにぎわった時代の面影は、1862年築のハドソンベイ・カンパニー交易所を含む30もの歴史建造物があるダウントウンをはじめ、この街のいたるところに見ることができます。ビクターセンターのとなりにあるクェネルディストリクト・ミュージアム・アンド・アーカイブズは、BC州の中小コミュニティが運営する博物館のなかでも優れた施設のひとつで、この地域に中国人の入植者が多かったことから中国に関連する蒐集物が充実しています。クェネルはまた、1860年代のゴールドラッシュ時代をテーマに毎年開催される有名なフェスティバル、ビリー・バーカー・デイズや、BC州で最大のアマチュア・ロデオ大会であるクェネルロデオでも知られています。

馬の品評会やロデオの会場となるアレックス・フレーザー公園、ベチュニアの花壇がつづくダウントウン、200種類ものバラが咲くヘリテージ・ローズガーデンなど、緑があふれるクェネルの街。全長12キロの散策路もあり、ダウントウンを歩いてリバーフロント・トレイルに入れば、1929年築の木造では世界最長の歩道橋を歩いてフレーザー川の眺めを楽しむ



ことができます。ビジターセンターでトレイルや見どころの情報が載ったガイドマップを手に入れ、ゆっくり散歩しながら街を楽しんでください。8月初旬に開催されるケネル・スカイフェスト航空ショーでは、カナダ軍所属のスノーバードやF-18チームが繰り広げるアクロバット飛行を見ることができます。

ケネルの北を走る、バーカービル・ハイウェイとして知られる州道26号線を東へ26キロ行ったところには、コットンウッドハウス・ヘリテージサイトがあります。コットンウッドは1861年に建てられたロードハウスで、歴史遺産として一般に公開されています。昔懐かしいお店でお土産やお菓子を買ったり、駅馬車に乗ったりしながら、1800年代のカリブー地方の生活を実感してください。冬の一大イベントは、ケネルからウェルズのあいだで行われるゴールドラッシュ・トレイル・スレッドッグ・メイルランです。犬ぞりを使って郵便物を配達した昔をしのんで3日間催されるフェスティバルでは、犬ぞりレースやクロスカンントリー・レースなど盛りだくさんの催しもあり、たくさんの観光客が訪れます。

ヒクストン
ケネルから州道97号線を60キロ北上したところに位置するヒクストン。このあたりを流れるプレーザー川で砂金を見つけた探掘師ジョセフ・フォスター・ヒクストンにちなんで名づけられたこのコミュニティは、ストーンクリークにある

スリーシスターズ州立公園や地元の人たちの遊び場ヒクストン滝へのアクセスがよく、キャンプに必要なものが揃う店や宿泊施設などがあります。高さ約30メートルのヒクストン滝は深い滝壺へと流れ落ちあと、ふたつのよどみに流れ込みます。6月から8月の夏のあいだ、ヒクストン滝の下流のよどみや溪流は水遊びの人たちでにぎわいます。夏にこのあたりを訪れるなら水着とタオルを忘れずに。周辺にはハイキングのトレイルも多く、よく整備されたキャンプ場やオートキャンプ場もあり、乗馬ツアーも催されています。

ウェルズ
ケネルから東82キロの位置にするウェルズは、フレッド・ウェルズ・ゴールド・クォーツ探掘会社がつくった山間の小さなコミュニティで、世界的に有名なバウロン湖カヌー周遊コースの玄関口です。1930年代、カリブー地方ではまだ金が採れたことから大恐慌を逃れてたくさんの方が押し寄せ、ウェルズの町は当時BC州内陸部最大のコミュニティに成長し、文化の中心地となりました。

現在、年間を通じてこの町に住む人は400人以下になりましたが、ウェルズホテルやサンセット劇場などの歴史建造物のほとんどがよく修復保存されています。町の建物は虹のようにカラフルで、アーティストが多く住むコミュニティの色合いそのものようです。小さい町ですが、芸術活動は驚くほど盛んで、ア

일랜드マウンテン芸術協会が主宰するアートスクールが中心となり、年間を通じてビジュアルアート、文学、演劇などのクラスやワークショップが催されています。また8月第1週には、アーツウェルズ・フェスティバル・オブ・オール・シングズ・アーツが開催され、100を数える音楽パフォーマンスや、映画、ダンス、演劇など多種多様なアートに触れることができます。夏のあいだ毎晩地元のミュージシャンの演奏が聴け、地元アーティストの作品も展示されているフロッグ・オン・ザ・ボグなど、カフェやレストランもユニークです。

ノルディックスキー、スノーシュー、スノーモービル、マウンテンバイクやハイキング、ATVのトレイルが周辺地域に整備されたことから、アウトドア・アクティビティも注目を集めています。周辺の山々にはすばらしい景観に恵まれた何百キロものトレイルがあり、そのほとんどは町からアクセスが可能です。静かな湖でカヌーに乗りたい人には、近くにジャックオブクラブ湖があります。冬には、点在する山小屋を伝ってクロスカンントリースキーの旅ができるマウントマリー地区にも簡単に入ることができます。トランスカナダ・スノーモービルトレイルとも交差するウェルズのそり用トレイル網はライクリーにつながっており、プリンスジョージのスノーモービル・クラブハウスへもアクセスすることができます。



WELLS
BRITISH COLUMBIA

lovewellsbc.com
wells.ca



90TH ANNUAL WORLD FAMOUS
WILLIAMS LAKE
STAMPEDE

June 30 - July 3
2016
Williams Lake, BC

walking distance
to downtown

Come and enjoy
our rv park
& campground
April thru October

See you in the Cariboo!

250 392 6585 • 1 800 71 RODEO
www.williamslakestampede.com
campground@williamslakestampede.com

WWW.BIGBARRANCH.COM

contact@bigbarranch.com | 1-877-655-2333
Clinton, British Columbia



Genuine Hospitality
Home Cooked Meals
Outdoor Adventures
Open Year Round




**Binge watch
the views.**

Disconnect and reconnect, in Quesnel.
tourismquesnel.com

Quesnel
It's in our nature

バーカービル

ゴールドラッシュ時代、カリブー地方にはたくさんの町が興りましたが、そのなかでもっとも大規模でもっとも栄えたのが、ゴールドラッシュ・トレイルの終点にある溪谷のほりにへばりつくように建物が並ぶバーカービルでした。1958年にBC州政府により歴史遺産に指定されたときには、町は廃墟のような状態でした。最盛期の町の様子を再現するための修復が始まったことで、最後の住人たちは別の町へ移り住んでいきました。

現在はカナダ政府指定の史跡となったバーカービルは、BC州でもっとも知名度の高い歴史遺産であり、北米西部で最大規模の史跡でもあります。駅馬車に乗り、劇場で踊りや寸劇を観たり、酒場で生葉でもあるサルサパリラを飲み、写真館で当時の衣装を着て写真を撮ったり、パン屋で買い物をしたり、カフェで一息ついたら、保存のよい19世紀の小さな中国人街を見たり、墓地を訪ねるツアーに参加するなど、大人から子供までが楽しめます。町の入口では、ゴールドラッシュ時代の格好をした歴史インタプリターたちが入場者たちを、たった今バーナードエクスプレスの駅馬車で到着したかのように迎えてくれます。修復された135軒の建物では実際に鉱山に働きに出かける住民の暮らしなどが再現され、生きた歴史を体験できるようになっています。またバーカービル・ミュージアムには中国に関連した数多くの収蔵物があり、中国国外にあるコレクションのなかでも量質ともに重要なものとされています。

年間を通じてバーカービルで行われるさまざまな催しのなかでも、ビクトリア時代のクリスマスを再現した聖誕祭は華やかなイベントです。また冬期には、屋外スケートリンク、プラスチック製の簡単なそりで坂を滑り降りるマジックカーペ

ット・リフト、タイヤのゴムに乗ってスロープを滑り降りるシャムロック・チューブランがオープンします。バーカービルには宿泊施設に加えて、テントやカーキャンプ用のサイトが125カ所用意されています。

パウロンレイク州立公園

パウロンレイク州立公園はカリブー山脈に囲まれた14万9207ヘクタールの壮大な州立公園です。この州立公園内が世界各地からたくさんの人を引き寄せるのは、公園内に数ある湖のユニークな形状に秘密があります。野生動物の宝庫でもある複数の湖が四角形を描くようにつながり、カヌーで周遊する全長116キロの旅ができるのです。同じルートを逆に辿ることなく10日間カヌーをこいで出発地点に戻れるところが、ほかにあるでしょうか。数あるカヌーの周遊コースのなかでも、すばらしい景観を眺めながらタカやワシ、ムース、ミンク、シカやクマなどの野生動物と出会うのはパウロンレイクだけです。キッピー湖周辺は、以前キャリア、アサバスカ、デネイ先住民の人々がキキイルと呼ばれる堅穴式の住居をつくり住んでいた地域ですが、いまや国際的なカヌーのメッカとなりました。パウロンレイクのカヌー旅行を計画されている方は予約が必要ですので、早い時期に州立公園局に問い合わせることをお勧めします。

Barkerville Historic Town & Park

- Wells
- Blessing's Grave
- Cottonwood House

BARKERVILLE

COTTONWOOD HOUSE

GOLD AND NEW SINCE 1862

A journey to the Goldfields gets richer when you stop and smell the cottonwoods along the way.

↑ || 🏠 🚶

Barkerville Historic Town & Park • Cottonwood House • 1-888-994-3332 • www.barkerville.ca
A PROVINCE OF BC HERITAGE PROPERTY & NATIONAL HISTORIC SITE OF CANADA



チルコーティン地方





カリブー地方と異なり、西にコースト山脈、東にフレーザー川を配した雄大なチルコーティン地方は、1800年代に金に魅せられた人々に侵されることなく今日に至りました。その結果、この地方は道路の数が少なく、産業もほとんどなく、人口もまばらで、その住人の大半を占める先住民の人々が、希少なホワイトペリカン、ナキハクチョウ、アメリカダイシャクシギ、クマ、クーガー、オオヤマネコ、ムース、オオカミ、カナダで最大の個体数を数えるビッグホーン・シープ、またカナダで唯一の野生馬の群れなど、多種多様な野生生物が棲む大地に暮らしています。いまでも手つかずの大自然が残るチルコーティン地方は、自然と人の優しさを体験したいあなたを迎えてくれます。

BC州の野性味あふれる西部 小型飛行に乗って氷河や氷原を上空から見物したり、ヘリスキーで深いパウダースノーを体験したり、トゥイズミューア州立公園を何日もかけてバックパッキングしたり、息をのむほどに美しいシャーロット・アルブランドをハイキングしたり、馬で旅したりと、大きなスケールのアウトドアが楽しめます。チルコーティン地方は、アウトドア派が「一生のうちに必ず行きたい、経験したい」夢をかなえてくれるところです。チルコーティン川とその支流のチルコ川は、北米で最長のクラス3プラス級のホワイトウォーターがつづく屈指のカヤック・スポットで、カヤック上級者なら一度は挑戦したいコースです。アングラーなら、ブラックウォーター川やアップーディン川にドライフライを投げて元気のいいニジマスを釣りあげたり、西チルコーティンの人里離れた湖で究極のフライフィッシングを体験してください。それはちょっと無理と思っても、もっとやさしい流れで遊んだり、ハイキングや馬で自然を探索したりなど、チルコーティンらしい冒険が必ず見つかります。

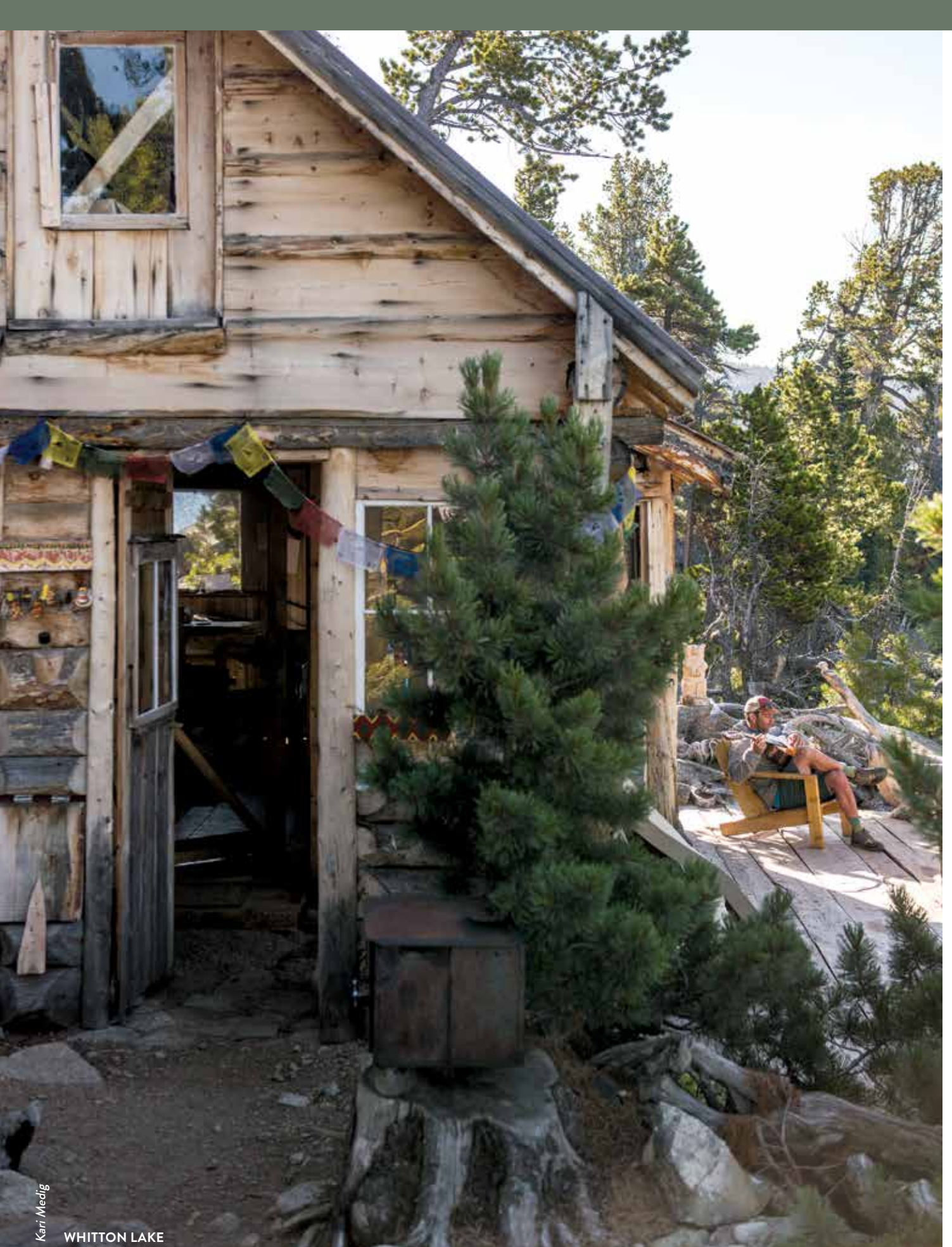
チルコーティン地方は、コースト山脈とチルコーティン台地を縦断する州道20号線でBC州の内陸部とつながっています。高山性草地や多様な生態系を持つ草原地帯、急峻な溪谷やそびえ立つ山々など、さまざまに異なる自然環境を縫うようにつづく州道は、ウィリアムズレイクとベラクーラ間456キロの道のりを、ひとつの信号にも邪魔されことなく走り抜けることができます。でも、ときおり道を行く放牧中の牛、運がよければムースやクマと出会い、停車することになるかもしれません。州道から分岐して、バックカントリーにある湖や釣りに特化したリゾート、自然の真っ只中にあるロッジに向かう道路からは、さらに雄大なコースト山脈の姿を見ることができます。

チルコーティン地方の大半は5万平行キロにおよぶチルコーティン台地の高原で構成され、何千頭もの牛が放牧されています。在来種の草が生える草原、万年雪を頂く4000メートル級の山々、氷河が流れ込む紺碧の湖など、高原台地は寒暖が激しく、地形は多様性に富んでいます。おだやかに起伏する丘がつづくチルコーティンアークの草原地帯は、放牧地として150年以上も使われてきたと同時に、BC州の存続が危ぶまれる野生生物の40%が棲息する地域でもあります。氷河が作りだした台地と溪谷を支配するようにそびえ立つのが標高4016メートルのウォディントン山で、その麓をホマスコ、クリニキリニ、ディーンの3大水系がコースト山脈を横切るように東に向かって流れて

います。チルコ川とチルコーティン川、フレーザー川は南西方向へと流れです。途中の草原地帯の溪谷では、米国南西部を思わせる乾燥した風景を見ることができます。

「自由の路」として知られる州道20号線はチルコーティン魂の象徴です。コースト地方と内陸部をつなぐ道路がついに完成したのは1953年ですが、それ以前は、西海岸のベラクーラまであとわずか137キロのアナヒムレイクで終わっていました。州政府がアナヒムからベラクーラ間の山岳地帯の道路工事は不可能と判断し、延長しないと決めたからです。そこで地元の人たちは無報酬で、ベラクーラ方向から、たった2台のブルドーザーと前借りで調達した資材を使って工事を始め、アナヒムまでの道をつくってしまいました。この独立精神と強い意思は、いまでもチルコーティンとコーストに住む人たちの決定的な特徴です。たしかにこの陸の孤島のような土地に住むには屈強でなくては生きていけません。1887年、リーズコーナー（別名ハンスビル）に近い交易所で働いていた夫に会うため、チルコーティンの奥地に向けて485キロの道のりを、当時の女性が皆そうであったように横鞍に座って馬で旅した最初の白人女性ネリー・ハンスもそのひとりです。

チルコーティンのパイオニアたちは屈強であっただけでなく、どこか常軌を逸したところがありました。リーズコーナーの名前の由来となったノーマン・リーは、アラスカのクロンダイクの金鉱を目指して2500キロの道のりを200頭の畜牛を連れて旅するため、1898年5月にチルコーティンを出発しました。牛は1頭も生き残れませんでした。リーだけは運よく到達することができたようで、5カ月後にバンクーバーに現れたリーが持っていたのは毛布1枚と犬と1ドルだけでした。アッシュクロフトまでの自動車代とそこから家に帰るための馬の代金を借りてチルコーティンに戻ったリーは、ふたたび牧畜を始め、1902年には経営が成り立つようになりました（彼の子孫は今でもこの地域で牧場を営んでいます）。この地方の畜産業は、1860年代のはじめにカリブー地方のゴールドラッシュで興った町に牛肉を供給するために始まりました。1863年にアメリカからやってきたふたりの兄弟によってこの地方の南東部に拓かれ、最盛期には北米でもっとも大規模と言われた有名なギャングランチも、カリブーの市場を見込んだものでした。しかし、1870年にはゴールドラッシュが下火になり、その影響でカリブー地方の牛肉の需要も減少します。1800年代後半、リーだけでなく、チルコーティンの畜産家は誰もが新しい市場





Kari Medig

開拓に苦しみました。カナディアン・パシフィック鉄道がBC州に到達し、リーのようなチルコーティンの畜産家がカナダ東部やアメリカ北西部の新しい市場に牛肉を出荷できるようになるまで、15年間待たなければならなかったのです。20世紀の訪れとともに新しいカナダ横断鉄道が開通したことで、チルコーティン地方の畜産業はかろうじて救われました。

今日もチルコーティン地方の経済を支えているのは牧畜で、カウボーイブーツ、大きなバックルのついたベルトはこの住人のユニフォームです。観光も重要な収入源で、牧場体験や、馬に乗ってトレイル散策、馬を使ってキャンプ旅行をするツアーなどを提供して副業とする牧場もたくさんあります。「自由の路」と呼ばれた州道20号線は当初未舗装の田舎道で、全線開通後も政府は州道と呼ぶのを拒否していましたが、1955年に州政府は道路の保全を引き受け、整備が行われるようになりました。現在の州道20号線は、世界的にも有名な周遊旅行ディスカバリーコースト・サークルツアーの重要なルートとなっています。サークルツアーはチルコーティン地方に入ると、20号線上に点在するコミュニティを、ネックレスのビーズをなぞるようにたどっていきます。これらの小さなコミュニティにはそれぞれに興味深い逸話や背景があり、加えてジェネラルストアと呼ばれる日用品店が1軒必ずあります。古くからあるこれらのジェネラルストアはこの地方では欠くことのできない存在で、今で

もコミュニティの中心として暮らしを支え、住人が近況を伝え合う場として機能しています。アナヒムレイクのA.C.クリステンセン・ジェネラルストアはその典型的な例で、「うちの店になかったら、なくてもいいものです」と店の看板で明言しています。

チルコーティン地方のほとんどの地域は州道20号線からアクセスしますが、南部はバンクーバーやウィスラーから州道99号線上のリレット経由で比較的簡単に行くことができます。冒険心が旺盛な人には、リレットからフレーザー川の西岸の、景観がすばらしい裏道を通って20号線に出るルート、フレーザー川を小さなビッグバー・フェリーに乗って東岸に渡り、州道97号線に出るルート、あるいはブリッジリバー、タイオトン湖に近いブラローンなど、ブリッジ川に沿って点在するコミュニティを縫って西へ向かうルートがお勧めです。

ナズコを含むチルコーティン北東部（歴史的にはカリブー北西部として知られた）は、ケネルの街からアクセスできます。ちょっと冒険がしたい人は、ケネルからフレーザー川を渡り、未舗装の道路を南下してマルガリーテを経由し、メルドラムクリークから州道20号線に入るルートか、ルーディジョンソン・ブリッジを通してフレーザー川の東岸に渡り、ウィリアムズレイクに出るルートを試してみてください。チルコーティンの自然は広大で野性的です。主要道路から

はずれて車でバックカントリーに入る際には、ガソリンが充分にあるか、正確で詳しい地図を持っているか、タイヤが未舗装の砂利道に適したものかを必ず確認したうえで出発してください。

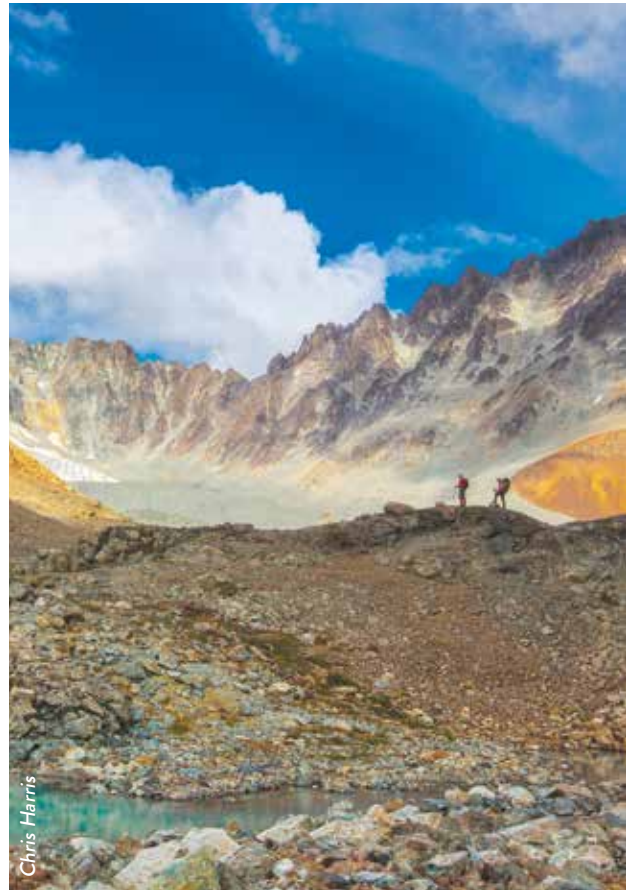
ナズコ

ナズコはケネルの西100キロのところ、いかにも北東チルコーティンらしい渓谷や湖や川に囲まれた小さな先住民のコミュニティです。絵に描いたように美しい草原をハイキングしたり、馬で行ったり、またフライフィッシングやカヌー、スノーモービルやノルディックスキー、昔わな漁師が使ったようなキャビンに泊まって静かな時間を過ごしたりするには最高の場所です。ナズコのある平野は、1793年に太平洋に向かって探検家のアレクサンダー・マッケンジーを案内した先住民であるキャリアの人々が昔から住んでいた地域です。この平野には、ヌーハルク・キャリア（アレクサンダー・マッケンジー）グリーストレイル、ブラックウォーター入植地、クレステヌック交易所、リトルレッド・スクールハウス、先住民の人々と入植者の墓地などの史跡があります。またナズコ周辺の経済は、林業やニューゴールド社のブラックウォータープロジェクトなどの鉱業に支えられています。

ブラックウォーター
フライフィッシングの愛好家が集まる伝説的なブラックウォーター川は、北東チルコーティンの隠れた釣りスポットで



Geoff Moore



Chris Harris



Kari Medig



David Jacobson



Kari Medig



David Jacobson

す。泊まっているキャビンのすぐ前からそのまま川に入って、引きの強いことで有名なこの川特有のニジマスに挑戦してください。ここに釣り好きが世界中から訪れる理由がわかるはずです。

クルスコイルレイク州立公園は、野生生物の貴重な棲息地であるマツとトウヒの広大な亜寒帯性森林と湿地からなり、アクティビティはバックカントリーでのレクリエーションに限られます。ヌーハルク・キャリア・グリーストレイル（アレクサンダー・マッケンジー・ヘリテージトレイル）で知られ、マッケンジーと探検隊の9人の隊員が1793年7月8日にクルスコイル湖西岸のブラックウォーター川のほとりでキャンプしていますが、実際のトレイルがこの州立公園を通る部分は行程のほんの一部です。波打つようにつく丘陵地帯には無数の湿原が点在し、ムース、テン、オオヤマネコ、ビーバーなどの野生動物の大切な棲息地となっています。また州立公園内には、クエネルから100キロのユーチニコ湖に近い地域に手つかずの自然が残る原流域が2カ所あります。

湖の多いフィンガー・タトゥク州立公園は、バンダーホフの南80キロ、プリンスジョージの南西115キロに位置します。フィンガー湖とタトゥク湖周辺から南のターフ湖、バンス湖、コリー湖、ボドレイ湖、タトゥクヒルの南にあるハープ湖などを含む地域からなり、公園内の美しい湖にはたくさんのニジマスやヒメマスがいます。BC州民用の狩猟許可証を持ったハンターやガイド付きの狩猟ツアーで訪れる人たち、ボート遊びの人たちがよく訪れるところです。フィンガー・タトゥクの豊かな自然環境は、グリズリー、クロクマ、さまざまな有蹄動物、ビーバーやテン、水鳥や岸辺に棲息する鳥、ワシなど、多種多様な動物の生命を支えています。運がよければ州立公園内にあるふたつのリゾートに滞在しながら、これらの動物に出会うことができます。州立公園の南東の端をバットヌニ・ワゴントレイクが通っており、1950年代のチルコーティンの牧場生活を描いた作家リック・ホブソンの本には、昔カウボーイたちが牛の群れを追いながら定期的にこのあたりを通過していたことが記されています。

セイトーンポルターージュ

セイトーンポルターージュは、セイトーン湖とアンダーソン湖のあいだ、川を使えばリレットからわずか25キロ（陸路ではミッション山を越えて78キロの距離）の位置にある古いコミュニティです。1858年、フレーザー渓谷のゴールドラッシュが始まったころ、金に魅せられた何千もの人たちが、バンクーバー周辺の平野部から当時「レイクルート」と呼ばれた道を通してこの狭い陸の回廊に押

し寄せ、船を運ぶためにつくられた木製の軌道を使って、フィヨルドのように絶壁が迫るふたつの深い湖に挟まれたコミュニティを通過していきました。彼らはさらにゴールドラッシュ・トレイルを北に進み、カリブー地方の金鉱を目指しました。

セイトーンポルターージュはハイキング、釣りやボート遊びのほかに、カオハムシヤトルと呼ばれる列車で知られています。2両編成の列車は、トルコ色のセイトーン湖の湖畔を縫うように走り、カナディアン・ナショナル鉄道の路線のなかでは3番目に長いトンネルを抜け、ブリッジ川水力発電所の近くを通過してリレットとセイトーンポルターージュを結びます。1日しっかり遊んだあとは、チュラス（Tsal'ah）先住民のコミュニティが運営する新しいリルテム・マウンテンホテルでゆっくりとした時間を過ごしてください。

ブリッジリバー・バレー

南チルコーティン山脈のそそり立つ頂きに囲まれたブリッジリバー・バレーのなか、リレットから105キロのところに位置するゴールドブリッジとブラローンは、大恐慌時代の1932年に大規模な金鉱が開発されて興ったコミュニティです。ブラローン・パイオニア鉱山は1971年に閉山されるまでに124トンもの金を産出し、カナダの歴史上もっとも産出量の多い金鉱となりました。その結果、ゴールドブリッジとブラローンの町が興り、学校や教会、住宅やオフィスが建ち、娯楽施設ができ、素朴なハンティングロッジも建設されました。閉山後何年も放置されていた鉱山では、金の取引価格が値上がりしたことから2011年以降断続的に採掘が行われています。

歴史好きなら、ブラローンやその周辺のゴーストタウンの荒れた廃屋や廃坑になった鉱山をのぞいて歩くのもおもしろいでしょう（廃屋の何軒かは観光用に修復されています）。アウトドア好きなら、渓谷で釣りや狩猟、ロックハウジング、美しい高山湖や荒々しい山々の景観が楽しめます。

加えて、周辺の湖の湖畔に建つリゾートでは、夏はヘリコプターでトレイルへ飛ぶマウンテンバイクツアー、冬には雄大な氷河を眺めながらのスノーモービルや豪快なヘリスキーのアレンジもしてくれます。渓谷の上流部の中心地であるゴールドブリッジは、野生動物が多く棲息する南チルコーティン山脈州立公園や、アルピニストがよく訪れるバンダー山脈へ行くには便利なため、さまざまなアウトドア・アクティビティの拠点として利用されています。また歴史遺産であるヘイルモアのキャビンに立ち寄って、渓谷の入植初期の歴史を見てみてください。

リスケクリーク

リスケクリークは、ウィリアムズレイクから47キロ西に行ったところ、チルコーティン地方の東端に広がる草原のただなかにある小さなコミュニティです。コミュニティの名前は、ポーランド人の開拓者で起業家のL.W.リスケに由来します。1860年代、リスケはここに製材所と製粉所を建て、ゴールドラッシュに湧くカリブー地方に物資や農作物を供給しました。

リスケクリークに来たら、コミュニティ所有の1940年代に建てられたチルコーティン・ロッジを是非訪ねてみてください。チルコーティン地方にはもうほとんど残っていない開拓時代の典型的なログハウス建築で、この地域の歴史を体現する建物です。リスケクリークの南、フレーザー川とチルコーティン川の合流地点に近いフェアウェルキャニオン・ロード沿いには、4573ヘクタールの面積を持つジャンクション・シーブ・レンジ州立公園があります。この州立公園はカリフォルニア・ビックホーンシーブの保護区となっており、世界のビッグホーンシーブの5分の1にあたる500頭が棲息しています。ハイキングをしながら立ち並ぶ尖塔のようなフードウーのあいだや川沿いの砂岩の絶壁に、ビッグホーンシーブを見ることができません。周辺の地域にはクロクマやコヨーテ、キツネ、クーガナなども棲息しています。

以前は先住民の集落があったフェアウェルキャニオンは、棘のあるウチワサボテンが生え、石灰質の大地や砂岩の岩壁が浸食されてできたフードウーなどの珍しい地形が特徴の、砂漠のように乾燥した渓谷です。渓谷を歩くと、岩壁に先住民が描いた古い象形文様や、夏の終わりから秋にかけては先住民の人たちがサケのすくい網漁をしている光景を見ることができます。

ハンスビル

リスケクリークから50キロ行った道路脇に、この章のはじめに登場した牧場主ノーマン・リーの伝説的な旅を記した銘板が立っています。1898年、ノーマン・リーはチルコーティンの牧場から200頭のウシを連れてユーコンのドーソンシティを目指しましたが、結果は悲惨なものでした。リーは後年、その不運な旅を記録した『クロンダイク・キャトル・ドライブ』を著し、リーズコーナーに店を構えました。今日、リーの町はハンスビルとして知られるようになりましたが、町にあるコーナーストア&レストランにはまだリーの名前が使われています。旅行者はここを起点に先住民のツェルコティン（Tsilhqot'in）が先住民権を持ち、野生



Kari Medig

の馬の群れなどの野生動物が数多く棲息するネマイア・バレーに入るか、キャンプやハイキング、野生動物の観察やスノーモービルなど年間を通じてアウトドアのアクティビティが楽しめるタセコ湖へと向かいます。

ビッグクリーク

ビッグクリークの小さなコミュニティはハンズビルの南、フェアウェルキャニオンを経由してリステククリークへとつづくバックカントリー周遊ルート上に位置し、1907年から1975年までチルコーティン地区の郵便局がありました。昔の町はもうほとんど残っていませんが、人里離れたこの地域のロッジや、泊まりながら牧場体験ができるゲストランチが現在、地域の活性化に一役買っています。また近くのフレッチャー湖はニジマスが豊富なことから、連休になるとキャンプをしながら釣りを楽しむ人たちがでにぎわいます。ビッグクリークのコミュニティは、かかしのコンテストがある秋の収穫祭でも知られています。



Chris Harris

ネマイアバレー

ツェルコティン (Tsilhqot'in) の先住民自治区のなかにあるネマイアバレーは、そのサブグループ、ハネイグォティン (Xeni Gwet'in) の人々が昔から暮らしてきたところです。この地域には北米最後の野生馬の群れが棲息しており、最近のDNAテストでは、これら野生馬の先祖はカナダの馬だけでなく、ロシア原産の小型馬や何百年も前にスペイン人が北米大陸に持ち込んだ馬も混じっていることがわかっています。1973年まで道路がなかったことからほとんど開発されずに今に至ったネマイアバレーの風景は、穢れなく雄大です。ネマイアバレーはハネイグォティンの故郷であり、牧場もいくつかあって、周辺のB&Bやロッジに泊まりながら狩猟や釣りをする人々が訪れます。パッケージツアーなどはありませんが、野生馬を見たり、奥地に入りたい人は、現地の宿泊施設や先住民のコミュニティ、牧場などに直接問い合わせればアレンジが可能です。主要道路から外れる場合は、ツェルコティン先住民自治区との境界線に留意してください。



Kari Medig

アレクシスクリーク

ハンズビルから20キロほど行ったところに、チーフ・アレクシスの名前にちなんでアレクシスクリークがあります。チルコーティンの乱が起こったとき、この地域に住むツェルコティン (Tsilhqot'in) の首長だったのがチーフ・アレクシスです。アレクシスクリークのすぐ近くには、チルコーティンの人々が侵入してきたシュースワップやベラクーラの人々と闘ったブルキャニオンとバトルロックという2カ所の歴史遺産があります。チルコーティン台地の東部に設け



Kari Medig

られたハドソンベイの交易所は、今は景色のよい静かな場所に跡地だけが残っています。現在、アレクシスクリークは、この周辺に住む人たちが必要なものを揃えたり、西に向かうチルコーティン川に沿ってバックカントリーに入る旅の中継地として、スナックを買ったり、燃料を補給したり、案内所で旅行情報を得るところとして役立っています（旅行案内所には洗面所があります）。

レッドストーン
レッドストーン・リザーブは、アレクシスクリークから州道20号線沿いに西に36キロほど行ったところにある先住民の

小さなコミュニティで、ガソリンや日用品が買えるレッドストーン・ストアがあります。BCロデオ協会のチルコーティン・ツアーシリーズの一環として毎年8月にコミュニティが開催するレッドストーン・ロデオは、地元の素顔をかいま見るよい機会です。周辺にはマウンテンバイク、ハイキングのトレイルがたくさんあり、またカヌー、カヤック、釣り、狩猟などのアクティビティでも知られています。リザーブ地域のすぐ外側の州道20号線沿いに最近オープンしたキニクニック・レストランとショップでは、地元で調達した肉（草だけを飼料として飼育した牛の肉や、有機飼料で育てた豚やニワ

トリの肉など）や有機野菜を使った料理が食べられます。このレストランは、最近注目を集めているバンクーバーの「パスチャー・トゥ・プレート」という有機精肉店と同じオーナーの経営です。

ブンティレイク
レッドストーンから21.6キロほどのところにあるブンティ湖は、バードウォッチャーなら一度は行きたいところです。早春から夏にかけてはたくさんのアメリカシロベリカンがこの湖をえさ場に、秋は湖が凍るまでナキハクチョウが逗留します。湖畔には釣りに特化したリゾートや、カーキャンプ用の施設があり、春か

カナダ初の土地所有権判決

2015年 6月 26日 캐나다 대법원은 칠코틴 내 윌리엄스 소유권 소송(Williams Title Case Claim) 대상 지역의 약 1,900km²에 대해 판결을 내리고 원주민의 소유권을 선언했습니다. 원주민 소유권은 해당 대지에 대한 이권을 인정하는 법적 용어입니다. 이 권리는 집단적 이권이며, 유럽 정착민들이 도착하기 전에 당시의 주민이었다는 사실로부터 나오는 토지의 이용 및 점유에 관한 권리입니다. 이 획기적인 판결에는 하니케틴(Xeni Gwet'in)족의 전통적인 영토이자, 칠코 레이크에 있는 네마이야 벨리의 누추 베니즈(Nu Chugh Beniz) 주립 캠프장과 칠코 레이크의 원류에 있는 과닷시(Gwadats'ih) 주립 캠프장 등 2개의 캠프장이 있는 사이로스 주립공원(Ts'il'os Provincial Park)의 일부가 포함됩니다.

하니케틴 원주민 정부와 현지 토지 명의자들이 서명한 지속가능 관광 프로토콜 계약(Sustainable Tourism

Protocol Agreement)을 통해 하니케틴족 및 칠코틴족의 전통 영토 내에 거주하는 하니케틴 원주민과 비원주민 사이에 사업체의 통합이 이루어졌습니다. 관광 개발을 통해 하니케틴족과 현지 마을들은 함께 협력하여 미래 세대의 지속적인 이익을 위해 이 지역의 문화와 전통을 지키고 보존해나갈 수 있게 되었습니다.

하니케틴 원주민은 야생동물과 아름다운 경치를 지닌 이 원시 지역에 방문객들을 계속 초대할 것입니다. 일반 이용자, 현지 업체, 방문객들은 하니케틴과 칠코틴의 권리를 존중하시기 바라며, 공원의 규정 및 정책, 식물, 그리고 방문객의 안전과 야생동물, 어류 서식지, 문화적 가치 및 이 지역의 특징을 보호하기 위해 일하는 하니케틴 공원 시설 운영 직원들을 존중해주시기 바랍니다. 특히, 과닷시 캠프장은 연중 폐쇄되어 있으므로, 혹시 방문하게 되면 공원 직원들의 지시를 꼭 따라 주시기 바랍니다.



チルクーティン地方
のファンから一言



タトラヨーコー湖に来ると心から自由を感じて、深く呼吸ができるのです。自由に息ができる.....言いたいことがわかるかしら。

～エイミー・エリクセン・グリープ

人間より野生の動物たちによく使われるトレイルでは自転車から降りる。クリークを渡り、湿地を飛び越える。ペダルがひっかかり、すねが擦り切れる茂み。自転車を担いで歩く、また歩く、また、また。峠に着けば全部忘れられる。チェーンオイルとおがくず、その上にご褒美が載っている。

～イナ・ハント マウンテンバイクの日々

この夏のバケーションは今までで最高だった。頼む、誰かここで僕を雇ってくれ。森林生態の専門家なのに、ほとんど森のないゴミゴミした国から抜け出せないでいるんだ！

～リチャード・フェリス

世界で一番環境に優しいところ！

今までいろいろなところを旅したけれど、ここは特別です！ ウィルダネスリゾート&リトリートは何が何でも最高！

～ヘイリー・ローズ・カーショウ

BC州のチルクーティン地方はどこからも遠く離れ、ワイルドで、美しい。キャンプ場にはいつも私ひとり、何時間も馬で行っても誰にも会わない。野生の動物たちもたくさんーグルズリー、クロクマ、オオカミ、ビッグホーンシープ、シカ、他にもいろいろな動物がいる。このあたりは歴史も先住民の文化も豊か。行く機会があるなら絶対に行くべきです。

～ドン・チェイス

父はブラローンで生まれ、ガンレイクで幾夏も過ごしました。もしゴールドブリッジまで行ったなら、是非ガンレイクに行ってください。私の祖父もブラローンでパイオニア金鉱を管理していました。

～セラ・リッジウェイ

ら秋にかけてさまざまなアウトドア・アクティビティの拠点となります。湖が凍結する冬は、水面下でヒメマスやニジマスが釣り人に邪魔されることなく一息つき、スノーモービルが湖や周辺の雪原を走り回ります。

タトラレイク

タトラレイクはアレクシスクリークから108キロのところ、チルクーティンの草原地帯の西端に位置します。1902年、ベニー・フランクリンからタトラレイク湖畔の地所を買ったアイルランド人開拓者ロバート・グラハムとその妻は、そこに新居を建て、1930年に店を構えました。その家が、宿泊施設であるトラレイク・マンナーの向かいにある現在のグラハムインで、おいしい食事が評判です。周辺にはすばらしいハイキングやノルディックスキーのトレイルがいくつもあり、またバックカントリーには数軒のリゾートや、草原の多様な生態系を探索するガイドツアーもあります。

タトラレイクはウェストブランチ、チルコ、タトラヨーコーの3つの山溪へと通じており、それぞれ主要道路から分岐した周辺道路を南下してアクセスします。周辺道路に入ったらツェルコティン (Tsilhqot'in) 先住民自治区の境界に留意し、無断で立ち入らないようにしてください。

近くのブラフ湖には、観光飛行ができる軽飛行機やヘリコプターの発着施設があります。チャーターやツアーを利用すれば、壮大なホマツコ氷原や、コースト山脈にあるBC州の最高峰ウォディントン山、山々の頂にかぶさる氷河など、感動的な大自然を上空から眺めることができます。アングラーならこのあたりの川で釣れる肉付きのよいニジマスや、ドリー・バートンと呼ばれるオショロコマが魅力です。また周辺のロッジでは、野生動物観察や写真撮影をしながらのハイキングや馬の旅やガイドの手配をしてくれます。

クリーナクリーン

この小さな集落は州道20号線をタトラレイクから西に31キロのところに位置します。ここから近いクリアウォーターレイクから水上飛行機に乗れば、釣り人なら一度は訪れたい人里離れた湖やアルピニストが憧れる峰々など大自然の懐へ短時間で行くことができます。バックカントリー派なら、パーキンスピーク (標高2819メートル) の頂上からすばらしい展望を眺めたり、クリナクリニ滝までハイキングをしたり、パンテオン山脈にヘリコプターで入るヘリハイクに挑戦してみても良いでしょう。地元のゲストラナーやロッジ、キャビンの目の前からカヌーに乗れるシャーロットなどの宿泊施設は、ボートツアー、風景や動物写真撮影に特

化したツアー、牧場の生活を経験をするツアー、馬で野山に行くツアーなど、ガイド付き日帰りパッケージから、数日かけてのキャンプの旅までさまざまなタイプのツアーをアレンジしてくれます。特に、75の湖と多種多様な高山の生態系を持つシャーロット・アルブランド高山自然地区への馬の旅は圧巻で、ここにはサケが遡上するBC州の川のなかでも、水域の環境も含めて昔のままの姿をとどめ、もっとも重要な水系とされるアットナルコ川の源流があります。

美しいビッグスティック湖、クリアウォーター湖、ワンアイ湖では、釣り人もその他のレクリエーションを目的とする人も清浄な大自然の懐に抱かれてカヌーや釣りを楽しむことができます。またクリーナクリーナからは、ムースやクマ、マウンテンゴートやオオカミを猟るガイド付き狩猟ツアーも出ています。

シャーロットレイク

ニムポレイクから南東に11キロに位置する全長16キロの清らかなシャーロット湖は、フライフィッシングの天国です。ルーン、ハクトウワシ、ミサゴ、ナキハクチョウなどが飛来する湖水を眺めながら大きなニジマス釣りを上げるといって、カナダならではの釣りの醍醐味を味わうことができます。ルーンはカナダの1ドルコインにも描かれているアビ科の水鳥、ナキハクチョウは飛べる鳥のなかではもっとも体重の重い鳥のひとつです。周辺には美しい山間を縫うようにハイキングやマウンテンバイクのトレイルがつづき、冬にはそり用のトレイルもつくられます。また、たくさん高山湖で知られるシャーロット・アルブランドには、珍しい高山植物や驚くほど多岐にわたる野生動物が棲息しており、写真撮影や動物観察をしながら日帰りや数日をかけてハイキングやガイド付きの馬の旅ができます。

このようなバックカントリーの旅を安全に楽しく案内してくれるのが認定ガイド



Come fishin' with us
(Formerly Woodlands Caribou Resort)

12 RV sites with partial/ full hooks
Cabins coming
check our website for up dates
Wifi - shower house - laundry
Fish for wild kokanee and rainbow trout
Trails, bird sanctuaries, wildlife viewing

**Host of the popular
Annual Puntzi Lake Fishing Derby
July 7,8,9, 2017 Book early**

**info@woodlandsfishinresort.com
www.woodlandsfishingresort.com
250-230-5099 • 250-800-0400**



です。旅の計画が決まったら、早めに予約を入れることをお勧めします。居心地も眺めもよい地元のロッジやB&Bに泊まりながら、この貴重な環境をゆっくり味わってください。

ニンボレイク

「BC州の水上飛行機の中心地」との愛称で呼ばれるニンボ湖は、西チルコーティン地方の感動的な風景のなかにひっそりと佇むキャビンや人里離れた湖や川へ飛んだり、観光周遊飛行をする人たちを乗せて飛ぶ水上飛行機が集まる一大拠点です。背後にそびえ立つマウント・カッパンを眺めるニンボ湖は、ニジマス釣りで名高いだけではありません。周辺のトレイルは、バードウォッチングや野生動物を見ながらハイキングをして汗を流すのに最適です。

ハイキングや馬で行く日帰りツアーや、数日かけての乗馬旅行、飛行機で湖や川に入る釣りツアーは、地元の牧場が手配してくれます。アウトドアで遊んだあとは、現地で獲れた鳥や動物や魚に有機野菜を組み合わせた食事で土地を味わい、ヨガのクラスでリラックスしてください。冬には、そり遊び、スノーシュー、スケート、ノルディックスキー、湖の上をスノーモービルで走ったりと、アクティビティは尽きません。

アナヒムレイク

ベラクーラから東135キロのところにあるアナヒムレイクはチルコーティン地方の古い入植地で、1940年代から50年代にかけて先住民のキャリアの人々が辺鄙な地域から移住してきたことでさらに大きくなりました。現在コミュニティは、野性味あふれるトゥイーズミュア州立公園南部への東の玄関口となっています。

アナヒムレイク空港はチルコーティン台地の重要な空港で、パシフィックコースタル航空のバンクーバー定期便が運航されて



Visit the Great Bear Rainforest and the Chilcotin Ark

Enjoy this amazing area from three unique lodges along Highway 20, offering diverse landscapes and terrific wilderness adventures.



Bella Coola Grizzly Tours • Eagle's Nest Resort
Chilcotin Lodge

Experience the spectacular

chilcotincoastexperience.com

地元の人から一言

ここには荒々しい野生があります。自然、少ない人口、近くに都市がないこと、魅力的な風土であることが、ユニークな住民、特に環境保護に関心のある人たちをたくさん惹きつけてきました。ここに住む人たちは独立心に富んでいて、大自然の片隅で生きることを選んだ人たちです。

～ピーター・シャウナシー

カリブーとチルコーティンでは野生のサスカトゥーンベリーがいたるところに生えています.....一番おいしいパイができます！抗酸化物質がたくさん入っていて、体にとってもいいんです。いくらでも食べられますよ！

～パット・コルベット

私の祖母の叔父と叔母のドンとフィリス・ムンディがアロースミス山に登って、頂上で周辺の山を見渡した時、ウォディントン山（その時はどの山かわからなかった）に気がつきました。私のひいお爺さんアルバート・ムンディと一緒にドンとフィリスはその山を目指して旅に出ました。彼らはトレイルを切り拓き、登頂を試みましたが、成功しませんでした。翌年、ウォディントンが、ムンディがつくったトレイルを使って登頂に成功しました。この山がムンディ山ではなくウォディントン山と呼ばれるのはそのためです。でもあとになってムンディが初登頂に成功した山に彼らの名前がついています。

～アル・バーンハート

オフィスの窓から毎日、万年雪をいただく山々に抱かれた大自然の広がりを眺めるのが夢でした。だから僕はカリブー・チルコーティン・コースト地方で暮らし、働いているのです。

～アンドレ・クエビス

チルコーティンに住んで、本当によかったです。安心して暮らせるのです。大きい街の生活は馴染みません。ここが一番です。

～リンダ・ルー・ハウラス



います。また、人里離れたロッジやリゾートの宿泊客や、ヘリツアーの参加者たち、ハイキングや写真撮影の旅に出かける人たちが、この空港からプライベートやチャーターの小型飛行機で各々の目的地へと飛び立っていきます。

バックカントリーに短時間で入れる水上飛行機も、ここで手軽にチャーターすることができます。またイッチャイラガチュズ州立公園や、トゥイーズミュア州立公園内にあるレインボー山脈に入るガイド付きのハイキングや馬で行くキャンプ旅行も同様に、簡単に手配ができます。峰々が侵食された火山性溶岩と粉碎された岩によって鮮やかな赤、オレンジ、ラベンダー、黄色の筋に染まる、ユニークで劇的な景色で知られるレインボー山脈は、一度は訪れたいところです。

アナヒムピークは、黒曜石を多く含む火山岩性の雄大な円錐丘です。武器をつくるために使われた黒曜石は、先住民のキャリアの人々にとって重要な交易品でした。このように、アナヒムの周辺地域は先住民の歴史と深い関わりがあり、ガッチョ湖のウルカチョやアナヒム湖のナツァダリア・ポイントには「クラクラ」と呼ばれる大きな木造の家の跡が残っていて、一般に公開されています。

町のもっとも有名な行事はアナヒムレイク・スタンピードで、1938年から毎年7月に開催されてきました。多くのロデオ

参加者のなかでもっとも名前が知られているのは、NHL（ナショナルホッケーリーグ）モントリール・カナディアンの名ゴールキーパーであり、オリンピックで金メダルを2度獲得した、地元出身のカリー・プライスでしょう。アナヒムレイクの西に位置するトゥイーズミュア州立公園は、整備されたトレイルでノルディックスキー、スノーモービルでバックカントリーへ入ったり、休憩用のキャビンがある小さなスキー場でスキーをしたりと、冬季でもアクティビティに事欠きません。

ハネイグオティーンはこれからも、すばらしい景観と野生動物にあふれるこの清らかな地域を共に楽しんでもらえるよう、訪れる人々を歓迎します。同時にハネイグオティーンとツイルコティーンの人々の伝統的権利、地元のビジネス、訪れる人々もそれぞれに尊重します。この地域内では、公園の規則、地域の植生、野生動物、魚の棲息環境、文化、史跡などを保護し、人々の安全を守るために奉仕するハネイグオティーンの公園管理スタッフの指示に従うようお願いいたします。特に公園内のキャンプ場では、年間を通じて施設の開閉を行う管理スタッフの指示に従ってください。



PLAY THE RUSH

THE GOLD RUSH TRAIL QUEST



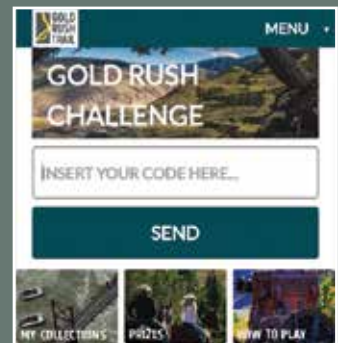
TIME TO START PROSPECTING!

The Gold Rush Trail Quest mobile app allows you to combine exciting virtual reality experiences with your real world adventures.

Download the app at questupon.com/#download

Powered by **QuestUpon**

THE GOLD RUSH CHALLENGE



GOT A CASE OF GOLD FEVER?

Find codes, collect cards, and win prizes with the Gold Rush Challenge!

As you play, you'll discover exciting things to do along the Gold Rush Trail.

Stake your claim at challenge.goldrushtrail.ca

Powered by **PugPharm**





コースト地方



厳しい自然本来の姿が残るBC州コースト地方は、長いあいだ、アーティスト、自然愛好家、自然科学者といった人々を魅了してきました。みな、自らの情熱に突き動かされ、それぞれの冒険を目指してこの地へ足を運びます。もちろんシーフードが好きなら、旅はもっと楽しくなります。自然界の驚異あふれるここは、釣り、ハイキング、シーカヤックがしたい、またはガイド付きエコツアーに参加したいというアウトドア派も一度は訪れたい場所です。類まれな自然のなかに身を置き、手つかずの生態系に目を見張り、芸術感あふれる美しい先住民文化に触れる……広大な自然保護地区として世界的に有名なグレートベア温帯雨林を含むここコースト地方では、他にはないユニークな体験が待っています。

1947年、ノルウェーの著名な探検家トール・ヘイエルダールが、大型の筏船コンティキ号でペルーからポリネシアまで太平洋横断に成功すると、一晩のうちにその名は世に知れ渡りました。その6年前、ヘイエルダールはこの地域一帯の先住民の祖先を辿ろうと2年をかけて綿密に調査を行い、コースト地方の先住民と遠く離れた太平洋諸島の先住民とのあいだに類似性が多くあることを明らかにしました。この発見は、のちに伝説として語り継がれることになる探検へと彼を突き動かしただけでなく、太平洋でつながっているすべての先住民の先祖は同じだという現在も論議が続く学説を打ち立てることになりました。

もちろん、先住民以外の人でコースト地方を「発見」したのはヘイエルダールがはじめてではありません。1793年、29歳の果敢なスコットランド人アレクサンダー・マッケンジーは、フランス系カナダ人7人と先住民ポーター2人を伴って、ディーンチャネル、現在のベラクーラに近い海峡へと、舟をこぎ出しました。一見、些細な出来事に思えたこの旅は、カナダを横断し太平洋にはじめて到達するという快挙となりました。マッケンジーは、「カナダのアレクサンダー・マッケンジー、1793年7月22日陸を旅しここに至る」とクマの油と朱を使って近くの岩に記して、旅を終えます。（のちにマッケンジーの足跡をたどった測量技師たちによってこれは永久に岩に刻み込まれました）。壮大な旅の終着点にこれほどふさわしい場所はなかったでしょう。海峡より先の霞のベールをまとった海岸線には、雪をのせた山々が並び、広大な氷原と世界最長のフィヨルドもあります。手つかずの自然が残っているこの場所では、スギやトウヒの原生林がカーペットのように大地を覆い、谷間の窪地にある谷床を流れる川はサケであふれ、そのサケはコースト地方に棲息する威厳ある動物、シャチ、オオカミ、クマといった大型動物たちのエサになります。このなかには珍しいマリンウルフや、スピリットベアと呼ばれる神秘的なシロアメリカグマもいます。

マッケンジーが歴史的な足跡を残し、ヘイエルダールがフィヨルドで文化人類学調査を行ったことで、コースト地方の先住民の生活は大きく変化したかもしれません。しかし、かつての偉大な探検者たちの心を驚掴みにしたこの土地の魅力は、現代の旅行者たちも惹きつけてやまず、その多くはここに足を踏み入

れられるだけで幸せだと言います。

かつての偉人たちの軌跡とまではいなくても、東からコースト地方に車でアクセスするのもなかなかスリルがあります。州道20号線と重なるヘックマンパスの峠30キロの行程では、斜度が最高で18パーセントもある坂道やヘアピンカーブ、スイッチバックが味わえます。とはいえ、道幅は広く、狭いのはヘアピンカーブのところだけで、見通しもよいため、それほど危険ではありません。

コースト地方から東へ行っても、この手ごわい峠を下って東からコースト地方へ入って行っても、トゥイーズミュア州立公園に簡単にアクセスできます。98万ヘクタールの野性味あふれる州立公園は、釣り、ハイキング、ヘリスキー、キャンプ、大自然のなかで乗馬、さらには複数の湖が連なるターナーレイク・チェーンをカヌーで周遊したり、とアウトドア好きにとってレクリエーションに困ることはありません。ターナー湖の北端では、カナダで三番目に高い落差260メートルの直瀑型のハンレン滝がアットナルコ川にしぶきを上げて落ちて行きます。また、トゥイーズミュア州立公園には、レインボウレンジの名で知られ、ミネラルが豊富な溶岩や火山砂がたっぷりだす赤、オレンジ、黄、ラベンダーといったさまざまな色の山並みがあります。ここには、火山に広がる氷河の風化作用と太平洋の温暖で湿った空気が混じりあうことで、高山草原が広がり、野草も数多く生育しています（注：トゥイーズミュア州立公園は自然のままの公園です。ここを訪れるには、バックカントリー経験者であるか、現地のプロガイドを雇う必要があります）。州立公園の先を西へ向かうと、州道20号線はベラクーラバレーへと縫うよう進み、古くは「グリーストレイル」と呼ばれる先住民の交易路、そして1793年に太平洋へ向かったアレクサンダー・マッケンジーのルートを追うことになります。ヌーハルクの人々が先祖代々住んできたベラクーラバレーは、内陸部の先住民が毛皮、黒曜石、革製品を、沿岸地域の先住民のサケやユーラカン油と交換するなど、交易において重要な役割を担ってきました。当時、ユーラカン油は、ニシンのような小魚ユーラカンの脂からつくられ、カロリーが高くビタミンが含まれていることから重宝されていました。

今日、ベラクーラバレーには州道20号線の西はずれに町が2つあります。ひとつは、ア





Kalum Ko

メロカはミネソタ州のノルウェー系ルター派がつくった町ハーゲンズボグで、そこから17キロ離れた場所に、このあたりの中心地ベラクーラがあります。古代の岩絵や、歴史を今に残すハイキングトレイル、サケの孵化場、西海岸先住民アートを専門に扱うアートギャラリーを訪ねたり、アウトドア・アドベンチャーの会社が催すグリズリーを見に行くツアー、環境に優しい川下り、軽飛行機に乗って空中観光に参加したり.....ベラクーラバレーでアクティビティに困ることはありません。6月から9月の毎日曜日には、州道20号線上のロベルコ・フェアグラウンドで人気のファーマーズマーケットが

開催され、現地の人たちと触れ合いながら、地元の「新しい」ヘリテージ（その土地に、または先祖代々伝わる固定種を自然受粉させるなどして“本来の姿”を保っている種）果物や野菜、ハチミツ、手づくりジャムのほか、アート作品や手芸品などの買い物を楽しんでください。また、地元の農業について学べるだけでなく試飲や試食もできるツアーを催す農場もあります。食べ物に目がない人たちなら、最高級のボタンエビ、ダンジネスクラブ、オヒョウ、マダラ、数種類のサケといったシーフードに舌鼓を打つことでしょう。

グレートベア温帯雨林

ベラクーラの北西部、BC州の中でもっとも僻遠の地にひろがる世界最大規模の手つかずの自然が、グレートベア温帯雨林です。絶滅危惧種が多い6万4000ヘクタールの森林には、世界でもっとも古く大きい樹々、先住民の文化遺産、その多くがこの地に特有の、数千種類の植物、野鳥、動物が存在しています。海には、シャチ、ネズミイルカ、ザトウクジラ、アザラシ、アシカや数十種類のウミドリ、陸には、オグロジカ、マリンウルフ、グリズリー、クロクマ、先住民にとっては神聖な精霊である白毛をまとったクロクマの一種、珍しいシロアメリカグマが数多く棲息しています。また、シロアメリカグマ

TALHEO CANNERY
GUEST HOUSE
YOUR EXCLUSIVE
OCEANFRONT DESTINATION

Come explore the rich history of one of the last remaining salmon canneries
Oceanfront Accommodation
Scenic Inlet Tours ~ Wildlife Viewing
www.bellacoolacannery.com
1-604-992-1424
info@bellacoolacannery.com

Eco Adventure Trips **Shearwater** Fishing Adventure Trips

World Class:
Salmon Fishing
Bear Viewing
Whale Watching

Shearwater Adventure Vacations
call: 1.800.663.2370 email: fish@shearwater.ca
www.shearwater.ca

July 22 & 23 2017

**BELLA COOLA
MUSIC FESTIVAL**

Entertainment for all ages, family friendly,
Children's Site Sunday. Dance to amazing
music in the beautiful Bella Coola Valley!

www.bellacoolamusic.org



Geoff Moore



Geoff Moore



Geoff Moore



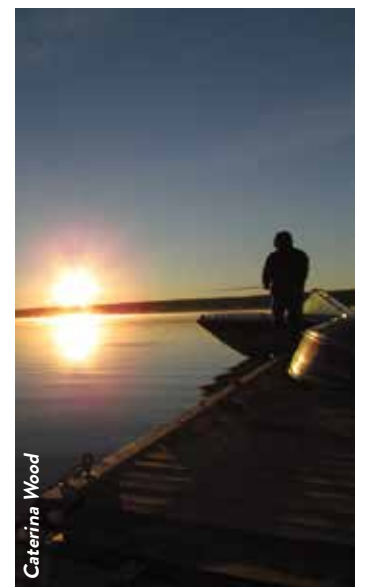
Michael Bednar



Blake Jorgenson



Thomas Drasdauskis



Caterina Wood

が主に棲息地としているプリンセスロイヤル島の沿岸には、シムシェンの人々がかつて集落を構えていましたが、現在、島にはボートか軽飛行機でしか訪れることができないため、原始のままの自然が残っています。カヤックやボートでこの威厳ある野生動物を一目見ようと訪れる人たちのために、クマの専門家や自然科学者が野生動物や植物について説明をしてくれる環境にやさしいツアーが行われています。

カヤックやボート、カヌーに乗ってグレートベア温帯雨林を観光する人たちが増えていることから。現地のオペレーターは、自然保護地区を守っていくために科学調査を行ったりするほか、ヨットでリラックスしながら周辺の海峡をめぐるツアーを用意しています。ボートのサイズやどんなツアーを選ぶかによりますが、この地域を旅するには最低でも一週間、時間に余裕があるなら数週間かけてじっくりと旅するのをお勧めします。

フィヨルドランド・コンサーバンシーは、グレートベア温帯雨林のなか、クレムトゥの北東の入り組んだ海峡の奥深くにある州立海洋公園です。コンサーバンシーに点在する自然のままのビーチの中でも特にレディダグラス島近くのビーチはその美しさで知られています。また、この自然保護地区内には、カイノックインレットとマッセルインレット、(2つの入江は氷河によって削られたフィヨルドで、花崗岩の断崖の高さは1000メートル)とヒギンスパッセージがあり、先住民の歴史遺産が、網の目のように入り組んだ海峡、迷路をつくるかのように散らばった島々、連なって流れる滝の合間にひっそりと佇んでいます。ベラクーラ周辺の無数の入江や小さな洞窟、海峡では、シーカヤックや野生動物観察が楽しめます。ここから南に位置するナムの10キロ西には、12万3000ヘクタールのハカイ・ルックスバルリーズ・コンサーベーション地区があります。白砂のビーチは散歩やキャンプに最適で、周辺の入り組んだ海岸線と小さな島々が点在する海域は、コースト地方でも屈指のカヤック・スポットです。釣り好きな人は、ハカイ・ルックスバルリーズの南西で豪華なロッジに泊まりながら、スポーツフィッシングで有名な入江、リバーズインレットとナイトインレットで世界最大級のキングサーモンに挑戦してみてください。地元のギンザケは平均9キロ前後あり、キングサーモン、カラフトマス、シロザケ、

ベニザケも釣れ、入江の海底に棲むオヒョウは大きいもので91キロ、岩礁近くに棲息するキンムツは27キロにもなります。リバーズインレットからプリンセスロイヤル島までは、ハカイパス、ミルバンクサウンド、シアウォーターといった釣りを象徴する地名が並んでいます。

コースト地方は先住民が陸と海から糧を得て、内陸部の先住民と交易をしながら暮らしてきました。ヨーロッパ人が入植した1700年半ばからさかのぼること数世紀(毛皮商がラッコの毛皮を収集するためにこの地方にやってきた頃)、グレートベア温帯雨林の沖でヨーロッパ人がはじめて釣りをするはるか以前の話です。現在、コースト地方では住民の3分の2を先住民が占めています。ベラクーラの町にもヌーハルクの先住民が多く暮らしていて、彼らのつくる木の彫り物やお面、絵画などのアートがベラクーラバレーのさまざまな場所で展示されています。

18世紀の後半にマッケンジーがディーンチャンネルへ舟を漕ぎだした頃、または、1900年代にヘイエルダールがコースト地方で文化人類学調査を行った頃の旅は過酷でした。それ

に比べると、現代人はずいぶんと気軽にグレートベア温帯雨林を旅できるようになりました。夏のあいだ、BCフェリーがバンクーバー島北部のポートハーディからコースト地方に出ています。フェリーは、数々の美しいフィヨルドのあいだを通り、ベラベラ、マクラフリンベイ、シアウォーター、クレムトゥ、オーシャンフォールズやベラクーラへと運航しています。また、ベラクーラから州道20号線を通ってディスカバリーコースト・サークルをドライブし、ヘックマンの有名な「峠」を上り、チルコーディン台地を横切って、カリブーからさらにその先へと行くことができます。BCフェリーのホームページ(www.bcferries.com)でフェリーの最新料金と時刻表を確認してください。

ハーゲンズボーク
ベラクーラから州道20号線を東に16キロ行ったらところにあるハーゲンズボークは、ミネソタ州からベラクーラバレーを目指していた100人ほどのノルウェー人入植者が興した町で



Ask about our
Discovery Coast Circle Tour.

All Central Coast packages include
ferry travel, accommodation, tours
and activities.

Three easy ways to book

- bcferries.com/vacations
- 1-888-BC FERRY Ext. 3
- BC Ferries Vacations™ Centre at the Fairmont Pacific Rim
1010 Canada Place, Vancouver, BC

BC Ferries
Vacations™

BC Reg. 48839.



Geoff Moore



Geoff Moore



Albert Normandin

す。移り住んできたノルウェーの人たちは曲がりくねったフィヨルドが海へと続く目を見張るほど美しいこの土地で祖国を思い出したのかもしれない。ほどなくして、農業、林業、漁業が始まり、1895年には共同テントを使った最初の学校が開校しました。

ノルウィージャン・ヘリテージハウスでは、現在でも1800年代のハーゲンズボグの暮らしをかいま見ることができます。20世紀はじめに入植者アンドリュー・スピスダールによって建てられたこの古い建物には、ノルウェーの伝統的な内装が施され、一世紀以上前に家庭にあった道具などが展示されていて、まるで1800年代のタイムカプセルのようです。今も教区民を受け入れている1904年に建てられたノルウェー系福音ルーテル教会であるオグスバグ・ユナイテッド教会は、歴史的建築物として一見の価値があり、墓地には新しい生活を夢見てかなたの土地までやってきた開拓民の苦勞の歴史が刻まれています。周辺には、景色のよいトレイルもあり、ベラクーラ川の北側にあるロストレイク・トレイルからアクセスできるロスト湖の小さなピクニックエリアからは、渓谷とナサツム山のすばらしい景観を望むことができます。トレイル周辺の自然や歴史についてわかりやすく解説されている、車椅子でもアクセス可能なサルムト・インタープリティブ・トレイルでは、風景を楽しみながらベラクーラ川に沿って歩いていくと、テーブルやベンチがある原生林のなかのピクニックエリアにたどりつきます。こういったハイキングトレイルを歩けば初期の入植者がこの渓谷に抱いた思いが伝わってくるかもしれません。ハーゲンズボグ郊外のベラクーラ空港では、バンクーバー便が毎日運航しており、近くの氷河や釣りスポット、他の目的地へのチャーター便も出ています。

ベラクーラ

山々に抱かれるようにして渓谷の西端部に位置するベラクーラは人口900人のコミュニティで、釣り、林業、観光、そして周辺の小さなコミュニティにサービスを提供することで経済が成り立っています。身が引き締まるような山の空な気、氷河が流れ込む川、自然のままの溪流……この町には自然科学者、アーティスト、探検家、写真家など訪れる人が絶えません。ここでは釣りやレジャーボートが楽しめるだけでなく、缶詰工場跡や干潟も人々が立ち寄る場所に



Geoff Moore

なっています。ハドソンベイ・カンパニーが毛皮商の交易所をつくり、1793年にはアレクサンダー・マッケンジーが西海岸への壮大な旅をここで終えたという歴史は、町の建造物にも表れています。そのひとつ、気取らない雰囲気のコパスストアは、BC州に関するさまざまな本、先住民が製作したジュエリーやギフトを揃えていて、観光客に人気があります。ダウンタウンにはアートギャラリーやギフトショップがあり、観光用、釣り用のチャーター便の手配もここでできます。

世界的に有名な、6万4000キロヘクタールの広さを持つグレートベア温帯雨林の玄関口でもあるベラクーラハーバーはバンクーバーからプリンスルパートまでのあいだで、BC州内陸部へ行く道路にアクセスできる唯一の港です。1860年代まで、港は先住民ヌーハルクの人々が先祖代々住んできた地域の中心地でもありました。ところが水痘によって人口が激減し、病を免がれたヌーハルクの人たちは河口周辺とそこにあったハドソンベイ交易所の近く、現在の非保留地へと移動していきました。美術史に興味がある人なら、ヌーハルクの人々が文化や神話をもとにした信仰を描いた岩絵が残る歴史遺産を訪ねるガイド付きツアーに参加するとよいでしょう。4マイルと呼ばれる現在のヌーハルクのコミュニティと学校を訪ねるのもお勧めです。まるで3次元アートのような伝統的なロングハウスの様式を用いた校舎の入り口には、トーテムポールも数多く並んでいます。（学校は州道20号線上、ベラクーラの東から数分のところにあります。）

町の西5キロ地点にあるクレイトンフォールズ・レクリエーションサイトは、ベラクーラ近辺で唯一海辺に面した公園です。短いトレイル沿いの道路から滝にアクセスでき、産卵期に遡上してくる数が多い年には、ここに大量のサケが集まります。州道20号線を少し外れたとこ

Bella Coola Grizzly Tours



Your Guide to the Great Bear Rainforest for over 30 years



Private Log Cabins at Resort
Hot Springs and Glacial Fjord Tours
Wilderness Wildlife Tours
Ocean Fishing Charters

Leonard Ellis, Owner/Manager
Bella Coola, British Columbia, Canada
Telephone 250.982.0098
Skype bcgrizzlytours





1.888.982.0098

www.bcgrizzlytours.com



コースト地方の
ファンから一言



：誰にも気づかれずに咲いて
いる野生の花々の可憐なこ
と！

～トム・ベルニール

ベラクーラバレー上空を小さ
なプロペラ機で旅してきたと
ころです。ロッキー山脈のす
ばらしい景色を見ながらスリ
ル満点の飛行でした。今週末
はベラクーラ音楽祭で演奏し
ます。

～クイック・エスカミラ

クレムトゥ……ひっそりとし
た町でありながら天国のよう
なところ。まるでスティーブ
ン・キングの小説に出てきそ
うな海辺の先住民の集落。朝
霧のような謎に包まれた淡水
湖。ここはサスカッチ（ビッグ
フットのような未確認動
物）の住処でもあるとか。先
住民の誰もがそうであるよ
うに、ここの人たちもサスカ
ッチは存在すると思っていま
す。

～クリプト・ブラスト

人生で最高のスキーが楽しめ
ました。

～デーブ・トレッドウェイ

カルバート島でカヤックをし
ながら最高の写真が撮れまし
た。こんなすてきなコースト
地方に原油輸送船は入ってこ
ないでほしい。

～グラハム・ヘンダーソン

スピリットベアを見てみた
い。こんなに美しい生き物が
いるなんて。それに先住民が
語るクマの伝説が大好きで
す。来年こそはぜひ見たい。

～デビー・ストレンジ

コースト地方で私が一番好き
なのは、ハイルツック先住民
のハカイパス近くにあるコー
アイ湾。私にとって特別な場
所。

～シェーン・ガン

ろ、ウォーカーアイランド公園と隣
接しているスヌートリク公園
のトレイルの古いスギ木立は、陽
の光が遮られるほど枝が重なりあつて
まるで大きな天蓋をつくっているか
のようです。この天蓋のおかげで、
雨の日でも濡れずに歩くことができ
ます。

ナム
バークチャネルとフィッツヒューサ
ウンドのふたつの水域が交わると
ころ、ベラクーラの南西95キロ地点に
ナムのコミュニティがあります。ナム
とは、先住民であるハイルツック
(Heiltsuk)の言葉で「つむじ風」を
意味し、この言葉からもかつての町
の繁栄ぶりがうかがえます。1930年
代から80年代までここは水産業の中
心地で、町にはBCパッカーズの缶詰
工場があり、缶詰工場の労働者や整
備員とその家族が、多いときには400
人ほど暮らしていました。しかし、
輸送コストが上がり、魚の値段が下
がると、1980年代には缶詰から加工
へと産業が移り、ほどなくしてナム
の魚は南のバンクーバーへ、西の日
本へと送られるようになりました。

1990年代、BCパッカーズは缶詰工
場を売却し、その土地にホテルとリ
ゾートを建設する計画を立てまし
たが、うまくいきませんでした。現
在、ナムは朽ちていくばかりのゴース
トタウンとなっていますが、旅行
者や釣り人は中継地点として立ち寄
っていきます。ここにある古代の貝
塚から1万年前に集落があった証拠も
見つかっていて、考古学者の注目が
集まっています。実際、放射性炭素
年代測定によれば、ナムはコースト
地方でもっとも古い地域のひとつと
考えられています。

リバーズインレット

リバーズインレットはベラクーラの
南西125キロ、バンクーバー島の北65
キロに位置する美しいフィヨルドで
す。1792年、ジョージ・バンクパー
がはじめて地図をつくったときに、
その名前がつけられました。長さは
45キロで、一端には林業と漁業を行
うオウイキノー (Wuikinuxv) の人々
のコミュニティがあり、もう一端は
太平洋に面しています。周辺にある
世界有数の釣りリゾートには、世界
中からスポーツフィッシング好きが
集まってきます。エコロッジはクマ
を観察したい人や写真家たちの拠
点に最適です。入江の入り口近くの奥
まったところには、キャビンでもあ
り、燃料施設でもあり、日用品店
でもあるドーソンズランディングが
あります。55年以上、釣り人、クルー
ザー、自然科学者などさまざまな人

々がここに宿泊し、商船やレジャー
ボートも停泊してきました。リバー
ズインレットとポートハーディ間
では毎日水上機が運航されています。
燃料や日用品、酒類が買えて、郵便
局もあり、キャビンが借りられるの
は、ポートハーディとベラベラのあ
いだではここリバーズインレット
だけです。

ハカイパス

ベラベラの南に位置する美しいこの
海峡は、陸にも海にもさまざまな希
少な生態系があるため魚が豊富なこ
とから、スポーツフィッシングの場
所としても世界的に知られていま
す。キングサーモン、ギンザケ、ベ
ニザケ、シロザケ、カラフトマスが
数多く棲息しているだけでなく、オ
ヒョウ、レッドスナッパー、キンム
ツなども釣れ、コースト地方最大
で一番大きな魚を釣り上げるのも夢
ではありません。沖合ではシャチ、ザ
トウクジラ、コククジラ、ネズミ
イルカやワシがアシカ、アザラシと並
んで海峡を移動していき、陸では、
シカや、遺伝学的にユニークなマリ
ンウルフが群れをなしています。野
生動物を見たい人はシャッターチャ
ンスも逃さないでください。

もちろん、リゾートや水上ロッジに
は、野生動物を見にいくガイド付き
ツアーや、釣りツアーも用意されて
いて、宿泊施設も簡素なものから贅
沢なものまで揃っています。ここで
忘れてはならないのが、世界有数の
生態系研究・教育機関ハカイ・イン
スティテュートです。この研究所は
サテライト設備を備え、画期的なフ
ィールドプログラムを行っているだ
けでなく、周辺の水路学的、地理学
的、生態系についての知識を深める
活動も行っています。特に、環境の
変化が及ぼす影響についての長期的
な調査や、ハカイ周辺の海・陸生態
系の驚異的な生産性についての研究
が知られています。

ベラベラ

ネイティブ・カルチュラル・センタ
ーに描かれた大きなワシの頭の絵が
訪問者を迎えてくれる漁業の町ベ
ラベラ。町は、BCフェリーの乗り場
があるキャンベル島のマクラフリン
ベイから北3キロほどに位置してい
ます。ワグリスラの名でも知られて
いるベラベラは、1833年にハドソン
ベイ・カンパニーが建設したフォート
マクラフリンを前身とし、ハイルツ
ック (Heiltsuk) の人々の先祖伝来
の土地でもあります。BC州西海岸
最大規模の先住民コミュニティの人
口は1400人、町には銀行、ジェネラ



Kent Bernadet

ルストア、警察署、島唯一の病院と薬局があります。ベラベラ空港はグレートベア温帯雨林の中心部に位置し、ポートハーディとバンクーバー間をパシフィックコースタル航空が毎日運航しているため、この地方を訪れる人たちの玄関口にもなっています。

デニーアイランド

ベラベラから水上に行くこと5キロの地点にあるデニー島のシアウォーターには、年間を通じて60人ほどが暮らしています。1941年、ここは潜水艦の爆撃を偵察する部隊が駐留するために開発されましたが、1944年に部隊が解散すると売却され、その後、町は設備が備った港と釣りリゾートになりました。当時の名残は、空軍基地の格納庫、滑走路と貯蔵庫がいくつかあるのみです。今日ここには、B&B、リゾートロッジ、釣りに用のチャーター船を手配する会社、レジャー用ボートの係留施設、食料

品店、郵便局があり、ベラベラへ定期的にウォータータクシーが出ているため、エコアドベンチャー・ツアー、クマを見に行くツアー、そして町の経済を支えているスポーツフィッシングの拠点として人々が利用しています。四方を穏やかな海に守られているおかげで、シアウォーターには5種類すべてのサケが棲息しており、大きいものではキングサーモンが32キロ、ギンザケは9キロあります。海底にはキンムツ、レッドスナッパー、ロックフィッシュもいて、オヒョウは大きいもので91キロにも及びます。

クレムトゥ

ベラクーラの北西228キロ、スウィンドル島のクレムトゥは、美しい自然のままの入江に位置する人里離れたコミュニティで、グレートベア温帯雨林自然保護地区のなかにあります。ここはまた、伝説的なスピリットベアの棲息地である

プリンスロイヤル島の玄関口でもあります。コミュニティには言語の異なるふたつの先住民グループ420人が暮らしています。グループのひとつキタソー (Kitasoo) はシムシェン (Tsimshian) のなかで最南に暮らす人々であり、他方のヘイヘイス (Xai'xais) はハイルツック (Heiltsuk)

Comfort and hospitality ... surrounded by wild beauty

Join our sister company Kynoch Adventures for grizzly bear viewing with the most knowledgeable and experienced guides in the valley. Eco-rafting, interpretive hikes and more.

www.bcmountainlodge.com
info@bcmountainlodge.com
 1-866-982-2298

地元の人から一言

ヘリコプターでしか行くことができない山岳氷河のなかにあるキャンプ場のテントに泊まりました。18口のプライベートプール付きでハイキングもすばらしかった。キャンプ場のうしろに見える山岳風景は世界中のどこよりも美しいです。

～ビート・スタイナー

この夏、ベラクーラで大切な人たちと釣りをします。

～シャノン・ランズドーン

ベラクーラでスプリングサーモンを釣って、最高の週末を過ごしました。

～ティンバーキング・ショーン

お願いだから「峠」を舗装しないで。この道も、ここを運転するのも大好きだから、そのままにしておいてください。峠の砂利道を通して、大好きな家族のもとへ、ヌーハルクの土地に帰っていくのが好きだから。

～キアナ・ラニー

ベラクーラのような場所は他にありません。みな親切で、誰でも優しく迎え入れてくれて、そして、自分のことは自分でする町はここだけです。自分の息子もそう育ってほしい。

～マンディL・ルドロウ

ここにいられるだけで幸せ。原始のまま自然が残るすばらしい土地。

～マイク・マエンク、シアウオーター

リバーズインレットは人里離れたコースト地方のさらに奥深く、手つかずの土地にあります。釣りをするには絶好の場所。忙しい現代生活から少し離れてゆっくりしていただきたい。

～バーバラ・ケリー
オーナー

リバーズインレット スポーツ
マンクラブ・フィッシングロッジ 1984



Justin Walker

が北部に枝分かれした人々です。1875年にBC州で水痘が流行すると、どちらのグループの人口も急速に減少し、その結果、病から逃れた人たちが地域の主要な航路近くに一緒に集落をつくらせたことで、こうして隣り合って暮らすことになりました。その後コミュニティは沿岸を運行する汽船に薪を切って売って経済を立て直し、クレムトゥは燃料補給の地となりました。

今日のクレムトゥの経済は漁業で成り立っていて、ほとんどの住民が海岸と1960年代に建てられた当時は北米一の長さを誇っていた遊歩道に沿って暮らしています。コミュニティにはカナダ運輸省管轄の船着き場を中心に、ジェネラルストア、カフェ、郵便局、診療所と燃料施設（船舶用燃料から自動車燃料まですべてに対応）があります。

。しかし、その中心はなんととっても威風堂々としたビッグハウスでしょう。ワタリガラス、ワシ、オオカミとシャチの紋章で飾られたレッドシーダーの建物は、祝いの儀や、伝統的な踊り、記念行事に利用され、古くから続く伝統を今につないでいます。

クレムトゥ周辺の景観はすばらしく、野生動物を観察したり、釣りやカヤックをするのに最適の場所です。カヤック上級者であれば、自ら道具を持参して、フィヨルドの迷宮を探検するもの

よいでしょう。

地元先住民ツアー会社は現代的な建物が印象的なスピリットベアロッジを運営しています。プリンセスロイヤル島とフィヨルドランド・コンサーバンシー海洋公園で、文化を学び、野生動物を観察する環境にやさしいツアーを行っていて、参加者はカヤックに乗って世襲の首長に会い、コースト地方の歴史について教わることもできます。スウィンドル島へは陸路で行けないので、BCフェリーの最新時刻表をチェックするのを忘れなく。バンクーバー、ポートハーディ、キャンベルリバー（ベラベラ経由）からクレムトゥへは、パシフィックコースタル航空が運航しています。

オーシャンフォールズ

オーシャンフォールズは、年間4390ミリの雨量があることから、雨の町として知られています。また、9000年以上にわたってオーシャンフォールズ周辺の沿岸地域に暮らしてきたハイルツック (Heiltsuk) の人々にちなんで、雨の人々の土地とも呼ばれています。オーシャンフォールズは同名の滝の周辺にある人里離れたコミュニティで、プライベートボートか、BCフェリーまたは水上機でのみアクセスできます。リンク湖の崖からカズンインレットへ



と叩きつけるように落ちていくオーシャンフォールズの滝はベラクーラの北西88キロのところに位置しています。

真水が容易に入手できたことから、1912年にはBC州内最大のパルプ製紙工場が建設されました。また、第一次世界大戦、第二次世界大戦時には戦闘機製作に使われたシトカトウヒの需要に応えるため、日本、中国、東インドから多くの労働者がここオーシャンフォールズへとやってきました。工場の全盛期、人口は4000人ほどあり、町は活気に満ちていました。学校、オーケストラ、音楽クラブや劇団、病院、州内最大規模のホテルがあり、1980年に工場が閉鎖する以前、このコミュニティのプールでは優秀な水泳選手たちが練習していたほどです。実際、1948年から1960年代まで、町のスイミングクラブから7人の水泳選手がオリンピックに出場、メキシコオリンピックの400メートル自由型で銀メダルを獲得したラルフ・フットンも、ここオーシャンフォールズで育ちました。また同じスイミングクラブは1962年から1965年のあいだ、カナディアン・ナショナル・メンズ・チャンピオンシップで4年連続優勝しています。

今日、オーシャンフォールズではハイキングや、野生動物を観察したり、淡水釣りや海釣りの両方が楽しめます。町の中央には住民が暮らす区域があり、ボートやBCフェリーで訪れる人たちが立ち寄っていきます。政府管轄の大きな船着き場があり、船舶に必要な真水を補給することができ、宿泊施設も備えています。オーシャンフォールズ行きのフェリーは小さいため、早めの予約をお勧めします。














www.spiritbear.com

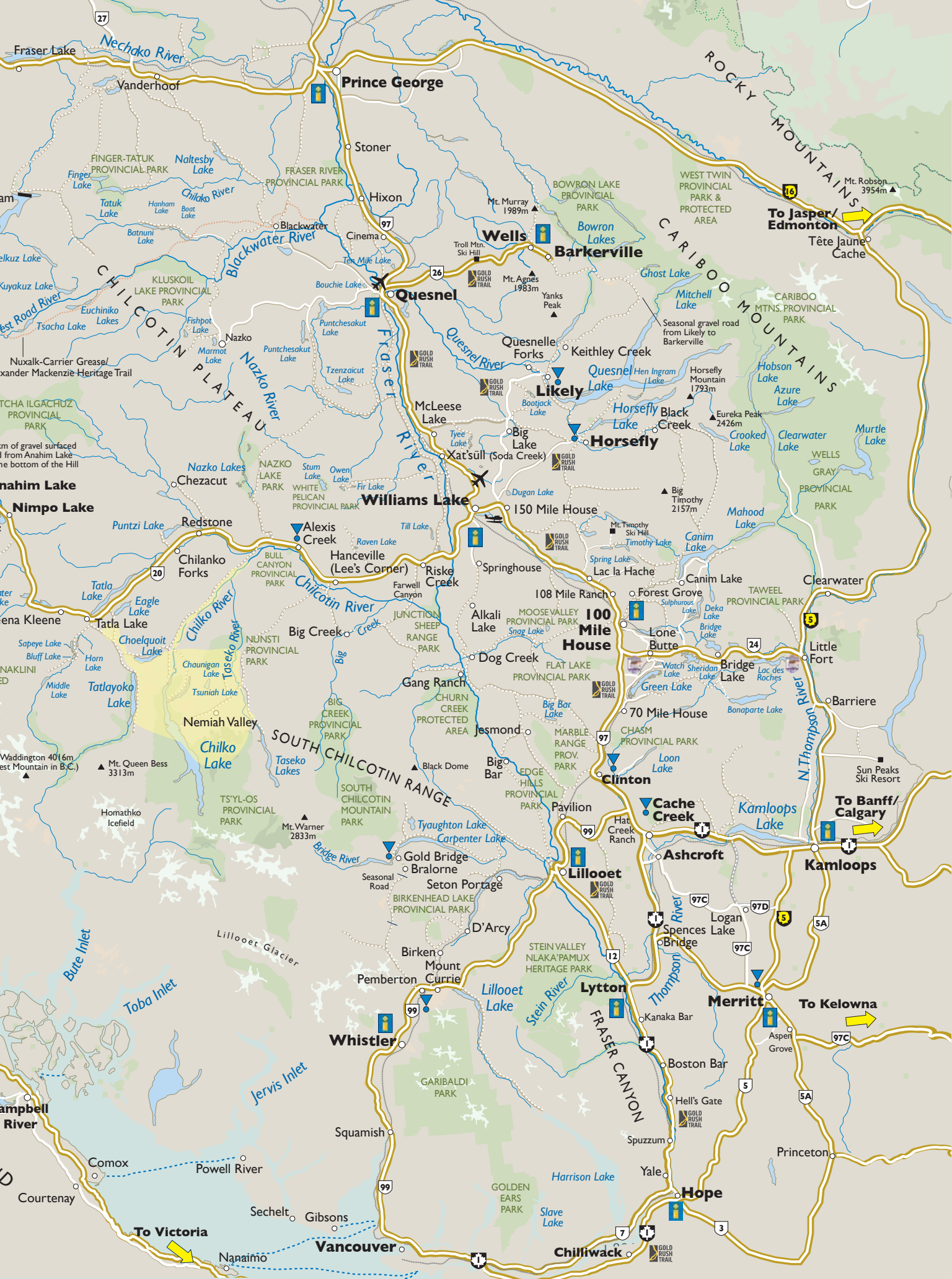
Spirit Bears, Grizzly Bears and First Nations Culture in BC's Great Bear Rainforest

250-339-5644

CARIBOO CHILCOTIN COAST



-  Main Highway
-  Main Road
-  Secondary Roads
-  Railways
-  Ferry Routes
-  Airport
-  Floatplane Base
-  Visitor Centre
-  Info Booth
-  Parks
-  Tsilhqot'in Title area
-  Gold Rush Trail
-  The Fishing Highway



Fraser Lake

Nechako River

Prince George

ROCKY MOUNTAINS

To Jasper/
Edmonton

Barkerville

Quesnel

CARIBOO MOUNTAINS

CHILCOTIN PLATEAU

Williams Lake

Horsefly

Nimpo Lake

Chilanko Forks

100 Mile House

Chilko Lake

Nemiah Valley

Chilko River

SOUTH CHILCOTIN RANGE

To Banff/
Calgary

Clinton

Waddington 4016m
West Mountain in B.C.

Homathko Icefield

Chilko Lake

Chilko River

Chilko River

Chilko River

Chilko River

Chilko River

Chilko River

Chilko River

Chilko River

Chilko River

Chilko River

Chilko River

Chilko River

Chilko River

Chilko River

Whistler

To Kelowna

Lytton

Campbell River

Comox

Courtenay

Powell River

Sechelt

Gibsons

Vancouver

Chilliwack

Hope

Princeton

108マイルハウス

自然が夢を優しく叶えてくれるところ





Geoff Moore



Quesnel & District Museum & Archives



Bella Coola Archives



Geoff Moore



Eric Berger



Geoff Moore

これまで何千年というあいだ、カリブー・チルコーティン・コースト地方には、それぞれが独立した社会を持つさまざまな先住民が先祖代々暮らしてきました。チルコーティン台地にはツェルコティーン(Tsilhqot'in)、フレーザーバレー 南西にはスタットリーアム(St'át'imc)、南部にはインクラカピウム(Nlaka'pamux)の人々が住み、運ぶ民と呼ばれていたキャリアの人々はカリブーとチルコーティンのなかでも、夏は暑く冬はマイナス40度近くまで冷え込み、おもにトウヒが生える針葉樹林が広がる北部地域に、シーフェップムク(Secwepemc)はフレーザー川の東に住んでいました。太平洋沿岸には、ベラクーラバレーにヌーハルク(Nuxalk)、外岸にシムシェン(Tsimshian)、ベラベラ近くの沿岸部にはハイルツック(Heiltsuk)の集落がありました。

たとえば、1793年、冒険家アレクサンダー・マッケンジーは、現地先住民の助けなくして、カリブー北部からベラクーラ近くの太平洋沿岸まで続くヌーハルク□キャリア・グリーストレイルを旅することはできなかったでしょう。このトレイルを使って沿岸地域の先住民は貴重なユーラカン油を内陸部の先住民の毛皮と交換してきました。ニシンのような小魚であるユーラカンから抽出される油が運搬途中でスギの箱から滴り落ちたことで、このトレイルの名前が付けられました。

毛皮交易と金

かつて、沿岸地域の先住民は、まず内陸部の先住民から毛皮を手に入れ、次にそれをを用いて海を越えてやってきたヨーロッパ人と取引をしていました。1800年代はじめ、毛皮商のハドソンベイ・カンパニーがこの地域に交易所を建設し始めると、先住民は毛皮をそこへ直接持って行き、他の物資に交換できるようになりました。

しかし、ゴールドラッシュが始まり、ヨーロッパ入植者がこの地域に住み着くようになると、毛皮交易は幕を閉じ、1800年代半ばには、先住民と入植者との関係性が大きく変わっていきます。新カナダ人である入植者がこの地に定住し、農業、林業、鉱業といった産業を興し始めると、それまで必要最低限の土地だけを利用して暮らしてきた先住民は伝統的な生活スタイルを維持していくことが難しくなっていました。追い打ちをかけるように水痘が流行し、ヨーロッパから入ってきた他の病が相次ぎ、先住民人口が激減すると、これはさらに困難になりました。それでも、幸い入植者と先住民とのあいだで流血事件はほとんどなく、もめ事は起こっても長くは続かず、チルコーティン地方にはこうした事態を平和におさめた当時の首長の名前が、アナヒムレイク、アレクシスクリーク、ネマイアバレーといった地名に残っています。そのうち、チルコーティンとカリブー南部の地域では、先住民の伝統的な馬術、牧畜の方法や、自然のなかでのサバイバルスキルが高く評価され、地域の鍵を握る産業の初期の発展に先住民たちが大きく貢献していきました。

お勧め

ハツアール(Xats'ıil)ヘリテージビレッジでは、フレーザー川沿いで暮らしてきたハツアールの人々の宗教、文化、伝統的な生活について知ることができます。

タックウィオーム(Tuckkwiwhum)ヘリテージビレッジでは、フレーザーバレーの伝説が生まれた地をツアーしたり、サマーロッジ、燻製場、食物倉庫、スウェットロッジ、土窯、堅穴式住居が見られます。

魚の油が木箱から漏れて滴り落ちたため、のちに「グリーストレイル」として知られるようになった交易路、グレートロード別名ヌーハルク□キャリア・グリーストレイルは、フレーザー川を越え、チルコーティン台地から太平洋までを結ぶ先住民の主要行路でした。先住民のホイシュテン(Xwisten)エクスペリエンス・ツアーが企画する賞に輝くツアーでは、ガイドとともにサケを保存するために風にさらして乾かす伝統的な方法を見たり、ホイシュテン(Xwisten)の遺跡で80の堅穴式住居跡を見ることができます。

まもなくベラクーラにヌーハルク先住民が、地域初の先住民のレストランをオープンする予定です。



@Michael Bednar

今日の先住民

カリブー・チルコーティン・コースト地方とフレーザーバレーで暮らす先住民は、今でも農場や牧場を営んで暮らしています。BC州全域を巡るロデオ大会では中心的な参加者で、とりわけ、アナヒムレイク・スタンピード、アルカライレイク、ベラクーラ、レッドストーンのロデオではファンの人気を呼んでいます。また今日の先住民は、地域の漁業、林業、輸送業、観光業にも深く関わっています。BC州の先住民による観光業は、他の州における同業のどれよりも洗練されたもので、今後さらに成長する可能性が十分にあります。その成功例のひとつとして、ウィリアムズレイクの北に位置するフレーザーリバー・バレー沿いの芝生の敷地に建つ、賞に輝くハツツァール (Xhatsull) ヘリテージ・ビレッジがあります。ここでは、シーフエップムク (Secwepemc) とシュースワップ (Shuswap) の人々によるさまざまなツアーやアクティビティが用意されていて、長老による昔語りが行われたり、スウェットロッジと呼ばれる伝統的なサウナのような建物のなかで治癒と浄化の儀式が行われたりします。ガイド付きでウォーキングツアーに参加し、おいしいサケのランチを食べ、堅穴住居や星空の下、ティーピーテントに泊ってみませんか。ハツツァール (Xhatsull) の人々は、乗馬で旅する人が宿泊できるウィスパリングウィロウ・キャンプサイトとソーダクリーク・ハツツァール (Xhatsull) も運営しています。また、ハツツァール (Xhatsull) の人々の本拠地であるソーダクリークには、ハイキングトレイルと、初心者から上級者までのマウンテンバイク・コースがあります。伝統的な体験をしたい人は、ハツツァール・ヘリテージビレッジに問い合わせて事前予約をしてください。

ウィリアムズレイクの近くでも先住民の人々がツアーを行っています。ソーダクリークとはまったく異なる風景のなか、ジェットボートで急流を走り、フードゥーと呼ばれる風変わりな岩柱群を越えた先には古代遺跡があります。8000年から1万年前の象形文様や岩絵、先住民の釣り場跡や廃止された金鉱などを訪ねながら、先住民ガイドから薬草、植物、動物、言い伝えなど伝統的な慣習について学ぶツアーです。また、この地域では1年を通じて先住民のパウワウも行われています。チルコーティン地方のネマイア・パウワウは7月の最週末に行われ、色鮮やかな民族衣装をまとった踊りを見ることができます。ハニグウェティーン (Xeni Gwet'in) のパウワウでは毎年夏に幅広い年齢層の人々が集まり、伝統のスポーツゲーム、昔語りを楽しむほか、長老たちと若い人たちが集まって採集の方法を教え、習い合います。9月初めにはサケがホースフライ川を遡上するのもパウワウで祝います。

ベラベラではハイルツック・カルチュラル・エデュケーションセンターに立ち寄れば、キタソー (Kitasoo) やスウィンドル島のクレムトゥのヘイヘイス (Xai'xais) といった沿岸地域の先住民と同じように、海の恵みで豊かになり、力をつけていったハイルツックの文化や言葉がどう守られているのかを知ることができます。また、ベラクーラ近くのソーセンクリーク・バレーでは、滝や洞窟の近くの岩面に自然の驚異と力を称えた古代の岩絵があります。ヌーハルクのガイド付きツアーで訪れることができます。

ベラクーラのエクサルスタ (Acwosalcta) 小学校では、児童3人と教員によって彫刻され2002年に38年ぶりに建てられた大きなヌーハルクのトーテムポールを始めとするすばらしい先住民アートを見ることができます。先住民アートに興味があれば、世界的に有名なスィルヤス「

アート」サンダースとその息子スキップの作品が展示されている、ベラクーラのペトログリフギャラリーへ行ってみてください。ギャラリーでは、ヌーハルクの人々や他の先住民アーティストによる版画、絵画、彫刻、洋服、アート作品やギフト用品も販売されています。地元の彫刻家で先代から継承して首長になったノエル・プートラスの工房見学も可能なので、スタッフにたずねてください。

ハイキングが好きで歴史にも興味があるなら、ヌハーク□キャリア・グリーストレイル、別名アレクサンダー・マッケンジー・ヘリテージトレイルがお勧めです。全行程に行くには3週間が必要ですが、部分的に歩くこともできます。トゥイズミュア州立公園を横切る80キロの景色のよいコースを歩く場合は、1週間弱の期間が必要です。

詳細については現地の本屋かビジターセンターで入手できるヘリテージトレイル・ガイドブックで確認してください。ベラクーラの北西でグレートベア温帯雨林のなか、キタスとヘイヘイス先住民が企画する数日間かけてボートとカヤックで旅をするツアーでは、人里離れた自然保護地区のすばらしい自然を見ることができ、ロッジでの宿泊も用意されています。

南チルコーティンのリルエットとその周辺は、少なくとも11の異なるコミュニティで成り立っているスタットリーアム(St'át'imc)の人々の本拠地です。現在のリルエットは古くは彼らの集いの場でした。ここではホイシュテン(Xwisten) エクスぺリエンス・ツアーが賞に輝くガイド付きツアーを行っていて、参加者はフレザー川の河原にある「魚を釣る岩」に行ったり、サケを風にさらして乾かす伝統的な保存方法を見ることができます。また、ホイシュテン(Xwisten)の遺跡ではガイドの説明に耳を傾けながら、数千年前にさかのぼる80ほどの竪穴式住居跡を見ることができます。リットン近くのシスカ(Siska)の人々は伝統的な方法で採集、加工した食品や薬を販売しています。セイトーン川下流にある、きれいに修復されたサケのスポーニングチャンネル(産卵のために人工的に作られた水床)では、カユースクリーク・バンドがガイドとともに行くウォーキングツアーを行っています。リルエットのダウンタウンから5分ほどのところ、ティートウケット(T'i't'q'et)のコミュニティによって土と木材だけでつくられたシェ



Blake Jorgenson

シュケンと呼ばれる竪穴式住居跡があります。ひとつの住居にはかつて20人ほどが住んでいました。入り口がふたつあり、ひとつは1階に、もうひとつは屋根についていて、ここは料理した際に煙を外に出す役目も果たしていました。

昔にタイムスリップしたかのようなセイトーンレイク・バンドのカオハムシャトルは、周辺の観光にも便利です。リルエットとセイトーン・ポ

ルテージュのあいだに行く列車は、セイトーン湖の湖岸沿いを走り、線路と湖岸のあいだに残る先住民の墓地などの史跡を通っていきます。チルコーティン北部にある、ナズコにも足を伸ばしてみてください。ここにはシカやムースを使った革製品、ビーズ細工、木工品、ステンドグラス、水彩画、クロスステッチ刺繍などで知られるキャリア先住民アーティストが暮らしています。

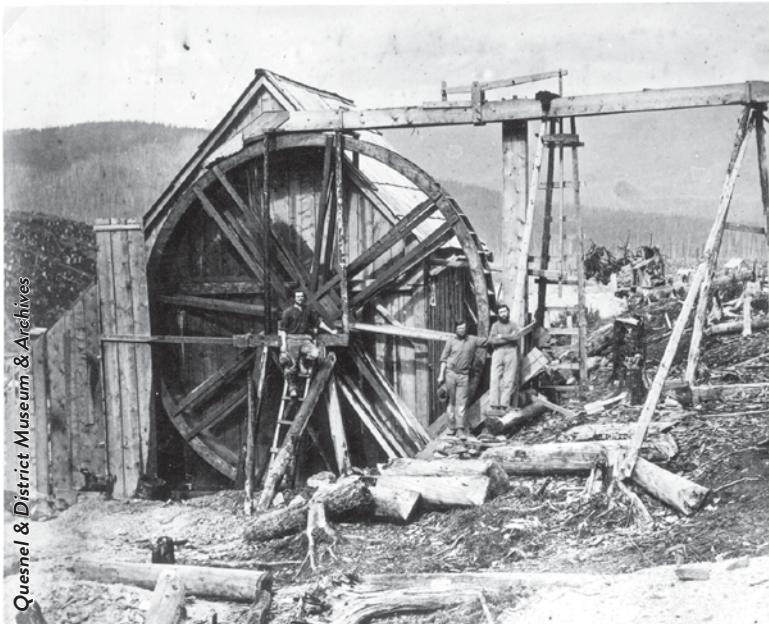
GOING TO A POW WOW?

Attending a pow wow is an opportunity to share a unique and memorable First Nations experience. Watch for highway signboards and local event postings about upcoming opportunities during your next visit to the Cariboo Chilcotin Coast and Gold Rush Trail. The positive energy of a pow wow rejuvenates and inspires, and all are welcome. Visitors are asked only to be respectful of this time-honoured spiritual celebration and to experience First Nations traditions with an open heart and mind.

For some upcoming events information visit [Facebook.com/CaribooChilcotinCoast](https://www.facebook.com/CaribooChilcotinCoast)

Tips

- Listen to the host and follow instructions
- Stand and remove head coverings during grand entry, flag, invocation and closing ceremonies
- Request permission before taking photographs
- Do not record drumming without the consent of the head singer
- Refer to the dancers' clothing as "regalia"; it is not a costume
- Refrain from touching the dancers' regalia
- Do not turn down an invitation to participate, particularly an from an elder
- Note that no alcohol or drugs are permitted



Quesnel & District Museum & Archives



Fran MacPherson



Mary Sword



Bella Coala Archives



Quesnel & District Museum & Archives



Pioneer Log Homes



Queenel & District Museum & Archives

この地域の商業伐採は、1860年代のゴールドラッシュの時に、新興の町づくりのためにカリブー地方で製材所が材木を生産したことから始まりました。しかし、コースト地方にはもっと以前から林業があったと言えます。BC州の先住民は、ときには数家族がともに暮らしコミュニティのような役割も担っていた住居、「ロングハウス」を建てるために、生きている巨大なスギの木から木を枯らさないように板を薄く剥ぐ方法を発展させました。このような「カルチュラリー・モディファイドツリー（先住民が皮を剥いだり模様を入れた木）」はクレムトゥやベラクーラレーで今も見ることができます。

ログハウス建設産業は、この地域に雇用と安定した経済を生み出し、付加価値のある産業としても成功をおさめています。この地域のログハウス建設会社は、映画スターや世界的に有名な政治家、インターネット界の大物から、カスタムメイドのログハウスの依頼を受けたり、パイオニアログホームは、世界各地で放映されている『ティンバーキング』や『カーバーキング』といったテレビ番組で商品が取りあげられています。また、コロラドの出版社経営者でありインターネットビジネス界の大富豪が2800万ドルで購入した世界最大1万0590平方メートルの「木材だけでつくった家」は、カリブーの成功談として語られています。

質のいいトウヒ、マツ、モミ材が豊富にあるため、ここはカナダでも木材生産量が多すぎる地域です。マウンテン・パインビートル（マツ

ノキクイムシの一種）の蔓延によって林業は大きな被害を受けたものの、ムシが侵入して「青色」や「デニム色」になったマツの木材を使い、逆にその色を活かす創意工夫に富んだ活用法が生まれています。また、北米最大級のバイオマス発電を行っているウイリアムズレイク発電所は持続可能な林業を実践しており、54万4310トンの製材所から出る木材廃棄物を用いて年間67メガワットの電力をつくりだしています。

1800年代にカリブー地方で金が見つかるのと、鉱業に後押しされるかのようにBC州内陸部が探検されていきました。現在でも裕福になるのを夢みて、選鉱鍋を使い溪流や細流の砂利のなかに隠された金を探しにやってくる人たちが絶えません。特にリルエット近くのゴールドブリッジは、砂金探しのアマチュアたちが集まる人気のスポットです。この地域にたくさんあるミュージアムには、当時のパイオニア精神を鮮明に捉えた過去の鉱業や林業にまつわる資料や展示があります。翡翠や珍しい石を探したい人は、南チルコーティン、特にBC州初の翡翠採掘場があったリルエットに行くといいでしょう。

その方法は1862年にビリー・バーカーが鉱脈を掘り当てた頃からずいぶん変わりましたが、採掘は続いています。今日、この地方に世界最大の露天採鉱場があり、そのひとつ、マックリース湖近くのタセコズジブラタル銅鉱山はカナダで2番目の規模を持ち、ライクリー近くのマウントポーリー金鉱山では、まだこれから100万オンスの金が採掘できると言

われています。チルコーティン山脈のキャメルズフット・レンジでさらなる金が見つかり、2011年にはブラローン採鉱所が再開しました。フレージャー川沿いとカリブー全域で川の流れを利用した砂金採りの採掘権登記はまだ行われていて、バーカービルの近くやクエネルでは砂金探しアドベンチャーツアーもあります。採鉱所のツアーや林業の作業を見学するツアーをしたい人は、各々のコミュニティにある商工会議所かビジターセンターに問い合わせ、スケジュールを確認してください。

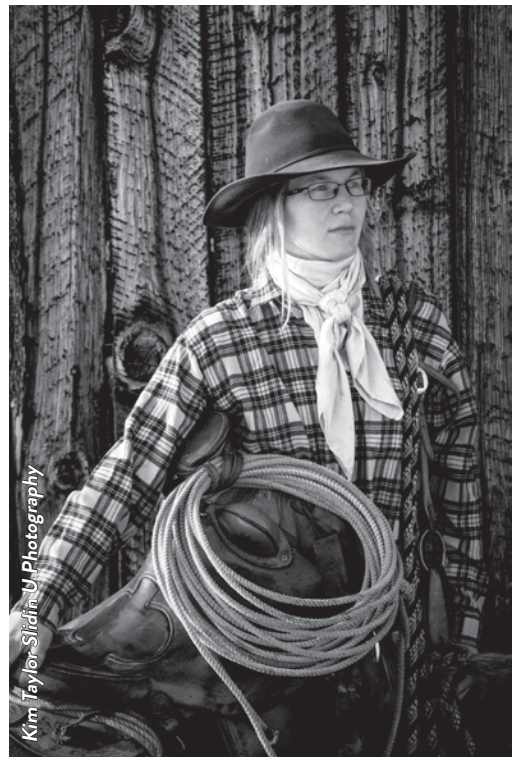
お勧め

フレージャー川の水路に沿って積み重ねられている石の山は、1858年に始まったゴールドラッシュに中国人が深く関わっていたことを表しています。最近になってBC州政府から中国系歴史遺産の指定を受けたこの石の山は、フレージャーの上流西側リットンと、リルエットへと下流を半分ほど行ったあたりで見ることができます。

開拓時代を思い出させる、馬を用いて切り出した木材を森林から運び出す方法は今日では貴重な技術となりました。馬を使った伐採を行うことで、自然への影響を最小限にするだけでなく、植林地を効果的に管理できます。



Quesnel & District Museum & Archives



Kim Taylor Sliding Photography



Museum of the Cariboo Chilcotin



Rocky Mountaineer



Geoff Moore



カリブー・チルコーティン・コースト地方とプレーザーバレーのカウボーイは、メキシカン・カウボーイの技術、道具、服装と、アメリカ辺境開拓者の闘志、機知、先住民の自然への敬意、英国紳士のマナー、法、秩序を合わせ持っていると言われていす。そのうえ、独特のユーモアも持ち合わせています。このような説明をすると、実存するというよりも神話の人物のように聞こえるかもしれませんが、北米のカウボーイは、カリブー・チルコーティン・コースト地方とプレーザーバレーの歴史と文化のなかにロマンチックな偶像として編み込まれています。1860年代に白人の初期入植者がこの地域に住み着き始めると、カウボーイは「家畜の群れを動かす人」として、アメリカから北へ牛の群れを移動させながらバーカービル周辺のコブ労働者に物資を運びました。市場近くで牛を育てたほうが適理にかなっていることに気づいたたくましいカウボーイの男たちは、プレーザー川沿いの草が生い茂る土地に広い牧場をつくりました。こうして今日では、BC州の肉牛の3分の1以上がこの地域で育っています。

開拓時代のカウボーイや家畜を移動した人々の多くは先住民で、婚姻を通じて白人が営む牧場と親戚関係にありました。先住民は馬のすばらしい使い手で、外から入ってきたどんな人よりも土地に詳しく、牧場主も先住民も、毛皮交易

時代に完成された先住民の交易語、シヌークを話しました。北米の他の牧畜地帯と異なり、BC州の先住民は牧畜業における重要なパートナーとして白人と同等に扱われていましたが、これは現在でも変わりません。

カリブーとチルコーティン地方の牧場は、ゴールドラッシュが勢いを失ったあとの苦しい時期を経て、1919年に鉄道が開通すると、人口の多い南部の市場へのアクセスが容易になったおかげで息を吹き返します。当時、活気のない田舎町だったウィリアムズレイクは、パシフィック・グレートイースタン鉄道（現カナディアンナショナル鉄道）の駅が建設されると、たった一夜で輸送の中心地として生まれ変わり、一度に2400頭の畜牛を置いておける家畜置き場ができあがりました。

現在、その駅はアートギャラリーとなっています。また、カリブーとチルコーティン地方では牧畜業が今でも盛んに行われています。厳しい畜産業ですが、現在のカウボーイたちもまた、開拓時代の先人たち同様に時を経ても失われない屈強で自由と独立精神を備えています。カウボーイのロマンが注目されるようになったのは、カウボーイの詩やカントリーミュージックの人气が高まってきた最近です。こういった詩や歌は、BCカウボーイ・ヘリテージ協会が開催する地域のフェスティバルで発表さ

れたり、聴くことができます。また、かつてここでカウボーイをしていたリッチ・ホブソンやパン・フィリップスがカウボーイのライフスタイルを紹介するテレビ番組や本もあります。BC州初の公式なロデオは、地元のカウボーイが1919年に鉄道の建設を祝ってウィリアムズレイクで馬術を披露したものと伝えられています。この地域で盛んなロデオ大会のなかでも必見のウィリアムズレイク・スタンピードには、カナダ、アメリカ、遠くはオーストラリアから集結するプロのロデオ競技を一目見ようと西部劇ファンやロデオファンが各地から訪れます。

お勧め

カオハムシャトルでユニークな列車の旅をしませんか。先住民の小さな集落セイトン・ポルターージュとリルエットを結ぶ列車の旅では、広大な風景とさまざまな野生動物を見ることができます。

州道26号線にあるかつてのロードハウス、コットンウッド・ハウスでは、7月はじめのカナダデーの週末にカナダ150周年記念が行われます。過去にタイムスリップした気分、ライブ演奏を楽しみ、1800年代の生活を体験してみてください。



@ Michael Bednar

クルックドレイク

パドルの音が静かな
湖面に響く





Geoff Moore



Richard Wright



Beverly Evans



Blake Jorgenson



Rob Lloyd



Louise Christie



© Michael Bednar

今から約150年前の1858年、フォートイェール近郊でまとまった金が見つかり、金を夢見て3万もの人々がホープからリレットの少し北までのフレーザー川の河原に集まってきたことで、BC州の未来は決定的に変わりました。さらに、1862年8月17日には、探鉱者ビリー・バーカーが北カリブーのウィリアムズクリークで金鉱脈を探し当てます。金が見つかった知らせが流れると、ゴールドフィーバーはまるで伝染病のように広がり、板張りの家が立ち並ぶ町だったバーカービルは、瞬間にキャメロンタウンやリッチフィールドのような「本物の町」になっていきました。探掘者たちはさらに金を掘り出そうと昼夜を問わず働き、1865年までには、フレーザーバレーから険しい地形のカリブーを経て、BC州南部とカリブーの金鉱地を結ぶ幌馬車を通る主要道路が開通しました。

初期の探掘者や金を夢見てこの地へやってきた人の多くが中国からの移民でした。中国移民者は白人の探掘者が見捨てた金鉱や尾鉱の岩や石に付着した砂や砂利を洗って金を探したあと、石や岩をフレーザー川岸に丁寧に積み上げました。「チャイニーズ・ロックス」として知られるこの石の山は、今でも見ることができます。1860年代半ばまでには、何千人もの中国人がバーカービル、スタンリー、バンウィンクル・クエネルアントラ、クエネルフォークス、リットン、アッシュクロフト、リレットといったゴールドラッシュで興った町に住み、中国人金鉱者だけでもカユーシュクリークから何百万ドルという金を採掘しました。また、中国移民者は金鉱だけではな

く、町の小さな店、ランドリー、下宿を営んだり、コックとして働いたり、今ではBC州にたくさんあるチャイニーズ・レストランを開きました。チャイニーズレストランはさらに僻地のコミュニティにもできて、中国人経営のジェネラルストアと並んで、歴史家がBC州の小さな町の歴史文化を調べる際には必ず参考にされます。

1930年代、チルコーティン山脈で再びゴールドラッシュが起こり、ゴールドブリッジ近くのブラローン□パイオニア金鉱山ではカナダでもっとも多く金が採掘されました。今日、ブラローン金鉱山も、カリブーゴールド・クォーツ鉱山の企業城下町だったウェルズ金鉱山も見学ができます。

100マイルハウスには、今世紀最後のバーナードエクスプレス・カンパニーの駅馬車が展示されています。2013年に創立150年を祝ったクリントンでは、かつては学校の校舎、のちに裁判所となった鮮やかな赤レンガの建物のなかにミュージアムがあり、古い馬車や荷馬車などを見ることができます。108マイルランチ・ヘリテージサイトには、1908年にクライズデイル馬200頭を置いておくために建てられた木造小屋をはじめとする開拓時代の建物が保存されています。ゴールドラッシュの時代、物資補給の中心地だったクエネルに出かけるなら、7月に4日間かけてもっとも有名な金鉱者ビリー・バーカーを記念して行われるビリーバーカー・デー・フェスティバルにぜひ行ってみてください。イェールとハットクリークの歴史遺産では、先住民の歴史を詳しく知ることができます。ゴールドラッシュ・トレイルの終着点、

カナダ国指定歴史遺産でもあるバーカービルで、ガイド付きツアーに参加すれば、ゴールドラッシュの歴史が蘇ってくるでしょう。

実際に金を見つけて富を得たのは一握りの人たちだけでしたが、初期の開拓者たちのおかげで、BC州の初期の道路、鉄道、橋ができあがり、牧畜業や材木業が発展してきました。ニューウェストミンスターからバーカービルまでのあいだには、ユニークなアクティビティがたくさん揃っています。ハイウェイでゴールドラッシュ・トレイルの標識を探してください。フレーザー川でラフティング、溪谷でハイキング、大自然のなかに何百とある湖で釣りをしたり、ミュージアムや歴史跡を訪れ、砂金採りにもチャレンジしてみてください。

お勧め

ゴールドラッシュ・チャレンジ□コードを探して、デジタルカードを集め、ゴールドラッシュ・トレイルの歴史を学びましょう。賞品も用意されています！

ゴールドラッシュ・トレイル・クエスト□バーチャルリアリティ、スカベンジャーハント、トリビア……ゴールドラッシュ・トレイルクエストは子供も大人も楽しめるアクティビティで、時代を遡ってゴールドラッシュ時代の生活を体験することができます。



Richard Wright



Boomer Jerritt



Tom Ryan



Clare Levy



Eagle Wing Tours/Clint Rivers



Grant Harder



Destination British Columbia

世界最大規模の手つかずの内陸性温帯雨林で、絶滅に瀕する森林系が果てしなく広がっているグレートベア温帯雨林は、6万4000平方キロメートルの地区内に世界最古の樹々や先住民の古代歴史遺産があり、その多くがこの地域特有の、数千種類の植物、鳥、動物が棲息しています。

先住民、ツアーオペレーター、自然保護団体、そして住民が一丸となって取り組んでいるグレートベア温帯雨林の保護運動により、サケが遡上する川が流れる多くの渓谷を含む地域の約30パーセントが現在さまざまな保護基準によって守られています。保護地区の森林には、オグロジカ、マリンウルフ、グリズリー、クロクマ、白い毛をまとったクロクマの一種で先住民にスピリットベアと呼ばれる神聖なクマの合計3種類のクマが棲息しています。グリズリーとスピリットベアを見に行くツアーは、いくつかのコースト地方の先住民コミュニティにとって重要な経済源になっています。

スミスサウスからプリンセスロイヤル島までの海域であるグレートベア・シーは、さまざまな生態系で知られ、絶滅の危機に瀕するザトウクジラ、北方定住型シャチ、移動型シャチ、ネズミイルカ、アザラシ、アシカと何十種類ものウミドリにとっての貴重な棲息地となっています。クレムトゥの北東にある数々の入江のさらに奥深くに位置するグレートベア・フィヨルドランド・コンサーバンシーは、こういった生物の保護区域です。コンサーバンシーに

点在する自然なままのビーチのなかでも、特にレディダグラス島近くのビーチはその美しさで知られています。また、この自然保護地区内には、カインックインレット、マッセルインレット（2つの入江は氷河によって削られたフィヨルドで、花崗岩の断崖の高さは1000メートル）とヒギンスパッセージがあり、網の目のように入り組んだ海峡、迷路をつくるかのように散らばる島々、曲がりくねった水路、連なって流れる滝の合間には、先住民歴史遺産がひっそりと佇んでいます。

ベラクーラ周辺の無数の入江や小さな洞窟、海峡では、シーカヤックや野生動物観察が楽しめます。ここから南に位置するナムの10キロ西には、12万3000ヘクタールのハカイ・ルックスバルイーズ・コンサーベーション・エリアがあり、白砂ビーチは散歩やキャンプに最適で、周辺の入り組んだ海岸線と小さな島々が寄り添うようにそこそこに集まる海域では、コースト地方でも他では味わえない最高のシーカヤックができます。ハカイ・インスティテュートは、BC州の人里離れた地域の科学的な長期調査を行う研究機関です。カルバート島の87ヘクタールの土地にある研究所の野外ステーションは、BC州沿岸における最大規模の海洋保護組織であるハカイルックスバルイーズ・コンサーバンシーの保護区域のなかにあります。1年の大半吹き荒れる北極風とハリケーン級の嵐がこの地を形づくってきました。その美しいビーチ、すばらしい風景、豊富な潮間帯生物があること

で、何千年ものあいだ、夏になると、このカルバート島に人々が集ってきたのです。

お勧め

歴史あるグレートベア温帯雨林を保護する取り決めは「世界への贈り物」ともいえます。BC州のグレートベア温帯雨林を保護する2016年の取り決めによって、海岸沿いの森林域の85パーセント（3100万ヘクタール）は、伐採から永久に守られることになりました。これにより、動植物の貴重な棲息環境が壊されることなく、また、将来何世代にわたって人々にこの地の自然を楽しんでもらえるようになったのです。

世界最大級のキングサーモンが棲息するリバーズインレットで、オペレーターと一緒に、ギンザケ、カラフトマス、シロザケ、ベニザケ、キンムツ、スティールヘッド、巨大なオヒョウを釣ってみませんか。

ディーン川は世界にその名を知られたスティールヘッドの釣りスポットです。現地のロッジやガイドによる釣りツアーに参加して、一生に一度の大物を釣り上げる夢を叶えてみませんか。



Geoff Moore



@Michael Bednar



Geoff Moore



Karl-Hans Kern



Quesnel & District Museum & Archives



Cameron L. Martindale/Getty Images

© Michael Bednar



最新のテントやギアを使って自由度の高い旅を楽しみたいアウトドア派も、まるで家にいるように心地よいRVで快適なドライブをしたい人にもお勧めなのが、カリブー、チルコーティン、コースト、フレーザーの4地方です。BC州でも際立って美しく、多種多様な生態系を反映するユニークな風景が特徴的なこの地方には、目的地に至る道中にもいろいろな観光スポットがあり、密度の高い旅行をすることができます。

荒々しく広大なトウイーズミューア州立公園は、先住民であるヌーハルク（Nuxalk）とキャリア（Carrier）の人々が先祖代々住んできた土地の中心部、コースト山脈のなかにあります。ここには4つの異なる植生域、車で行くキャンプ場が2カ所あり、人里離れたバックカントリーでもキャンプができます。コースト地方の1万5000キロにおよぶ自然のままの海岸線には、少なくとも6つの海洋公園を含む自然保護区や生態系保護地があり、ベラクーラ渓谷のハーゲンズボグでは、RVで旅行する幅広い年齢とあらゆる身体能力の人たちにも楽しんでもらおうと、地元の観光業者が自然保護トレイルを整備しています。

チルコーティン川をはさむブルキャニオンのインタープリティブ・トレイルを歩けば、川岸の崖に、先住民にとって大切な洞窟群を見ることができます。西チルコーティンのニンポ湖とアナヒム湖は、ニジマスの宝庫です。軽飛行機によるガイド付き空中観光ツアーでは、ハンレン滝、モナーク氷河、レインボー・マウンテンなど、半月を描くように広がるチルコーティン・アーク地域のすばらしい景色を一望することができます。軽飛行機ツアーは現地のRVパークや釣り客が泊まるロッジなどが手配してくれるので、問い合わせてください。プンティレイク周辺にはよく整備されたキャンプ場があり、

ヒメマス釣りに最高です。70マイルハウスの北東に位置するカリブーのグリーンレイクも施設が整っており、澄み切った湖でのんびりと泳いだり、他にもいろいろなウォータースポーツが楽しめます。ラック・ラ・アシェでは、州道97号線沿いにある私営・州営のキャンプ場から湖へのアクセスが可能です。

静かな時間を過ごしたい人には、ローンビュートに近いハサウエイレイク、ホースフライからアクセスできるウィリアムズレイクの東岸、ケネルレイク付近にある自然公園がお勧めです。ウェルズやバーカービルにも近いケネルの東を含めると、この地域には65もの私営・公営のキャンプ場やRVパークがあり、選択肢に困りません。バウロンレイク州立公園では、世界有数のカヌー周遊コースをたどりながら、ダイナミックなカリブー山脈の景観を楽しんでください。近くのアウトフィッターからカヌーやカヤックをレンタルすることができます。また冬場には、凍結した湖をガイドと一緒にスキーで移動していくツアーもあります。バウロンレイクへの水上飛行機によるフライトサービスは、年間行われています。

ホープからキャッシュクreekへと至るトランスカナダ・ハイウェイは、フレーザー渓谷を抜けていきます。雄大なフレーザー川に沿って走るこのハイウェイをドライブしながら、ホワイトウォーターラフティングに挑戦したり、美しい州立公園を訪ねたり、ポストンパー、リットン、リルエット、スペンシズブリッジ、アッシュクロフトなどのコミュニティで、先住民の歴史や文化に触れたり、ゴールドラッシュ・トレイルを体験してみてください。また、ジオキャッシングで隠されたキャッシュを探せば、思いがけない大自然の景観も一緒に発見することができるはずです。キャッシュのひとつ

——見つけた人が記録を残すためのログブックと鉛筆が入った金属の筒——はベラクーラに近いクレイトンの滝に隠されています。ライクリーでは「子どもにぴったりの宝物」が、昔、わな猟師が集まったところで、現在は古い機械が展示してある場所に隠されています。ジオキャッシングの宝物もいろいろありますが、なかでも特におもしろいのはゴールド・カウンティのジオツーリズム・プログラムでしょう。ジオキャッシングは、リルエットから南カリブー全体に隠されています。また、最近、西チルコーティンで始まったフリーダムハイウェイ・シリーズは、ジオキャッシング愛好家のあいだで特に人気を集めています。

お勧め

州道20号線から北に32キロのナズコ・ロード沿いに位置するナズコレイク州立公園は、カヌー、フィッシング、キャンプ、野生動物の観察といったいろいろなアクティビティができるところとして知られています。広大な湿地にはムースやビーバーなどの水辺で棲息する動物が多く、素朴なキャンプ場に泊まりながら本当の自然を味わうカナダならではの体験ができます。

マフッド湖西岸にある静かなキャンプ場は家族向けで、釣りのスポットでもあります。この湖はウェルズグレイ周辺で唯一、氷河から水が流れ込んでいない湖なので、泳ぐにはもってこいの水温です！



Geoff Moore



Eric Berger



Ray DeCenzo



Eric Berger



Ray DeCenzo



Geoff Moore



ツーリングバイクの座席から眺めるカリブー・チルコティーン・コースト地方の風景は、また格別です。自然が目の前に迫る道路を走れば、通り過ぎる風景、風や空とバイクのすばらしい一体感が味わえます。深い森と無数の湖、風にそよぐ黄金色の草原、赤茶けた岩の峡谷やねじくれた岩柱など、刻一刻と表情を変える多様な風景を、たくさんのライダーがカリブー・チルコティーン地方のツーリングの魅力に挙げています。切り立った崖、壮大な雲海、谷底に向けて降りる長い坂道が、そのすばらしい景観にアクセントを加えます。また途中一息つけるよう、多くの道路には見晴らし用の休憩地が設けられています。

この地方では、どのルートを通っても異なる風景と出会えます。ダイナミックな景観が特徴のトランスカナダ・ハイウェイは、切り立った岩崖や、轟々と流れるフレーザー川から何百メートルもそそり立つ岩棚を抱き込むようにして溪谷を抜ける道路です。一方、南カリブーの州道24号線（フィッシング・ハイウェイ）は、古い農園や牧草地のあいだを通り、100を超える湖を縫って、宿泊地のゲストランチやリゾートへと続いています。長いドライブのあとにのんびりと釣りをしながら休むには、最高の場所です。クェネルからパークービルに至る北カリブーの州道26号線は、木の香りがする風が心地よい、急カーブが続きます。道中、修復された「ロードハウス」と呼ばれる古い宿屋、メキシカンヒル、ロバーズ・ルースト、ブレッシングの墓、デビルズキャニオンなど、ゴールドラッシュ時代の歴史がわかる

スポットをいくつも通ります。対照的に、州道20号線は、ウィリアムズレイクからチルコティーン台地を経て、西海岸のベラクーラへと至る「ビッグスカイ・カントリー」を横断する一本道です。小さなコミュニティや古めかしいジェネラルストアが点在する雄大な景色のなかを抜けて走る道路は、全長456キロのあいだに信号がひとつもありません。

ライダーにとってうれしいのは、この地方の交通量の少なさです。ひとたび幹線道路を外れると道路を走る車はほんのわずかで、スピードを落とすのは、ごくたまに通るRVやトラックと行き違ふときだけです。原野のなかをゆるいカーブを描いて続く道路は、風に乗ってドライブしているように心地よく、車とすれ違ふより、クロクマ、シカ、ビッグホーンシープ、シロイワヤギ、ワシ、ナキハクチョウなどの野生動物に出会うチャンスのほうがずっと大きいというのも特徴です。また、デュアルバイクのライダーには、広い地域に及ぶ未舗装道路のネットワークはたまらない魅力でしょう。すれ違ふ車もほとんどないバックカントリーの砂利道は、ヘアピンカーブや眺めのよい上り坂が続き、ライダーを人里はなれた湖、きらめく滝、ぼつんとたたずむ山の頂へと導いてくれます。どのルートを選んでも、普段でできない体験が待っています。乗客はカウボーイと穏やかに鼻を鳴らす馬ばかりというビッグ・バー・フェリーに乗って川を渡ったり、コースト山脈の最高峰ウォディントン山や広大なホマツコ氷原を上空から見物する水上飛行機ツアーも、この地方ならではの体験です。親切な地元の人か

ら、ニジマス釣りの秘密のスポットや、カプチーノがおいしいカフェなどを教えてもらうのも、旅の楽しみです。評判のよいウェルズのダイナー、ベアーズ・ポー・カフェや、スペンシズブリッジで有名なバイクが集うバー、ログ・キャビン・パブ（入り口に「急ぐ気持ちはドアのところに置いてきてください。この店ではくつろいでいただきたいのです」と書かれた看板が掛かっています）など、地元の人しか知らない店に案内してくれるかもしれません。

お勧め

デュアルバイクのライダーには、ジェスモンドからドッグクリークやフレーザー川を越えて北のギャングランチへと続くクリントン・パビリオン・ロードがお勧めです。ここからは、アルカライ湖を通ってそのまま北に進み、ウィリアムズレイクへ向かうか、ギャングランチを通ってチルコティーンのさらに先へ行くふたつのルートがあります。スペンシズブリッジから8号線に乗り、97C号線の合流地点から北上し、ローガンレイクを通って曲がりくねった山道を通ってアッシュクロフトまで行くコースは、広域を周回しながら目を見張る景観が楽しめる、究極のツーリングコースと言えるでしょう。

チルコーティン台地

ぎっしり冒険が
詰まった一日を
過ごして





Geoff Moore



Scott Horley



Grant Harder



John Wellburn



Scott Horley



@ Michael Bednar

北米のマウンテンバイク愛好家たちに言わせると、ここは「カナダのマウンテンバイクの未公認首都」です。なぜなら、遊びで軽く乗るライダーからアドベンチャー指向のフリーライダーまで、この地域がありとあらゆるレベルに対応する限りない可能性を秘めているからです。地方の特異な地形を利用した質の高いトレイルには、川床、荒々しい峡谷、山々、伐採道路、急坂、傾斜台、幅の狭いシングルトラックなど、多種多様なチャレンジがあり、ユニークなマウンテンバイクの体験ができます。ひと夏のあいだ、一度も同じ場所を走ることなく過ごすこともできるのです。レッドブルが2012年にリリースした『Where the Trail Ends—トレイルが終わるところ』は、フレーザー川とチルコーティン川の峡谷壁を含む世界5カ国の未踏の地域を探索するフィルムで、究極のフリーライドを披露する世界トップクラスのライダーのひとりとして、ウィリアムズレイクのジェームズ・ドーリングが登場します。

クェネルには、ベーカークリークの眺めと谷に点在する岩柱がおもしろい「ピンズ」という、急カーブと傾斜が続くコースがあり、地元では「流れる」ライドと呼ばれています。クェネル・アドベンチャースキルズ・バイクパークは、フリースタイル用、パンプトラック用、子供用のゾーンを備え、あらゆるレベルの人が楽しめます。ウェルズとバーカール地域では、静かな湿地を走るならだかな木道トレイルから、すばらしい景観の高山を1日がかりで訪ねる山岳アドベンチャーまで、BC州のなかでも桁外れの体験ができるトレイ

ルが揃っています。バイク雑誌によれば、ウィリアムズレイクは北米の「マウンテンバイクの理想郷」。街の周辺には200以上のトラックやトレイルがあるので、磨きたい技に合わせたコースが必ず見つかります。「アフロ」はウィリアムズレイクの街で一番人気のあるトレイルで、気持ちのよいダウンヒルが経験できるほか、軽いライディングトレイルも多く、何時間でも楽しめます。ボイタニオ・バイクパークは、4ヘクタールの敷地に6つのジャンプライン、ポートレイル、ログワーク、パンプトラック、ドロップゾーンを備え、この種のバイクパークではBC州内陸部最大です。

100マイルハウス周辺では、何百キロにもわたって標示付きや標示なしのバックカントリートレイルが台地を交雑するように広がっており、108マイルハウス・ランチや町の中心部からアクセスが可能です。センチニアル・パークから始まるトレイルはスキーヒルにつながっていて、近くの丘陵地へと続くルートにも簡単にアクセスできます。街の南、99マイル周辺のトレイルは、軽く走ったり、難度の高いシングルトラックに入って冒険したりと自由にルートを選べ、あらゆるレベルと広い年齢層に対応しています。

カリブー・マウンテンバイク組合はウェルズ、クェネル、ウィリアムズレイク、100マイルハウスとその周辺のマウンテンバイクのトレイルを積極的に宣伝しています。この地域にはどんなレベルにも対応したトレイルが揃っているので、バイカーにとってはまさにパラダイスです。南チルコーティンでは、高山帯や亜

お勧め

全長16.4キロのハンレン滝トレイルを2日間かけて進むとカナダで第3位の落差を誇るハンレン滝へたどり着きます。足元からこの壮大な滝を眺めたい人は、スイッチバックで急勾配を登らなくてはなりません（でも、すばらしいハイイクです！）。ターナー湖ではキャンプも可能です。

カリブー・チルコーティン地方には、手つかずの自然、魚の産卵域、歴史遺産などへつながる、カナダ有数のトレイルネットワークが広がっています。たとえば、ゴールドラッシュ・トレイルのコットンウッド・ハウス跡の3.5キロのトレイルを行けば、ゴールドラッシュの歴史に触れたり、コットンウッド川の景色を楽しむことができます。

リットン周辺では、スタインバレー・インクラカップピュム・ヘリテージパークのストライエンクワーク、リジークリーク、ブルムフル、ブロードアウンパスなど、文化的にも自然もすばらしいトレイルがあります。

マウンテンバイクのトレイルも数多く、選ぶのに迷ってしまうほどです。カリブーマウンテンバイク組合は、あらゆるレベルの人が楽しめる、カリブー地方の山や丘を走る多種多様なトレイルを宣伝しています。ウェルズからリットンにかけては、さまざまな地形や挑戦しがたいのある障害コースがあり、世界クラスのライディングを体験することができます。



高山帯の草地を通り美しい湖を周回する、気持ちのいい草原ライディングができます。26キロのシングルトラック、ガンクリーク・ルートは、ポプラやハコヤナギの混在する針葉樹林を抜ける標高の高いルートです。サウスタイオートン湖の28キロコース、テイラーピアソン・ループとウィンディパスに続く44キロコースのハイトレイル・ループも人気です。バックカントリーの冒険をしたいマウンテンバイカーには、水上飛行機やヘリコプターでルートに入ったり、荷馬やガイド付きのツアーもお勧めです。

グレートベア温帯雨林のある中部コースト地方は、のんびりと二次雨林を通り抜けるスヌーカ・トレイルシステムがあります。ゴールでライダーを待つのは、パーガトリー展望台から見える高山帯のすばらしい景色です。ベラクーラとハーゲンズボグのあいだには、さまざまな難度のトレイルがいくつもあります。イースト・ループトレイルは5.5キロの初級向けで、上昇度もわずか50メートルです。ウエスト・トレイルは中級向けで、上昇度は片道3.8キロのあいだに500メートルもあります。こうしたトレイルは、原野のなかの他のルートにリンクしており、そこからベラクーラバレーのバックカントリーに入ることも可能です。

この地方では、ハイキングやウォーキングも楽しめます。リルエット周辺には、景色がよく、ゴールドラッシュ時代の歴史に触れることのできるハイキング用のトレイルがたくさんあります。リットンのスタインバレーには、日帰りで行くハイキングのほか、週末を使って、または1週間をかけてトレッキングができるコースもあります。クリントンに近いマーブル・レンジは、石灰石の大地がつくるカルスト地形、こんもり茂った木立、亜高山帯の尾根が美しく、アマチュア地質学者は「トポ」と呼ばれる図幅地形図を持って訪れます。108マイル・ランチ周辺のセバレイクス・トレイルは、多くの水鳥が集まる入り江や潟湖を通して曲がりくねる11.3キロのコースです。カニム湖では3つの滝の眺めがすばらしく、ホエール湖では4キロのハイキングトレイルの終点で釣りをすることができます。家族向けのハイキングには、ウィリアムズレイクのリバーバレー・トレイルやクエネルのリバーフロント・トレイルがあります。バーカービルに近いマウントアグネス・トレイルは、カリブー・ワゴンロードだったところからサミットロック下の、野花が咲き乱れる高山帯草原まで続いています。チルコーティンのチャイカザン-ヨーヘッタ・トレイルは、人気のあるバックカントリーの12キロコースです。このトレイルは、スペクトラムパスと美しいドロシー湖を通して、チャイカザンとヨー



Elaina Rabin

ヘッタバレーを結んでいます。足に自信のあるハイカーは、トウイズミュア州立公園のヌーハルク-キャリアー・グリーストレイル/アレクサンダー・マッケンジー・ヘリテージトレイルを歩いてみてください。420キロに及ぶこのハイキングには、通常25~30日を要します。一方、都市部でクライミングを楽しみたいなら、ウィリアムズレイクのエスラブラフに44のルートがあります。ハンレン滝はロープを使う本格的なコースで、チャレンジ性の高いルート、ボルダリング、シングルピッチ（ロープ1本で登って降りられる高低差）など、「簡単」（5.6）から「ちょっとドキドキ」（5.11+）まで自分に合った難度とスタイルが選べます。また、ベラクーラには、ナインピッチのエアポートウォール（5.9-10+）があります。最近人気が高まっているヘリハイク

や登山は、地元のオペレーターが手配してくれます。BC州の最高峰4016メートルのウォディントン山を始め、3000メートル級の山が連なるコースト山脈には、世界中から登山家がやってきます。氷の壁を登るアイスクライマーなら、まずマーブルキャニオン州立公園のクラウンレイク・フォールズの、カーレッカー・ガリーと、ファイブピッチの壮大なトクンボールを目指すでしょう。アイスクライミングはリルエットの西側、セイトン・ポルタージュからアンダーソン湖の西側に33キロ続くダーシーアンダーソン・レイクロード沿いでも盛んです。カリブー・チルクーティン地方では、車椅子でのアクセスを拡大するため、2014年にハリスレイク、チャムクリーク、インターレイクス・ローモビリティ・トレイル、99マイル・アクセシブルトレイルの4つの新

しいトレイルが設けられました。緑豊かな森林を通るこれらのトレイルには、湿地や100マイルハウス、ステフェンソン湖、ノルディック・ビーンストーク・キャビンサイトを見渡せるいくつもの休憩スポットがあります。2015年にオープンした108レイク・アクセシブルトレイルは、出発点の108マイル・ヘリテージサイトから、108レイクやそれにつながるセパレイクスにも行けるよう、利用者のさまざまな可動レベルに対応しています。これらのトレイルは傾斜もなだらかで、全長7キロの行程ではさまざまな水鳥を含む野生生物が見られます。トレイルに沿って、ふたつの屋外トイレ、ピクニックテーブルが3カ所、ベンチもある休息所が10カ所あります。



Robert E. Moberg Films



Geoff Moore



Robert E. Moberg Films



Richard Wright



Thomas Drasdauskis



Robert E. Moberg Films



@ Michael Bednar



Getty Images/Flickr



Thomas Draschusks

ゾディアックツアーで自然がそのまま残る太平洋岸の入り江へ、希少な草原の生態系のなかで野鳥を観察、サケの群れる川でのスノーケリング、四輪駆動車で行くオフロードツアーでシロイワヤギの棲息地へ、馬に乗ってバックカントリーへ、カヌーに乗って動物観察……。ここは、カリブーのシロイワヤギから沿岸のシャチ、そしてチルコーティン地方のカリブーやプレーザーバレーのビッグホーン・シープと多種多様な野生生物の宝庫です。カリブー・チルコーティン・コースト地方とプレーザーバレーでは、移動するに従って、出会う野生生物の顔ぶれが刻々と変わり、まるで柵のない野生動物保護区にいるかのように感じられます。でも、どこで、どのようにヘラジカやカリブーに出会えるのでしょうか？川辺で魚を獲るグリズリーを見かけるなんて、よほどの幸運でしょうか？危険はないのでしょうか？この地域のエコツアーのガイドやアウトフィッター、自然学者はこうした疑問に向き合い、人間にも、野生生物とその棲息環境にも最小限のリスクで、訪れる人がみな楽しめるよう心を配っています。また、経験豊かな公認ガイドは、専門知識に基づいて、いつどこで特定の種に出会う機会があるか、こうした野生生物を観察する理想的な方法はないか、宿泊施設やどの程度のガイドが必要かなどの相談に応じてくれます。この地域では、ウォーターフロントに建つ高級ロッジに宿泊しながら野生生物の観察を楽しむこともできます。行き違うのはワシ、オオカミ、イルカ、クジラだけというのは、最高の贅沢です。鳴き鳥が集まり、カワウソ、ミンク、キツネ、シカなどが食べ物を探しにやってくるベラクーラ川やアットナ

ルコ川では、地元の生物学者がラフトによる環境に優しいツアーを行っています。カワセミ、タカ、フクロウ、アメリカムシクイ、キツツキなどが棲息するカリブー山脈のバードウォッチング・ツアーには、鳥類学者や愛鳥家も参加します。ウィリアムズレイクのスカウトアイランド鳥類保護区では、珍しいモモイロペリカン、ハクチョウ、鳴き鳥などを見るセルフガイドのツアーができます。高地でカリブー、シロイワヤギ、オオカミの痕跡をたどる、ラバに乗ってのトレッキングも自然に優しいオプションとして人気です。チルコーティンの人里離れたヨーヘッタ原野は、シロイワヤギ、ビッグホーンシープ、ボブキャット、クズリーの棲息地であるばかりでなく、カナダ最後の野生馬の群れがいる場所のひとつでもあります。リルエット周辺のカリブー地方南部は、風に刻まれ、太陽に灼かれた砂漠のような大地にガラガラヘビやプレーリードッグが棲み、大空に獲物を求めるワシが舞うところ です。

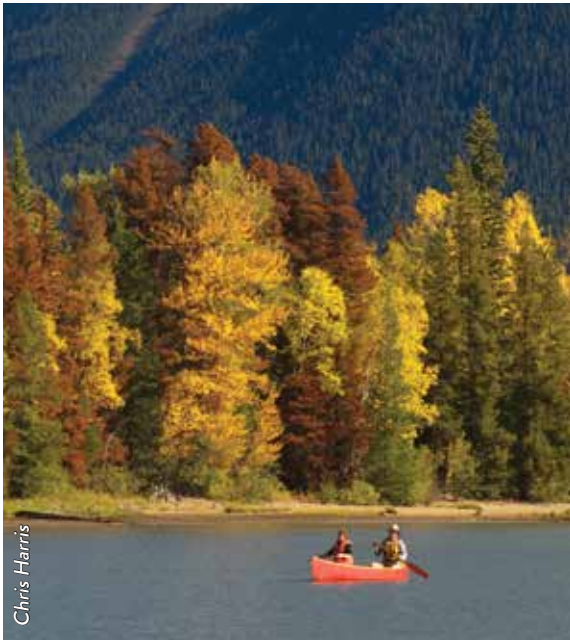
BC州は、中部コースト地方、チルコーティン山脈、カリブー台地北東部原産のグリズリーが集中して棲息する、世界三大グリズリーウォッチングのスポットのひとつです。資格を持ったクマの専門家が、グリズリーやクロクマの棲息地である、これらの地域の岩だらけのフィヨルドや入り江、草の生い茂った河口や川辺にツアー参加者を案内し、クマの社会階層やボディーランゲージについて詳しく説明してくれます。クマの見学方法は、道路から眺めたり高地へ出かけて観察したりするほか、1日あるいは数日かけてガイド付きで川下りをしながら、グリズリーがサケを

補食するところを写真に撮るツアーなどとさまざまです。グレート・ベア温帯雨林には、世界でただ1カ所、スピリットベア（精霊のクマ）と呼ばれる毛の白いアメリカクロクマが棲息しています。

お勧め

9月後半のBCリバーズデーには、ホースフライリバー・サーモンフェスティバルが催されます。産卵するサケが川に戻ることを祝うこのフェスティバルは、サケの生態のプレゼンテーション、水産海洋省のキオスク、あらゆる年齢が対象のアートやクラフトづくり、トレイル散歩、先住民のおいしいパノック販売などの催しでにぎわいます。また、西チルコーティン地方のイッチャ・イラガチュズ・マウンテンカリブーは、北アメリカ最南に棲息する群れです。アナヒム湖北の山々に棲むこの希少な種は、遺伝子的には後退する氷河とともに移動していた種にまでさかのぼると言われています。

世界屈指のベアウォッチングのスポットであるこの地方では、沿岸のフィヨルドから内陸の山系と、さまざまな環境に棲むクロクマ、グリズリー、スピリットベアを見に行くことができます。また、経験豊かなガイドや自然学者といっしょに川下りや空の旅を楽しんでください。



Chris Harris



@Michael Bednar



Chris Harris



Lisa Richardson



Echo Valley Ranch & Spa



Geoff Moore

@ Michael Badnar



爽やかでのんびりした夏のカリブー・チルコーティン・コースト地方とプレーザーバレーには、ウォータースポーツもスパもゴルフもすべて揃っています。水泳、ウォータースキー、ウェイクボーディング、カヌー、ただボート遊びを楽しみたい人にとっても、湖と川がカナダでもっとも密集しているこの地域は、地上の楽園です。特に、南カリブー地方のグリーンレイクは、泳いだり、ウォータースキーをする人たちに人気があります。チルコーティン地方のタトラヨーコー湖に午後吹きわたる安定した暖かい風は、セーリングやウィンドサーフィンに最適です。クジラやイルカに会えるオーシャンカヤックには、ベラクーラ、デニー島、クレムトゥの保護水域がお勧めです。ラフティングやカヤックの冒険には、プレーザーバレー、カリブーやチルコーティンに、白く泡立つ急流に挑む難度の高いルートがいくつもあります。カヌーイストなら一度は行ってみたいのが、世界的に有名なバウロン湖のカヌー周遊ルートです。多様で広大な大自然で知られるこの地域ですが、最近では、ユニークで贅沢なデイ・スパやウェルネスセンターがいくつも誕生しています。いろいろなマッサージやアセスメントが受けられる、牧場付属のスパ、本格的なタイ風スパを備えた保養地や、特殊なヨガ、フィットネス、ヒーリングのプログラムでゲストを癒す人里離れた静養施設など、実にさまざまです。また、町のデイ・スパでは、日本のマイクロカレント施療やインドの

アユールヴェーダを、ヨガ、フィットネス、栄養プログラムと組み合わせたセラピーなどがあり、旅の途中でも手軽にリフレッシュすることができます。多種多様なウェルネスとフィットネスのプログラムが用意されたホテルや人里離れたロッジもたくさんあります。こうしたプログラムはどれも、旅行中の人も含めて心と身体のバランスがとれるよう工夫されています。なだらかに起伏するセージの生えた丘で最高のゴルフする気分を想像してみてください。フェアウェイの先は、水と緑に彩られた壮大な峡谷……。まさにゴルフの天国です。この地方には、デザインが素晴らしいだけでなく、お財布にも優しい18ホールのチャンピオンコースが3カ所あります。スタン・レナード設計の108ゴルフリゾートは、木に囲まれた戦略性の高い6800ヤードのフェアウェイとグリーンがあるコース。湖と街の中心部が望める6272ヤードのウィリアムズレイク・ゴルフ&テニスクラブは、美しい景観を誇るなだらかなコース。古い果樹園にまたがる6340ヤードのクェネル・ゴルフコースは、谷の地形を利用した設計で、前半9ホールはオープン、後半9ホールは短いものの技を要求されるレイアウトになっています。家族向けの9ホールコースもあちこちにあります。ウィリアムズレイク南端の州道97号線上には、先住民のグループが運営するコヨーテロックがあり、そのほかにもキャッシュクリークの砂漠には宝石

のようなセムリンバレー・ゴルフコース、ヒツジにショットを邪魔されたらマリガン（一打目の打ち直し）をもらえるというリルエット・シープパステチャー・ゴルフコースも楽しめます。✦

お勧め

コースト地方にあるカルバート島の白いビーチは、訪れる人を南国の浜辺に来たような不思議な気分させます。どこからも遠いこの保護区域はオウィキーノ先住民が先祖代々住んできた地域にあり、シーカヤック、ハイキング、スキューバダイビングで知られています。カニムレイクもシーフエップムク（シュースワップ）の人々が先祖代々住んできたところで、いくつものリゾート、キャンプ場、カニムビーチ州立公園があり、夏に釣り、カヌー、ピクニック、ウォータースキーをするには理想的なロケーションです。ゲストランチや人里離れた湖でゆっくりしたり、ハイキングや乗馬をしたり、ロックハウジングや写真の撮影を楽しんでください。

タトラヨーコー湖はウィンドサーフィンやカイトボードの楽園です。タトラヨーコーとは、チルコーティンの言葉で「大風の湖」を意味します。ウィンドサーファーやカヤッカーにとって、これ以上の場所はありませぬ。



ゴーストレイク

大自然の隠れた秘密
を探しに

お勧め

ストーン・ベア・ギャラリーの彫刻家である100マイルハウスのヴァンス・セオレットは、アラバスター、ソープストーン、スレート、クロライト、キシストーンを使った石の彫刻を制作しています。ヴァンスはそれぞれの石と心を通わせ、石の持つ太古の記憶を聴き取ります。フレザー渓谷のタックウィオワム・ヘリテージビルレッジでは、サマーロッジ、スウェットハウス、食料保存蔵、アースオーブン、堅穴式住居といった、伝統的な先住民の文化を見たり体験することができます。

タトラレイクに近い西チルコーティンのバーン・ブティックで、地元のアートや世界各地から集めたユニークな品物をショッピングしたり、毎年開催されるタトラレイク・アーティザンズ・フェアで、地元アーティストがつくった掘り出し物を見つけてください。



Geoff Moore

「それは驚くべきコントラストの地……まるで磁石のように私をその魂に引きつける。」作家のリッチモンド・P・ホブソンは、その古典となった三部作の最初の作品、1978年の『Grass Beyond the Mountains: Discovering the Last Great Frontier on the North American Continent-山の彼方の草地--北アメリカ大陸最後の偉大な辺境を探して』でこう書いています。この一文は、この土地に住むアーティストの作品や地元の文化にこの広大な風景がどれほど影響を与えているかをよく表しています。言うまでもなく、先住民の人々は、たき火を囲む唄や踊り、あるいはトーテム、太鼓、ビーズなどの工芸や芸術を通して、何千年ものあいだ、この地域の特異性や思いを表現してきました。1904年、エミリー・カーはカウボーイが牛を追うときに使う軽量乗用馬でこの地を放浪してインスピレーションを受け、数多くの風景画を描き「カリブーが私に与えてくれたものと思うと、いくら愛しても愛し足りない」と書き残しました。1914年にこの地域を旅したグループ・オブ・セブンの画家のひとり、A.Y.ジャクソンも同じくこの土地に強く魅了され、1940年代に旅から戻ると作品制作に着手しました。それらの作品は今や世界中のギャラリーに展示されています。現代画家マーク・ホブソンは、長年チルコーティンや、カルバート島などの中部コースト地方の風景にインスピレーションを受け、来るべき世代のために海岸線を汚さないことの大切さを伝える作品を描いています。彼を中心にして50人以上の画家、詩人、作家などのカナダの著名な芸術家がこの目的のために『Canada's Raincoast at Risk: Art for an Oil-Free Coast--危機に瀕するカナダの雨林：石油燃料を使わない海岸にするためのアート』を出版しました。近年は、BC州中部の宝石のようなクエ

ネル・アート・ギャラリーや、この地域の受賞アーティストたちの作品を多数集めたARTriumなど、同地の多くのギャラリーに注目が集まっています。ギャラリー自体が芸術作品になっているものもあります。たとえば、閉鎖された消防署に開設されたセントラルカリブー・アートセンターは、多くの工匠グループにスペースを提供しています。ウィリアムズレイク・ステーションハウス・ギャラリーは、1920年代の鉄道駅を美しく修復し、陶器、織物、そのほかのビジュアルアート作品を展示しています。リットン南にあるシスカ・アートギャラリーは、地元先住民の芸術作品や工芸品のほか、ジャムやお茶も販売しています。ポストンバーのザ・ズー・アートギャラリーは、リサイクル資材や再利用されたステンドグラスを使った、一風変わった白しっくい塗りの建物です。100マイルハウスの町にある建物には、歴史上の人物や開拓者の人生をモチーフにした壁画が描かれており、ストーンベア・ギャラリーは、ラバスター、ソープストーン、スレート、クロライト、キシストーンを使った石の彫刻を扱っています。毎年4月に催されるアッシュクロフト・アートショーは、地元のアーティストたちに出会うよい機会です。108マイルのクリス・ハリス・ギャラリーは地域の美しい写真を展示しており、訪れる人が、新しい切り口で周辺の風景を撮った彼の写真集『ブリティッシュコロンビアのカリブー・チルコーティン・コースト：写真家の旅』などを買い求めています。芸術と文化のもうひとつの中心地といえば、アーティストの町として知られたウェルズです。カラフルに塗られた歴史ある建物にはスタジオやギャラリーが入り、旅行者でも町のアートスクールでフォークアートや音楽のクラス

を受講することができます。修復されたサンセット劇場では、コンサート、映画、舞台芸術が訪れる人々を楽しませてくれます。また、8月第1週には、アーツウェルズ・フェスティバル・オブ・オール・シングズ・アーツが4日間にわたって開催され、たくさんの方が集まります。フェスティバルでは、地元クエネルのマシュー・ペインによる、1860年代の牛追いをテーマにした『カリブー・バックアイ』などのパフォーマンスを観ることができます。このコミュニティイベントでは、さまざまなミュージシャンやアーティストがパフォーマンスを披露するほか、国内の有名なアーティストによるワークショップも開催されます。バーカービルのシアターロイヤルでは、開拓時代から抜け出してきたような俳優たちに、観客は1860年代にタイムスリップしたような気分させられます。ウィリアムズレイクのスタジオ・シアター・ソサエティは、60年間休むことなく毎年10月から6月までライブシアターを開催しています。ホースフライのアーツ・オン・ザ・フライ音楽祭は、音楽、ダンス、食べ物、さまざまなアクティビティを心ゆくまで楽しめるフェスティバルで、1週間続くクリントンズ・ウォーは中世の時代衣装のページェントです。また、アッシュクロフトのワインディング・リバーズ・アーツ・アンド・パフォーマンス・ソサエティは、音楽やそのほかさまざまな分野のアーティストのパフォーマンスや展示を後援しています。カリブーは、歌手や詩人の心の故郷でもあります。“キャメル”・デイヴ・ハウエルや、「西で最速のカウボーイ詩人」と呼ばれる、ウィリアムズレイク公認のカウボーイ詩人フランク・グリーンソンは、西部のさまざまなフェスティバルで公演しています。



Brad Kasselmann, Coast Mountain Photography



Blake Jorgenson



Brad Kasselmann, Coast Mountain Photography



Brad Kasselmann, Coast Mountain Photography

お勧め

ムースメドウ・ファームでは、季節に合わせた農業体験ができます。ツアーに参加して農業について学んだり、農家の庭で誕生日パーティを開いたり、ワークショップでリースをつくったり、バーチシロップを採集してみませんか。また、敷地内のアントラーマーケット・ショップでは新鮮な農産物のほか、地元のアートやクラフト作品を買うこともできます。

フレーザーバレーでは旬の野菜は当たり前。キャッシュクリークの北にあるホースティング・ファーマーズマーケットからスペンシスブリッジのあいだの路上直売所では、ゴールドラッシュ・トレイル沿いの伝説的においしい果物や野菜を買うことができます。

チルコーティン地方の牧場では世界水準の家畜管理を行っていて、持続可能な牧場を運営しながら、最高級の牛肉を提供しています。牧場体験をしに、または牧草地と食卓が直結したごちそうを食べに立ち寄ってみてください。



@Michael Bednar



Brad Kasselmann, Coast Mountain Photography



© Michael Bednar

フレーザーバレーやカリブー・チルコーティン・コースト地方では、地元の農業者や特産品生産者が訪れる人たちにドアを放ち、牧畜や農業の技術や方法だけでなく、自分たちの産業に対する思いも語ってくれます。今日、人々が健康で安心して暮らしていくには、環境面や社会面において持続可能な食物を育て、地産地消することが大切だという理解が深まってきました。食べ物が長距離を移動することで生まれる環境への悪影響を減らし、食品安定剤や保存料の必要性をなくすことが、持続性の鍵です。この地域の牧畜業・農業者は、家畜の放し飼いをを行い、健全な土壌づくりをしながら持続可能な農業をすることで地域の生態系を守っていくことに、努力を惜しみません。

フレーザーバレーには「太陽をふんだんに浴びたこの土地に水さえかければ何でも育つ」という言い回しがありますが、それを証明するかのように、ここには果樹園、菜園、牧場がたくさんあります。スペンシスブリッジのウィドウスミスマップル、アッシュクロフトの巨大なジャガイモや、味わい深いトマトなどをはじめとするフレーザーバレーやカリブー・チルコーティン・コースト地方の作物は、これまでの150年間に世界でも指折りのおいしさを誇ってきました。渓谷には、野菜、なかでもタマネギ、ニンニク、メロン、ピーマン、トマト、ニンジン、ピーツを育てる菜園や、さまざまな果物、または50種類以上のリンゴを扱う果樹園があります。リットンではオーガニック野菜やエアルーム（在来品種）の栽培も盛んなほか、珍しいヘリテージ種（エアルームと同意）の家禽類を飼育したり、在来種を自然受粉させるなどして、農業者は作物の多様性を保っています。シスカトラディションを訪れば、野生のハーブ、お茶、サスカトゥーベリー、ハックルベリーや、野生のタマネギ、マツタケ、ポルチーニ、アミガサダケなどのキノコ類を、先住民の人々がど

のように採集してきたか教えてもらえるでしょう。

2012年以降、BC州のワイナリーは、国際大会で数々の金、銀、銅メダルを獲得してきたほか、名誉あるロサンゼルスワイン&スピリッツ国際大会でもメダルを受賞しています。南カリブーのブドウ生産の歴史はまだ浅いものの、リットンとリルエット周辺ではここ数年、ワイン用のブドウづくりが行われています。たとえば、リルエットにあるフォートベレンズ・エステートワイナリーのブドウは、メロン、トマト、アルファルファを150年間生産してきた土壌で育てていることで話題を呼びました。リルエットはまた、ホップの生産が盛んに行われ、BC州で急成長しているクラフトビールづくりを後押ししています。バンクーバーのパウエルストリート・クラフトビール・ブルーイング・カンパニーは、リルエットのビターバインホップ・カンパニーが育てたオーガニックホップを用いたビールで、2013年のカナディアン・ブルーイング・アワードを受賞しました。地元ホップの生産者がいるおかげで、BC州のビール醸造界では、収穫から24時間以内のホップを足してつくる「新鮮なホップ」のビールといった新しい流行が生まれています。ケネルに位置するバーカービル・ブルーイング・カンパニーは地元産のホップを使い、地域にゆかりある商品名をつけ、ラベルにその説明を書くことで、ビールを通してこの地域に敬意を表すとともに歴史を伝えています。

北カリブーでは、新鮮なオーガニックのシラカバから採った甘いバーチシロップ、またそれを使ってつくるバーチシロップBBQソースが人気を呼んでいます。カリブー地方の中央では、マルグリートやソーダクリークのスイートコーンが有名です。7月から10月のあいだに訪れるなら、州道97号線沿いのオーストラリアン・ランチにあるトウモロコシの畑

でつくったカリブーコーン迷路に立ち寄ってみてください。またチルコーティンでは、1600ヘクタールの牧場に宿泊し、オーガニック野菜や、牧草で飼育され敷地内の食肉処理場で処理された新鮮な肉を食べることができます。

毎週多くのコミュニティでファーマーズマーケットも開催されていて、地元の人たちによるアートやクラフト作品がとこ狭しと並びます。ベラクーラのマーケットでは、新鮮な野菜や果物だけでなく、地元でとれたハチミツ、巨大なボタンエビ、ダンジネスクラブ、サケの試食もできます。直接農場を訪ねれば、甘いワラワラオニオン、ロシア原産のレッドガーリック、強い陽射しを受けて育った黄色いケンタッキーワンダービーなどを分けてもらえるかもしれません。この地域の農場では納屋を使って産物を販売しているところもあり、新鮮な旬の野菜を試食したり、買ったりすることが出来ます。BC州で毎週行われているファーマーズマーケットについては、bcfarmersmarket.orgを確認してください。

この地域ではまた、農業生産者や牧場経営者の指導のもとに、9歳から19歳までの子供たちが「やりながら学ぶ」方法で、ウシ、ウマ、コヒツジ、コブタ、ハチの育て方のほか、裁縫、機械の整備、写真撮影、ガーデニングなどを学んでいます。地元の農業フェアで行われる、頭、心、手、健康の頭文字Hをとった4Hは、農業について学ぶ青少年クラブで、家畜を飼育したり、農作物を栽培したりするなかで、子供たちが生活の知恵を学びます。地元の農業祭では、4Hのメンバーである子供たちの成果を見るよい機会です。



Geoff Moore



Geoff Moore



Brad Kasselmann, Coast Mountain Photography



Brad Kasselmann, Coast Mountain Photography



Geoff Moore



Louise Christie



Geoff Moore



Geoff Moore



フレーザーバレーとカリブー・チルコーティン・コースト地方では、豊かな文化と歴史に負けないくらいさまざまな食が楽しめます。先住民の伝統的な料理、カウボーイのキャンプファイヤー料理、東洋の味……このあたり一帯の食文化は未知数です。環境と社会に優しい持続可能な農業を目指し、在来品種の野菜や果物も多いこの地域には、まだ体験したことのない新しい味が待っているかもしれません。

クエネルのフォールフェアはビールで煮込むチリ風味チキンのコンテストがひときわ賑やかで、8月に行われる南カリブー、ラック・ラ・アシェのガリックフェスティバルでは、食通や食道楽がニンニクをふんだんに使ったブティーン（アツアツのフライドポテトにグレービーソースと呼ばれる肉汁をかけた食べ物）、パニーニやギョウザといった料理に列をなし、子供向けのアクティビティや音楽のライブがあり、マスターシェフによるニンニク料理バトルも盛りあがります。また、リルエットのアプリコット・チョコム・フェスティバルでは、珍しいサスカトゥーンベリーだけでなく、地元の文化も味わえます。こういった農業フェアやフェスティバルに行ってみれば、きっと新しい料理のアイデアが浮かぶでしょう。

レストランも、ゴールドラッシュトレイル沿いにあるチェーン店から、地元の新鮮な材料をふんだんに使った料理を出すお洒落なレストランまで、多種多様です。名前こそダイナーですが、キッチンでは革新的なシェフ、トッド・バイデンが腕を振るうファットジャック・ダイナー。地元の食材を

使った料理が受賞ワインとともに味わえるフォートベレンズ・エステートワイナリー。チルコーティンの州道20号線にあるキニキニック・レストランでは、地元の農場でおもに牧草を食べて育ち、敷地内の食肉処理場で人道的に処理されたオーガニックの牛肉を使って、「牧草地と食卓を直結」というポリシーのもとにつくられている料理が楽しめます。ニンボベーカリー&カフェの朝食サンドイッチは、BC州で一番と評判の美味しさです。

ちょっと離れたところでは、70マイルハウス・シュガーシャックで、伝説的なケベック料理のブティーンを食べてみるのはいかがでしょうか。アッシュクロフトのユナイティでは、1杯ずつ丁寧に淹れられたオーガニック茶を楽しみながら心も体も癒してください。

コースト地方も、ダンジネスクラブ、巨大なボタンエビ、オヒョウなどおいしいものでは負けません。西へ旅しないのであれば、ウェルズのビッグ・H・フィッシュアンドチップスでゴールドラッシュ・スタイルの海の味をお試ください。この地域には、家伝のレシピでパンを焼くベーカリー、おばあちゃんの味に出会える家庭的なカフェ、歴史的な建物のなかに店を構えた物語のあるレストラン、山の頂でおいしいランチを用意してくれるアウトフィッターなどが点在しています。トリップアドバイザーのランク付けや、地元情報サイトで「本当にびっくり」とか「信じられないほどおいしい料理とすばらしいサービス」というようなロコミを呼んでいます。

先住民によるロデオ大会やパウワウで

は、魚や、ホットバノック（発酵させないパンの一種）、スーポラリーベリーでつくったアイスクリームのようなフーシャムも食べられます。タックウェオーム（Tuckwiowhum）、ハツァール（Xat's'li）、ホイシュテン（Xwisten）のヘリテージサイトで伝統的な料理を食べてみたい人は、事前予約をしてください。

お勧め

リルエットの劇的な風景のなかに広がるフォートベレンズ・エステートワイナリーは、複雑な味わいの白ワインから芳醇でコクのある赤ワインまで、賞に輝くワインづくりで知られています。ゴールドラッシュ・トレイルの隠れた宝石ともいえるこの場所で、地元の食材を使った創作料理とワインを味わってみてください。

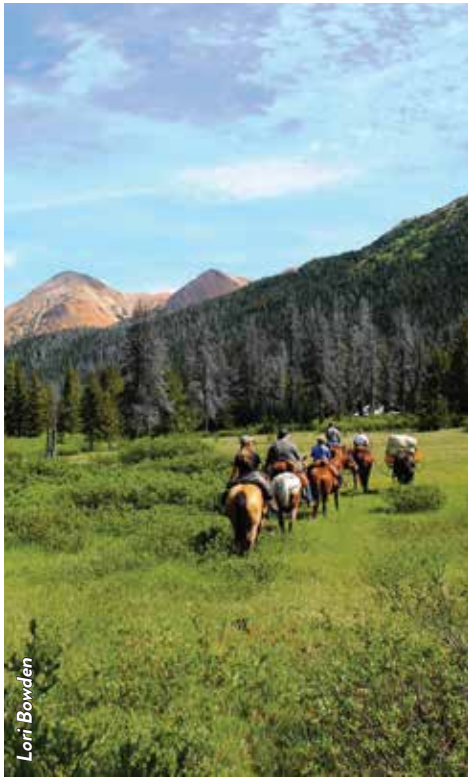
イーグルネスト・リゾートで美しいアナヒム湖を眺めながら、天然のウエストコースト・サーモンに舌鼓を打つのもよいでしょう。

バーカービル・ブルーイング・カンパニーは、ビールを通してゴールドラッシュの歴史を今に伝えています。人気の18カラットエール、ワンダリングキャメルIPA、プロスペクターペリル・ピルスナーのほかにも、季節限定のエールがあるので、ぜひ試してみてください。

グレートベア温帯雨林

神聖なクマとの出会い





Lori Bowden



Julia Haselhoff



Michael Bednar



Blake Jorgenson



Geoff Moore



Blake Jorgenson



© Michael Bednar

ロデオを見物し、ゲストランチで素朴なひと時を過ごし、贅沢なリゾートでくつろぐ……南はアッシュクロフトから、北のクエネル、西のチルコーティンに至るまで、「限りない世界」には、訪れる人を満足させるものがすべて揃っています。またここは「牧畜の地、それも本当の畜産地」です。経験豊かなカウボーイの手ほどきを受けながら典型的なカウボーイ生活を体験してみてください。

カリブー・チルコーティンでは、実際の牧場に宿泊しながら、馬の乗り方、投げ縄、焼き印の押し方、家畜を駆り集めたり群れを移動させる方法などをカウボーイから直々に教わることができます。「馬の言葉」を習って人間と動物との絆を築くホーススイスパリングのワークショップもあります。乗馬で旅をしたいなら、チャイカザン□□□ヘッタ溪谷周遊ルートを数日かけて行くのはいかがでしょうか。イッチャイラガチユズ州立公園の山中を14日間旅するコースでは、先住民のキャリア（Carrier）の人々とつながりが深い黒曜石採石場近くの遺跡に立ち寄ることができます。家畜の群れを追って冬の飼育場から夏の放牧場へ、あるいは秋に飼育場へと移動させたり、チルコーティンのポテト山脈で乗馬をし、夕方トレイル近くの湖畔の草地にテントを張り、夕食にマスを食べる体験もできます。

BC州のゲストランチの半数以上は、カリブー・チルコーティン・コースト地方にあります。トップクラスのレストラン、プールやジャグジーバ

ス、スパを備えた豪華なキャンプ、いわゆるデザイナー風キャンプから、ギターを弾きながらカウボーイソングを歌い、キャンプファイヤーを囲んで、ゆっくりおしゃべりを楽しむといった、まさにカウボーイ好きが夢見るような簡素で伝統的なカナダ体験まで、その種類はさまざまです。昔ながらのログキャビンに宿泊したり、あるいは星空の下のテントで眠り、夜明けにコヨーテの遠吠えと、キャンプファイヤーで用意されたコーヒー、バイクドビーン、バノック、カリカリに焼いたベーコンの香りで目覚める……そんな非日常を過ごしてみませんか。日がな一日乗馬をしたあとにはマッサージ、またはロデオを見物して、乗り手も牛も勇気と技がいることを目の当たりにしてみるのもいいかもしれません。この地域の牧場のエキスパートたちは、初心者、熟練者に関わらず乗り手に見合った馬を選んでくれるだけでなく、乗馬コースも、ヤマナラシとバンクスマツの森に行く家族向けのやさしいツアーから、ヤマモモギに覆われた果てしなく広がる乾いた草原を数時間旅する上級者向けのものまで、訪れる人の希望とレベルに合わせて用意してくれます。

カウボーイの歴史を詳しく知りたい人は、ウィリアムズレイクのカリブー・チルコーティン・ミュージアムにぜひ立ち寄ってください。BC州の今と昔のカウボーイやカウガールを称えつつその文化を守るのを目的としたこのミュージアムでは、カウボーイや牧畜に関わる人々がBC州西部のワイルドな土地をどう手なずけてきたか知ることができます。ここに

はまた、BCカウボーイ・ホーム・オブ・フェイムがあり、毎年4月にはウィリアムズレイク・インドアロデオで殿堂入りの式が行われ、ランチやロデオの先駆者たちに会うことができます。現代のカウボーイ文化を知りたい人は、カナダデーの週末

SUNDANCE
GUEST RANCH

*“The first time,
it’s a vacation.
After that,
it’s coming home.”*

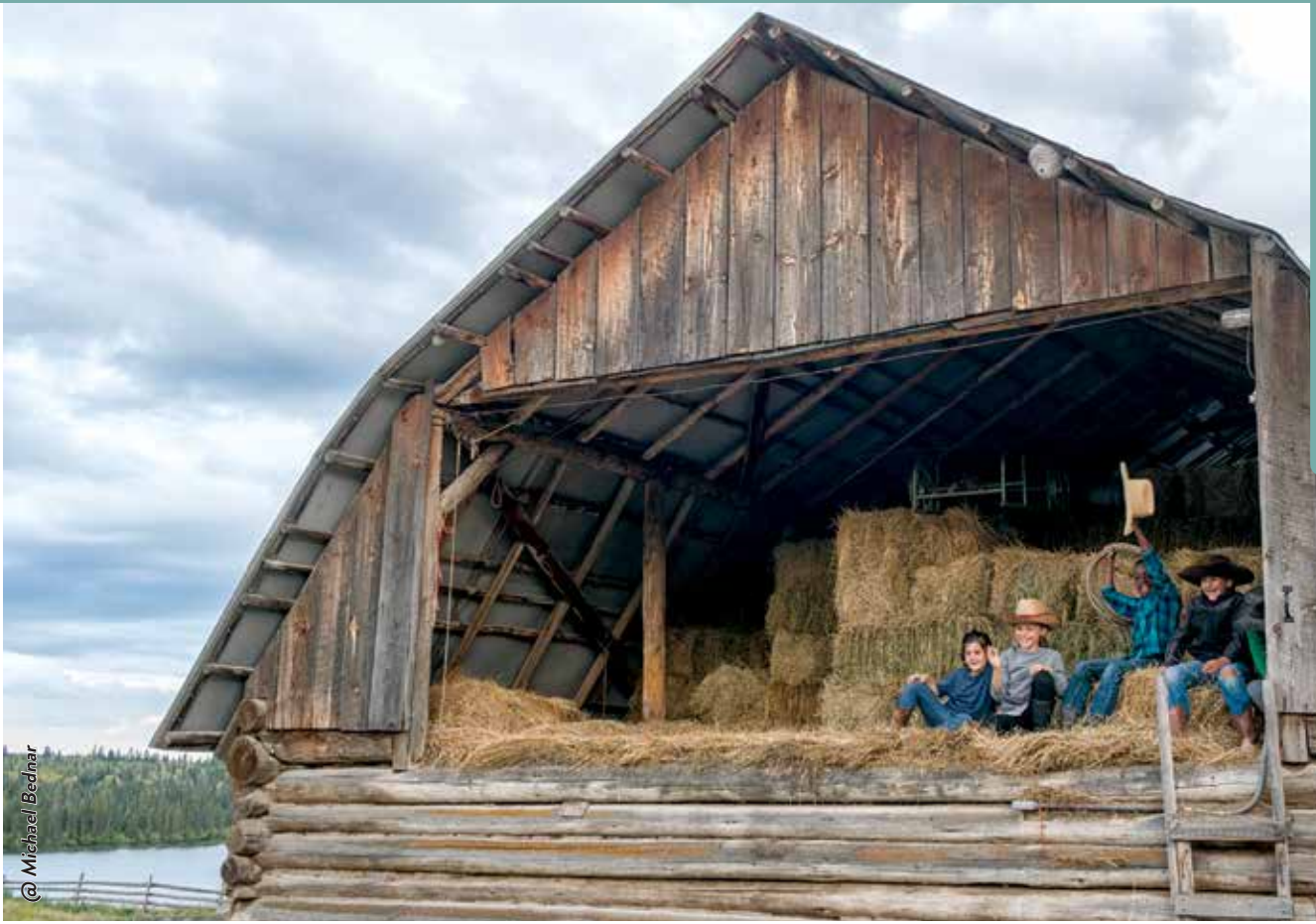
Just 4 hours north of Vancouver
1-800-553-3533
www.sundanceguestranch.com
saddleup@sundanceguestranch.com

お勧め

インターレイクスには根っからのカウボーイ好きにぴったりのロデオイベントがふたつあります。ひとつは67年の歴史を持ち、毎年たくさんの方が集まるブリッジレイク・スタンピードで、もうひとつは、フィッシングハイウェイ24の中心近く、ロー湖を会場にして行われるBC州ロデオ協会主催のインターレイクスロデオです。

忙しい都市の暮らしから逃れ、たくさんのアクティビティが待っている牧場へ行ってみませんか。チルコーティンの経験豊かなツアーオペレーターは、投げ縄、荷馬づくり、牛の群れの追い方や移動方法を指導してくれるだけでなく、乗馬で山に行く旅などを企画して、訪れる人を歓迎してくれます。





@ Michael Bednar

に屋外で行われるウィリアムズレイク・スタンピードに行ってみてください。このイベントでは、ベアバック、サドルブロンクライド、ブルライド、チームローピング、ステアレスリング、バレルレースといったロデオ競技が行われ、世界各地から出場者と観客が集まってきます。

BC州ロデオ協会が開催するロデオイベントは、クリントン、ベラクーラ、ウィリアムズレイク、アナヒムレイク、アルカライレイク、インターレイクス、レッドストーン、ケネルなどでも行われています。イベントにはそれぞれのコミュニティの雰囲気があり、町ごとに一味違ったロデオが楽しめます。ケネルのロデオは、ビリーバーカー・デーに行われ、町の人々が1860年代の服装でパレードをします。ベラクーラでは、訪れる人全員がカウパーティ・ビンゴに参加でき、アナヒムレイク、ネマイア、レッドストーンには先住民によるロデオイベントが数多くあります。春に行われる100マイルハウスでのリトルブリッジズ・ロデオの主役は子供たちで、ダミーに投げ縄をしたり、羊に乗ったり、ヤギの足を縛ったりといった技を競います。クリントンのウェスタンヘリテージ・ウィークは、カウボーイの詩の朗読、ウェスタンミュージックの演奏、昔ながらのダンスにパーティと盛りだくさんの内容です。

ロデオ大会のシーズンは4月にウィリアムズレイクのインドアロデオで始まり、9月、ケネルのBC州ロデオ協会が開催する最終戦で幕を閉じますが、ロデオダンスは年間を通して行われていて、伝統的なウェスタンミュージックの演奏あり、カウボーイマナーの披露ありで楽しい時間が過ごせます。



Gail Hartmand



www.huntndriftwood.com



Geoff Moore



Chris Harris



Geoff Moore



www.huntndriftwood.com



Geoff Moore



@ Michael Bednar



ここプレーザバレーとカリブー・チルコーティン・コースト地方では、釣りや狩りは趣味の域を超え、日常となっているだけでなく、文化と呼んでもいいほどです。内陸部の湖やコースト地方で毎日釣り三昧、または、経験豊富なガイドと一緒に狩猟期の森林でミュールジカ、ムース、カリフォルニア・ビッグホーン、シロイワヤギ、クロクマ、クーガー、オオヤマネコ、ボブキャット、オオカミ、コヨーテを狩る……しっかりとルールを守った上で釣りや狩りを行えば、この地域では確実に獲物を手に入れることができます。

現地の認定ガイドやアウトフィッターは、野生動物の棲息地や動物保護地区に詳しいだけでなく、大物の追跡のし方やクマの攻撃の回避術など、さまざまな知識に富んでいます。ガイドには先住民の人たちも多く、周辺の自然と野生動物に精通しています。そのうえでサバイバスキルや、この地域特有の生き物や植物に関する知識も備えているため、こういったガイドを伴うことで、訪れた人々はより深く自然と触れ合うことができます。

カリブー・チルコーティン・コースト地方で狩猟をしたり、野生動物を見たいのなら、動物・環境保護基準に沿った高度な知識を持ち、経験豊かな現地のガイドやアウトフィッターにぜひ問い合わせてください。宿泊施設は、サービスやアメニティがすべて揃っていて通年営業している贅沢なロッジから、簡素でありながら目的に合ったバックカントリ

ーキャンプまであり、大自然のなかで本物の釣りや狩猟を体験したい人のニーズに応えてくれます。

釣り

この地方では釣りはただの暇つぶしではなく、情熱を注ぐアクティビティです。カリブー・チルコーティン・コースト地方には8000の湖と、長さを合わせると1万7000キロメートルに及ぶ川やその支流があり、釣竿をならせるニジマスや、ずる賢く狂暴で鋼の心臓を持つスティールヘッドが豊富に棲息しています。険しい自然が残るコースト地方の栄養豊富な海水には、脂ののったサケ、巨大なオヒョウやボタンエビ、活きのいいダンジネスクラブをはじめとし、エビも多種棲息しています。人里離れたリゾート、洒落たブティックホテル、贅沢な水上キャンプ……どの宿泊施設を選んでも、絶好の釣りスポットへほんの数分です。

カリブーの東端で、イエローヘッドハイウェイまたは州道5号線上のリトルフォートから、24号線の西の起点にある93マイルハウスまで、点在する川や湖の合間を走っている州道24号線は、釣りファンに「フィッシングハイウェイ」と呼ばれ、釣りスポットがどこに行けばよいか迷うほどたくさんあります。最大で9キロもあるニジマスで知られる湧水湖のシェリダン湖。ハイウェイからほど近く、島や数多くの湾もあり、澄み切った水にニジマス、イワナ、ヒメマス、カワメンタイがあふれるブリッジ湖。湖と湖のあいだを1時間足らずで移動でき、合計100以上の湖があるインターレイクスはまさに釣りに

とっての楽園です。出かける前には最新の年間ストックングレポートを確認してください。

フライフィッシング愛好家をする人たちが目指すホースフライ川では、近くのケネル湖のニジマスの約4分の3が育つほか、秋には産卵のためにたくさんのベニザケやキングサーモンが遡上してきます。ケネル近く、特大サイズのマスが多いドラゴン湖の湖畔には、キャットテールやブルラッシュとよばれるガマの一種が生えています。

チルコーティン地方では、コースト山脈のふもとにあるシャーロット湖が大きなニジマスがいることで有名です。フライフィッシングを楽しみたい人にとって夢のような釣りのニボ湖では、チャーター機で近隣のロッジへ、さらに奥深い釣りスポットへ行くサービスを利用することができます。家族で楽しめる釣りスポットとして知られるブンティ湖。流れが穏やかでカヌーもしやすく、大量の昆虫が孵化することで、マスやホワイトフィッシュ、ウミタナゴ科の一種であるスクオフィッシュが豊富に棲息している伝説的なブラックウォーター川。チルコ湖から流れ出す鮮やかな青色の水のなかにニジマスやカラフトイワナが豊富にいるチルコ川。地元の人たちは、夕暮れ時、地域の溪流が湖や川に流れ込む地点にマスがエサを食べにやってくる場所を狙います。

コースト地方にも湖や小川は多くありますが、多様な生態系があるこの

お勧め

フィッシングハイウェイ24では、さまざまなリゾートで「釣りを学ぶ」こともできます。1000ドルの賞金付きの冬のフィッシングダービー、大きいもので9ポンドもあるニジマスがいる湖……ここはアングラーにとっての楽園です。

飛行機で目的地へ飛び、乗馬で狩りに出かける……チルコーティン地方では、現地の経験豊かなガイドやツアーオペレーターと一緒に最高の釣りや狩りを楽しむことができます。

ベラクーラ北に位置するスティールヘッドの聖地ディーン川では、釣りのアウトフィッターがベースキャンプを設置してくれます。スペンシスブリッジのトンプソン川には夏のシーズン終わりのスティールヘッドを釣りに地元の人々も数多く集まります。



Omineca Guide & Outfitters

地方へは世界中から海釣りをしに人々がやってきます。その目的はサケ。宿泊はロッジ、キャンプ場、安宿から豪勢なホテルまでが揃っていて、大物を釣りあげたい人たちは、ほとんどがベラクーラから出発し、数々の島や入り江へと足を伸ばしていきます。コースト地方にはBCフェリーとパシフィックコースタル航空で簡単にアクセスできます。

地図上では海岸線がはっきりとわかりませんが、グレートベア温帯雨林にもまた、釣りファンが一目置く釣りスポットが数多く存在しています。リバーズインレットとハカイパッセージでは、北太平洋で長い闘いを終えた何百万というサケが母川を探して、はじめて海から上がってきます。その途中、サケはオドラムポイント、ギャップ、バーニーポイントといった有名な釣りスポットを通っていきますが、サケたちが休憩する穏やかな淀みは絶好の釣り場となり、シャチもサケを食べにやってきます。

攻撃的な降海型のマスであるスティールヘッド釣りをする人たちにとって、「釣り」という言葉はふさわしくないかもしれません。アングラは「スティールヘッドの聖地」として知られるディーン川に巡礼して、この釣りにチャレンジします。ディーン川では現地の釣りのアウトフィッターがベースキャンプを用意していて、虫には刺されなくても魚は大量に釣れるスポットへと案内してくれます。トンプソン川に架かるフレーザーバレーのスペンシスブリッジもまた、シーズン終わりのスティールヘッドがいることで知られています。

狩猟

野生動物が数多く棲息するこの地域では、狩りも十分に楽しむことができます。狩猟のアウトフィッターは、獲物の種類や場所、季節に合わせた企画を用意するだけでなく、宿泊施設を選び、狩猟グループの人数を決め、また参加者のレベルに合った狩りのプランを立ててくれます。

このあたりの人々はみな、野生動物や動物保護に熱い思いを抱き、土地との深いつながりを持っています。家族経営のアウトフィッターは、その多くが世代から世代へと受け継がれてきていて、野生動物以外のこと、たとえば開拓者、歴史、牧場、文化、食などについても訪れる人に気さくに教えてくれます。一日の終わりには屋外キッチンや焚き火で用意された心温まる料理で疲れを取ってください。

アウトフィッターはハンターに、ガイドと狩猟の領域を手配してくれます。次に移動手段として、ATV、馬、四輪駆動車、舟、昔ながらの徒歩、ブラックウォーター川付近ではスノーモービルなどを選びます。BCガイドあるいはこのガイドブックの120ページにあるアウトフィッターのウェブサイトの詳細を確認し、自分の狩りや釣りのスタイルに合ったシーズンを選んで出かけください。



Thomas Drasdauskis



Thomas Drasdauskis



Scott Horley



Maureen Wasilieff



Scott Horley



Thomas Drasdauskis



Geoff Moore

カナダははっきりとした四季があるのが特徴的で、これは季節を問わず旅を楽しんでもらいたいカリブー・チルコーティ・コースト地方にとっては大切な要素です。とりわけ新鮮な冬の空気、うっとりするほど美しい夕日、緩やかに波打つ丘陵地帯、バックカントリーの湖、森林、リゾートや牧場、輝く太陽、深いパウダースノー……。

そんななかで行う、ヘリスキー、そり滑り、スノーシュー、穴釣り、ノルディックスキー、ダウンヒルスキー、スノーモービル、ポンドホッケー、犬ぞり、カーリング……この地方ではウインター・アクティビティに限りはありません。

アイスクライミングなら、リルエット近くのマーブルキャニオン州立公園がお勧めです。道路に近い氷瀑はカナダ西部でもアクセスしやすく、スリル満点です。勾配がたくさんある広大な原野にトレイルも備わっているこの地域へは北米からスノーモービル・ファンも集まってきます。トレイルを通れば、ゴールドラッシュ時代に見つかった金塊のごとく散らばっている歴史ある町に行くこともできます。

毛皮を敷き詰めた覆われたそりに身を沈め、ハスキー犬たちに引かれて凍った湖や森のなかを滑る犬ぞり体験はいかがでしょう。バックカントリーを体感するのに犬ぞりほど爽快な方法はないかもしれません。カリブー・チルコーティン・コースト地方とプレーザーバレーでは、未経験者でも犬ぞり旅行ができます。雪に

縁取られたお風呂に浸かり、たき火の周りで会話を楽しみ、心地よいロジックでくつろいだりといった冬のキャンプもぜひアクティビティのリストに加えてください。

かつて、雪深い季節に唯一の移動手段だった犬ぞりは、今日また復活し、競技としてだけでなく、人が犬との関係性を築きながら移動する手段として注目を集めています。経験者でも未経験者でも楽しむことができ、ガイドを付けたり、1対1で行う犬ぞりワークショップに参加したり、数日間かけていく犬ぞりアドベンチャーに出かけることもできます。なかには、エスキモー犬の犬ぞり、アラスカン・マラミュート犬の犬ぞりと犬の種類が選べるオプションもあります。

犬ぞり用のドッグチームを率いる人には、毎年1月に開催されるゴールドラッシュトレイル・スレッドドッグメイルランが人気です。機械ではなく手で消印を押した郵便がクェネルで参加者に手渡され、歴史的なカリブーワゴン・ロードを通して100キロ先のウェルズに届けることを誓います。スピードを競うよりも仲間と楽しむことが本来の目的ですが、地元のパブはレースののちに優勝者の自慢話で盛りあがります。スキーなら整備されたトレイルを滑るノルディックスキー、バックカントリースキー、家族向けのダウンヒルスキー、スノーシュー、深いパウダースノーを滑るヘリスキーとたくさんの選択肢があります。湖や池が凍る寒い時期には、スポーツや娯楽と呼ぶよりもこの地域では日常の一

環のようなスケートもお忘れなく。この季節にはポンドホッケーの試合が始まり、観光客も参加できます。

ノルディックスキーやバックカントリースキーがお好みなら真の静寂のなかでスキーをお楽しみください。BC州ノルディックスキー協会会長のロブ・ベルンハルトは、この土地の「安定した気候と理想的な雪、活き活きとした文化とすばらしい自然環境はノルディックにうってつけだ」と言っています。スキーヤーがどこへ行っても安全に楽しめるよう、現地のリゾートや、クラブ、コミュニティの人たちが定期的にトレイルを整備しています。

ノルディックスキー初心者には、ウェルズとバーカービル間の8キロルートと、周辺を一周するトレイルから始めるのがいいかもしれません。バーカービル近くのアグネス山には深い森のなかに行く23キロのトレイル、クェネルから少し先には見晴らしのよさで知られるハリス湖のトレイルもあります。ウィリアムズレイクから南へ1時間ほどドライブすると、ブル山のなかには、ナイターもでき、犬も同伴できる28キロの整備されたトレイルがあります。

南カリブーの100マイルハウスの近く、150キロの長いトレイルの一部ではナイターもできます。100マイル・ノルディッククラブが主催するゴールドラッシュをテーマにしたカリブーマラソンに出場するなら、50キロ、30キロ、20キロ、10キロコースの選択肢があります。クリントン・スノージョッキークラブが管理して



お勧め

カナダらしい冬のフェスティバルをブリッジリバー・バレーで体験してみませんか。ポンドホッケー、カーリング、スケート、穴釣り、スノーモービルなどが体験でき、食べ物や家族向けのアクティビティも用意されています。

バーカービル・ヒストリックタウンでの冬の楽しみも見逃さないください。青空の下でタイヤのチューブに乗るシャムロック・チューブランでワクワクした気分、プラスチック製のそりで行うマジックカーペット・リフトはきっと何度も乗りたくなるはずです。

チルコーティン東部のレーブン湖での穴釣りもお勧めです。氷の下の水は透き通っていて、釣りをしながら泳ぐ魚の姿が見えたり、エサに食いつくところも見えるほどです。

コースト山脈の輝くパウダースノーでスキー。ヘリスキーのアウトフィッターがヘリコプターでスキーヤーを山岳氷河へ案内してくれます。他のどの場所でも体験できない最高のヘリスキーが待っています。



Angie Lavoie

いる標識のあるトレイルのうち60キロほどは、夏にはハイキングやサイクリング用に様変わりします。ラック・ラ・アシェ東部にあるマウントティモシー・スキーエリアは家族が訪れてダウンヒルスキーをするのにちょうどよく、整備されたノルディックトレイルも楽しむことができます。

ヘリスキーヤーたちも山が多く最高のパウダースノーがあるこの地方に集まってきます。スキーヤーは汚れない美しさと真の静寂のなかに降り立ち、垂直の雪壁を何千フィートも滑降することができます。このスポーツは、伝説的な登山家ハンス・モーサー、別名「ヘリスキーの父」によってカリブー山中で生み出されました。カリブー、コースト地方、南チルコーティンには、3000メートル級の山々が連なり、年間15メートルの積雪量があることから、世界有数のヘリスキー場になっています。

カリブーのスキーツアーをアレンジするアウトフィッターは、複数の湖が連なったバウロン湖のカヌーサーキットと呼ばれるコースでのノルディックスキー・ツアーも用意しています。キツネ、ノウサギ、警戒心の強いシンリンオオカミが歩いた跡だけが残る凍った湖面を、山小屋に泊まりながら数日かけてノルディックスキーで移動するコースでは、静けさのなかで大自然の冬景色を満喫することができます。チルコーティンのタトラ湖の整備が行き届いた40キロのトレイルでは、毎年1月にはタトラレーク・スキーチャレンジ&ファンデーが行われます。勸声が特別温かく感じられる極寒の日のレースのあとは、屋外バーベキューでお腹を満たしてください。イッチャイラガチュズ州立公園の自然のなかでスキ

ーツアーを楽しみたい人は、近くのニンポ湖の自然のなかに点在するロッジをベースキャンプにするとよいでしょう。もっとゆっくり気楽に旅を楽しみたいなら、バックカントリー・トレイルでスノーシューはいかがでしょう。雪があり、歩ける人ならだれでもでき、お金もかかりません。

雪はスノーモービルのためにあるという人にとって、この地域の高低差のある地形はスノーモービルで傾斜地を滑るヒルクライムにもうってつけです。ただし、ガイドラインは厳守してください。現在建設がすすむ、美しい景色のなかを通るスリルに満ちたゴールドラッシュ・スノーモービルトレイルは、完成時には道標も設置され、クリントンからバーカーズビルまでの350キロを結びます。ブリッジリバー・バレーにあるゴールドブリッジとブラローン間もスノーモービルをする人たちに人気で、マインシャフトパブが中心となってそりイベントを行っています。ローンゴート・トレイルやスリムクリークもお勧めです。最新のトレイル情報と施設については現地のクラブやビジターセンターに問い合わせてください。

寒いばかりのイメージがある穴釣りですが、凍った湖にあけた穴からニジマスを釣りあげるのは、体も温まり、釣り好きにはたまりません。現地のアウトフィッターが心地よい宿泊施設、携帯用穴釣りシェルターなどすべてサービスがそろった穴釣り旅行を用意しています。

フレーザーバレー

カリブー

フレーザーバレーのイベントのテーマはお祭りです。どのイベントも心から楽しむはず。伝統文化をとりあげるイベントでは、砂金すくいを体験したり、駅馬車に乗ったり、シアターを観劇したり、ロデオを観戦することで、入植者がこの地に住み着ききっかけとなったゴールドラッシュや牧畜や農業の歴史に触れることができます。先住民のパウワウやそのほかの伝統的な集いは、何千年も継承されてきた文化を今に伝えてくれます。リットンのリバーフェストでは、偉大なフレーザー川の恩恵への感謝を分かち合い、スペンシズブリッジ・デザート・デイズでは、農業と音楽を祝い、コミュニティの親睦を深めます。キャッシュクリークのグラフィティ・ウィークエンドは、クラシックカー・ショー、ソックホップダンス、スモーク・ショーで、50～60年代を懐かしむ盛りだくさんの催しが続く。ゴールドカントリーのジオキャッシングは、この地域を散策したり、子どもたちを巻き込んで楽しむのにぴったりのイベントです。

カリブーでは、伝統的でユニークな催しが通年開催されています。週末をたっぷり楽しんだあとも、さあ、次は何だろうと期待してしまうほど。パウワウのシーズンは6月から11月までですが、新年の特別イベントを開催するコミュニティもあります。ロデオは4月から9月まで行われます。多くのミュージックフェスティバル、公園や湖畔でのコンサート、コミュニティアートウォーク、ギャラリーの特別展示などで、この地域のアートと音楽の長い歴史を実感することができます。野外ステージもそなえ、4日かけてウエルズ近郊で行われるアーツウエルズ・フェスティバルにもぜひ立ち寄ってください。そのほかにも、隔年で開催される航空ショーのクェネル・スカイフェスト、毎年恒例のサウスカリブー・ガーリックフェスティバル、毎週開かれるファーマーズマーケット、リレットのビールとワインのフェスティバルなど、五感が刺激されるイベントが盛りだくさんです。伝統文化のイベント、カーショー、フィッシングダービー、馬車体験、犬ぞりチャレンジ、中世のゲームなど、次から次へと新しい冒険が待っています。



Blake Jorgenson



Chris Harris



Louise Christie



Thomas Drasdauskis



108 Heritage Site

For more upcoming events information go

チルコーティン 地方

まるで違う時間が流れているようなチルコーティン地方では、毎年開かれるイベントで、この地域のユニークな文化を見物したり、体験することができます。タトラレイク・スキーチャレンジでは、ノルディックのコースの途中の温かい山小屋にすばらしいフードステーションが並びます。ブリッジリバーバレー・ウィンターフェストは、ゴールドブリッジとブラローンの2つのコミュニティが一緒になり、屋外ポンドホッケー、湖上カーリング、穴釣り、年代物のスノーモービルを楽しみます。スリルを味わいたい人には、ライダーが川の上で沈まないようにスノーモービルを勢いよく走らせるユニークなディーリバー・スノーモービル・ウォータースキッピングがお勧めです。ニムボ湖からアナヒム湖まで漕ぐカヌーレースにも参加してみてください。生活の一部ともいえるロデオ、スタンピード、ジムカーナと呼ばれる馬術を競う大会は、夏のあいだ、いつもこの地域のどこかで催されています。

コースト地方

グレートベア温帯雨林では、季節と環境にふさわしいフェスティバルが開催されています。ベラクーラでは、6月から9月まで毎週ファーマーズマーケットが開かれ、地元の農産物やクラフトが並びます。7月のベラクーラ・ミュージックフェスティバルでは、ロック、ルーツ、ブルース、フォークミュージックなどのライブがあるだけでなく、カルチャーイベントや子ども向けのさまざまなアクティビティがあり、幅広い年齢層の人々にぎわいます。シアウォーターとオーシャンズフォールズではフィッシングダービーが開催され、大物を釣った人にはすてきな賞品が贈られるほか、オーシャンズフォールズではライブミュージック、おいしい食事、とんでもない話を競うオオホラ吹き大会、賞金などがイベントを盛り上げてくれます。先住民のボトラッチに招待されたら、昔語り、歌や踊り、継承物語の朗読に触れる、貴重な経験ができるでしょう。ベラクーラバレーの秋のフェアは、長年続くカントリーフェアで、電車に乗ったり、木こり競技、馬蹄投げや斧投げも体験できます。夏にはBC州ロデオ協会のロデオ大会が幕を開け、馬術大会もこれに続きます。カウパティビンゴもお楽しみください。



Geoff Moore



Thomas Drasdauskis



Amy Thacker



Amy Thacker

to facebook.com/cariboochilcotincoast



@Michael.Bednar

フレージャー川

どこにでもあるような川
とは違って

REGIONAL TOURISM INFORMATION



B.C. visitor centres offer friendly, professionally trained staff with local knowledge of attractions, activities, events and current seasonal road travel to help you make informed travel plans. They can also assist with accommodation, transportation and sightseeing tour bookings.

Hope Visitor Centre

919 Water Avenue, Hope
P: 604-869-2021
E: vc@hopebc.ca
W: www.hopebc.ca

Lytton Visitor Centre

400 Fraser Street, Lytton
P: 250-455-2523
E: visitorcentre@lyttonchamber.com
W: www.lyttonchamber.com

Lillooet Visitor Centre

790 Main Street, Lillooet
P: 1-250-256-4308
E: lillmuseum@cablelan.net
W: www.lillooetbc.ca

South Cariboo Visitor Centre

155 Wrangler Way, Box 340
100 Mile House, BC V0K 2E0
TF: 1-877-511-5353
E: southcaribootourism@dist100milehouse.bc.ca
W: www.southcaribootourism.ca

Cariboo Chilcotin Coast Tourism Association

1-800-663-5885
www.landwithoutlimits.com
www.Facebook.com/
CaribooChilcotinCoast
Twitter: @CarChiCoa
YouTube: www.youtube.com/theCCCTA
Instagram: @CarChiCoa
Pinterest: www.pinterest.com/lwls/

Fraser Canyon

www.hopebc.ca
www.historicyale.ca
www.lytton.ca
www.bostonbarbc.net
www.travelthecanyon.com
www.exploregoldcountry.com

Cariboo

www.cariboord.bc.ca
www.southcaribootourism.com
www.tourismwilliamslake.com
www.tourismquesnel.com
www.wellsbc.com
www.lillooetbc.ca
www.village.clinton.bc.ca
www.fishinghighway24.com

Williams Lake Visitor Centre

1660 South Broadway, Williams Lake
TF: 1-877-967-5253
E: visitors@telus.net
W: www.tourismwilliamslake.com

Quesnel Visitor Centre

703 Carson Avenue, Quesnel
TF: 1-800-992-4922
E: qvisitor@quesnelbc.com
W: www.tourismquesnel.com

Wells Visitor Centre

11900 Hwy 26, Box 123, Wells
TF: 1-877-451-9355
E: vic@wellsbc.com
W: www.wellsbc.com

Neighboring Visitor Centres

Kamloops Visitor Centre

1290 West Trans Canada Hwy
TF: 1-800-662-1994
E: tourism@kamloopschamber.ca
W: www.tourismkamloops.com

Prince George Visitor Centre

1300 First Avenue, Prince George
TF: 1-800-668-7646
E: info@tourismpg.com
W: www.tourismpg.com

Port Hardy Visitor Centre

7250 Market Street, Port Hardy
TF: 1-866-427-3901
E: phcc@cablerocket.com
W: www.ph-chamber.bc.ca

Chilcotin

www.visitthewestchilcotin.com
www.chilcotin.bc.ca

Coast

www.bellacoola.ca
www.ccrd-bc.ca

Provincial

Hello BC

Destination BC Consumer Website
www.helloBC.com

Gold Rush Trail

www.golldrushtrail.ca

Aboriginal Tourism BC

www.aboriginalbc.com

General Information

Weather Info

www.weatheroffice.gc.ca

BC Driving Conditions

www.drivebc.ca
1-800-550-4997

BC Wildfire Travel Advisories

www.bcwildfire.ca

BC Provincial Park Info

www.env.gov.bc.ca/bcparks

Camping & Touring Info

www.camping.bc.ca
www.sitesandtrailsbc.ca
www.campingrvbc.com
www.travelbritishcolumbiacanada.com
www.northtoalaska.com

Fishing, Hunting, Wildlife Info

www.goabc.org
www.bcfroa.ca
www.fishing.gov.bc.ca
www.gofishbc.com
www.bearaware.bc.ca/bears
www.env.gov.bc.ca/fw/wildlife/

More Activity-Specific Websites

www.ridethecariboo.com
www.wellsbarkervilletrails.com
www.marketplacebc.com
www.rodeobc.com
www.bcheritage.ca/cariboo
www.GoldRushTrail.ca
www.bcgeocaching.com
www.geocaching.com
www.bcguestranches.com
www.bcbackcountry.ca
www.canadatrails.ca/bc

旅行情報

カナダ国外からの旅行者

カナダ国外からの旅行者（米国市民、永住者を除く）は、有効なパスポートのほかに、必要であればビザも携帯していなければなりません。カナダ入国の際にビザが必要な国については、カナダ移民局（Citizenship and Immigration Canada）のウェブサイト www.cic.gc.ca で確認してください。そのほかの国籍を持つ旅行者は、入国の際に必要な書類についてカナダ領事館またはカナダ大使館に問い合わせてください。国境通過に関わるカナダの関税規則については、カナダ国境サービス庁（Canada Border Services Agency）のウェブサイト www.cbsa.gc.ca または www.goingtocanada.gc.ca で確認してください。

バスでの旅行

トランスカナダ・ハイウェイと州道97号線上のコミュニティへは、グレイハウンドバスが定時運行しているほか、北米内の都市や町への乗り継ぎもできます。

www.greyhound.ca TEL : 1-800-661-8747

フェリーでの旅行

インサイドパッセージやディスカバリーコースト・コネクターのルートでコースト地方のコミュニティへ行く場合には、早めの予約をお勧めします。ルートやスケジュールの変更が、旅行プランに大きく影響する可能性があります。最新の運航スケジュールは、BCフェリーに確認してください。

www.bcferries.ca TEL : 1-888-223-3779

電車での旅行

ロッキーマウンテン号は、ウィスラーからゴールドラッシュで歴史的に知られるカリブーの地域を経て、アルバータ州のジャスパーまで、レインフォールレストとゴールドラッシュのルートを走行しています。途中クェネルで1泊します。

www.rockymountaineer.com TEL : 1-877-460-3200

飛行機での旅行

パシフィック・コースタル航空は、ウィリアムズレイク、アナヒムレイク、ベラクーラ、クレムトゥ、オーシャンフォールズへ運航しています。

www.pacificcoastal.com TEL : 1-800-663-2872

セントラル・マウンテン・エアはクェネルとウィリアムズレイクへ運航しています。

www.flycma.com TEL : 1-888-865-8585

カナダにおける銃器

カナダへの銃器の持ち込みについては、カナダ銃器プログラム（Canadian Firearms Centre）で確認してください。

カナダ国内及び米国から TEL : 1-800-731-4000

その他から P : 1-506-624-5380 www.cfc-cafc.gc.ca

ウォータークラフト規則

カナダ国籍の人は、操縦の際には操縦技能を証明するものを必ず携帯していなければなりません。詳しくは、カナダ運輸省の船舶安全局（Transport Canada's Office of Boating Safety）のウェブサイトかセーフボートラインに電話で確認してください。

www.tti.gov.bc.ca/tourism/orv TEL : 1-250-356-0104

RV車の運転

ブリティッシュ・コロンビア州では、州の規制に従ってRV車を運転することが義務づけられています。下記のウェブサイトを定期的に確認して、その地域の規則や規則の変更などについて確認してください。

www.tti.gov.bc.ca/tourism/orv

TEL : 1-250-356-0104

Visitor Info Booths

Yale Tourist/Visitor Info Booth

31187 Douglas Street, Yale

P: 604-863-2324

E: info@historicyale.ca

W: www.historicyale.ca

Gold Bridge Tourist / Visitor Info Booth

104 Haylmore Ave, Gold Bridge

P: 1-250-238-2534

E: bridgerivervalley@gmail.com

W: www.bridgerivervalley.ca

Cache Creek Tourist / Visitor Info Booth

1270 Stage Road, Cache Creek

P: 1-888-457-7661 (TF)

E: cachecreekinfo@telus.net

Horsefly Tourist / Visitor Info Booth

Jack Lynn Memorial Museum on Boswell Street

P: 1-250-620-0544 (seasonal) or 1-250-620-3440 (winter)

E: land@horseflyrealty.ca

W: www.horsefly.bc.ca

Likely Tourist / Visitor Info Booth

Cedar Point Provincial Park, Likely

P: 1-250-790-2207 or 1-250-790-2459

E: cedarcitymuseumlikelybc@gmail.com

W: www.likely-bc.ca

Alexis Creek / Visitor Info Booth

Hwy. 20 in Alexis Creek

P: 1-250-394-4900

(Seasonal: May – September)

Tatla Lake / Visitor Roadside Kiosk

Hwy. 20, Tatla Lake

Nimpo Lake / Visitor Roadside Kiosk

Hwy. 20, Nimpo Lake

Anahim Lake / Visitor Roadside Kiosk

Hwy. 20, Anahim Lake

Bella Coola Tourist / Visitor Info Booth

Copper Sun Gallery, 442 MacKenzie Street, Bella Coola

P: 1-866-799-5202 (TF)

E: info@bellacoola.ca

W: www.bellacoola.ca

Emergency Information

Drive B.C. - Highway Information	1-800-550-4997
Emergency: Police, Fire, Ambulance	911*
Bella Coola Ambulance	1-800-461-9911
Bella Coola Police	1-250-799-5363
Poison Helpline	1-800-567-8911
Provincial Emergency Preparedness	1-800-663-3456
Report a Forest Fire	1-800-663-5555
Report All Poachers and Polluters	1-877-952-7277

(*not accessible in remote backcountry areas, dial "0" for operator)

DIRECTORY

CARIBOO

BARKERVILLE

Discover living history.

Come visit us mid-May through September
1-888-994-3332 • www.barkerville.ca
A NATIONAL HISTORIC SITE OF CANADA

CARIBOO

Wells. Inspiring since the 1930s.



www.wells.ca
1-877-451-9355

Cariboo Canoe and Kayak Rentals

Norm Zirnelt & Candace Collier
info@cariboo canoe.ca
www.cariboo canoe.ca
250 243 2201



Xats'ull Heritage Village

Cultural Tours & Workshops

Situated on a sunny plateau north of Williams Lake overlooking the Fraser River. Enjoy guided tours, cultural workshops, traditional meals and authentic accommodation and learn about the history of the Northern Secwepemc people.

250-297-6502

XatsullHeritageVillage.com

CHRIS HARRIS
studio gallery

www.ChrisHarris.com
250-791-6631



PHOTOGRAPHIC ART - SLIDE SHOWS - BOOKS - EVENTS

Xwisten Experience Tours

PO Box 190 Lillooet BC V0K 1V0
(P) 250-256-7844 (F) 250-256-7999
www.xwistentours.ca tours@xwisten.ca

Traditional Fishing Rocks & Archaeological Village Tours

Step back in time to the 1860s Gold Rush!

New Gift Shop

HISTORIC HAT CREEK

Historic Roadhouse Tours • Native Interpretation Site
Stagecoach Rides • Gold Panning • Archery
Licensed Restaurant • Gift Store
Scenic RV and Tent Sites; cozy cabins, kekuli • Covered Wagon sleeps 4
Open daily May through September

Junction of Highways 97 & 99, 11 km north of Cache Creek www.hatcreekranch.ca

CHILCOTIN

*Horse Riding ~ Hiking ~ History ~ Home Cooking ~ Coffee Shop ~ with Chilcotin Hospitality



Tatlayoko's Homathko River Inn

The Inn is located 3 hours west on Hwy 20, when at the Tatla Junction, turn south down Tatlayoko Road till hydro pole #294.
Connie Bracewell 250 476 1131
or e-mail circle.x.ranch@hotmail.com

"The first time, it's a vacation.
After that, it's coming home."

SUNDANCE GUEST RANCH

Just 4 hours north of Vancouver
1-800-553-3533
saddleup@sundanceguestranch.com



COAST

KOPAS STORE

Traditional Retailing Since 1937

Offering a wonderful ambiance along with a wide selection of BC books, Native jewellery and art, sporting goods, fishing licences, marine charts & maps, clothing, footwear, toys and giftware

438 Mackenzie St. at Dean Ave. Bella Coola
250-799-5553 bcsupply33@gmail.com

July 22 & 23 2017

BELLA COOLA
MUSIC FESTIVAL

Amazing Musicians, Local Food,
Beautiful Scenery, Children's Site
Tickets: Adults \$25 - \$20 Advance
Students/Seniors: \$20 - \$15 Advance
Kids 10 & Under \$5
www.bellacoolamusic.org



Fraser Culbert

CIRCLE.
GOLD RUSH
ROUTE.

Explore the backroad between

LIKELY - BARKERVILLE - WELLS
BRITISH COLUMBIA

goldrushcircleroute.ca

#goldrushcircleroute





WWW.LILLOOETBC.COM

VISIT LILLOOET B.C.
there's nothing like it



Brad Kasselmann • coastphoto.com



LILLOOET
GUARANTEED RUGGED

**CARIBOO
CHILCOTIN
COAST**

